

社会福祉法人 三徳会

## 令和5年度事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(2023.4.1～2024.3.31)

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）成幸・戸越台・荏原・平塚橋  
通所介護事業（デイサービス）成幸・戸越台・荏原・小山  
短期入所生活介護施設（ショートステイ）成幸・戸越台・荏原・平塚橋  
在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、地域包括支援センター）  
成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台  
障害者計画相談支援事業所（特定相談支援事業）荏原  
高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）平塚橋



# 目 次

	(頁)
1 概 要	1
2 役員会等	2
3 法人本部	5
4 社会福祉事業	7
1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）成幸・戸越台・荏原・平塚橋	7
2. 通所介護事業（デイサービス）成幸・戸越台・荏原・小山	19
3. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）成幸・戸越台・荏原・平塚橋	28
4. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、 地域包括支援センター）成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台	33
5. 障害者計画相談支援（特定相談支援事業）荏原	36
5 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）平塚橋	37
6 主な施設整備	39
7 安全への取り組み	41
8 研修報告	42
9 地域活動	43
10 その他	44
11 業 績	44
12 新型コロナウイルス感染症の発生	45
13 荏原複合施設大規模改修工事	46

## 資料編

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	47
1) 令和5年度の利用者動向	47
2) 利用者の入退所状況	50
3) 利用者の日常生活能力（ADL）	59
4) 利用者の日常生活自立度	60
5) 家族などの訪問(面会)者数・外泊状況	60
6) 三徳懇談会	61
7) セルフチェックシート（自己評価表）	63
栄養・調理	
8) 個別の栄養状態に着目した栄養ケアマネジメントに基づいた特別な対応	66
9) 残菜・嗜好調査	67
10) 選択食、団らん食、お楽しみ食、その他	68
11) 栄養出納表（年間平均）	72
健康管理	
12) 受診状況	73

13) 利用者の診断病名	74
14) 入院・退所状況	75
15) 入院者病名および件数	75
16) その他	76
17) 機能訓練	77
2. 在宅サービス	78
1) 年間利用者状況	78
①通所介護事業（デイサービス）	78
②短期入所生活介護事業（ショートステイ）	94
2) 機能訓練	98
3) 食事サービス（ショートステイ・デイサービス・配食）	98
4) 健康管理	99
5) 栄養調理	100
3. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、 地域包括支援センター）	102
1) 年間利用者状況	102
2) 介護保険利用者状況	114
3) 障害者計画相談支援	126
4) 認知症サポーター養成事業・認知症サポーターレベルアップ事業	128
4. 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）	129
1) 各事業参加状況	129
2) 地域ミニデイ実施状況	131
3) 利用者状況	132
5. 防災	134
1) 防災委員会の開催	134
2) 防災訓練の実施	136
6. 委員会活動	138
1) 苦情解決・サービス向上委員会	138
2) 安全衛生委員会	140
3) 給食委員会	142
7. その他	144
1) 研修報告	144
2) 実習生受入れ	155
3) 見学	155
4) 近隣との交流	156
5) ボランティア事業報告	157
6) 令和5年度行事表	159

# 1 概 要

今年度は三徳会の創立以来、初めて理事長が交代し新たな体制のもと、より強固な組織を目指して経営改善に邁進した年度となった。

新型コロナウイルス感染症は、令和2年度から4年間にわたり、各施設で度重なるクラスターの影響を受け、経営状態は非常に厳しい状況が続いていた。今年度においては成幸、荏原ホームで2回にわたるクラスターが発生し、感染症の影響を受けた特養およびショートステイの稼働率は低迷し、当初の収入予算の達成には至らなかった。そのような状況ではあったが、目標稼働率を達成した施設もあり、特養4施設の年間平均稼働率は94.0%となり前年比の92.3%を1.7ポイント上回った。また、東京都のサービス提供体制確保事業補助金（コロナ補助金）、物価高騰対策支援金収入等もあり、ゆるやかではあるが経営の改善が図られた。

長年の課題である人材確保では介護職員の採用に力を入れ、かいチャレ（東京都かいごチャレンジ職場体験事業）にエントリーし、インターンシップの受入れをするなど、未経験の応募者も含め機会を逃すことなく随時面接を実施した。その結果、中途採用と合わせ年間を通して17名の正規職員採用ができた。しかし、介護職員の退職は12名となり、さらに長期にわたる休職者もあり、慢性的な人手不足は否めない状況であった。職員の不足により派遣職員の増員を余儀なくされ、非常勤を含む特養職員の派遣職員率は常勤換算で17.85%に及んだ。派遣職員の増大は費用面のみならず、契約までの手間や時間、短期の契約満了者や限られた勤務に偏るために育成が難しく、そのような非効率性は“見えないコスト”の負担を大きくし、介護の質が低下する懸念もある。その一方で令和4年度から採用を始めた外国人人材は令和5年度に新規採用者4名が加わり13名となり、育成も堅調に進んでいる。採用後に介護福祉士資格取得をした外国人職員は2名となった。

新たな組織体制では次世代の施設長候補を育成し、組織の世代交代を円滑に行うことを目的に副施設長を設置した。また、次年度に向けて令和元年度に制定した役割等級制度や賃金制度の見直し、専門性を高めるため新組織体制の検討を行い次年度に備えた。

令和3年度に発足した組織運営と経営改善を目的としたプロジェクトは、重要課題である「人材確保」、「利用者満足度」、「業務改善」に取り組み、ホームページの更新に着手し、インスタグラム運用開始の準備を行った他、介護職員の育成や事務作業の効率化など、3年間で一定の成果を挙げた。この3年にわたるプロジェクトで積み上げた成果は中期経営計画に向けた経営目標策定の土台づくりとなった。

各施設の特記的なこととして、令和5年8月から荏原ホームの大規模改修工事が開始された。「居ながら工事」を基本とするが、ショートステイの利用定員は減員した。戸越台ホームは「品川区ICT見守りシステムに係わる補助金」を受け、スマートフォン1台にナースコールと見守りセンサーや介護記録を連動化、インカム（マイクとイヤホンが一体化したもの）の導入など、業務の効率化や情報共有の改善、働きやすい職場環境など生産性の向上を図った。平塚橋ホームは戸越台ホームに次いで職員の効率化と稼働率の向上のため、令和6年度のICT化に向けた体制を整えた。

## 2 役員会等

1) 令和5年度理事会の開催状況および審議の概要は、次の通りである。

開催日時	審議事項
第227回理事会 令和5年6月3日(土) 荏原ホーム 2階多目的室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織規程の一部改正(案)について</li> <li>2. 給与規程別表の一部改正(案)について</li> <li>3. 令和4年度事業報告(案)について</li> <li>4. 令和4年度財務報告(案)および監事監査報告について</li> <li>5. 理事および監事候補者の推薦について</li> <li>6. 評議員会の招集について</li> </ol>
第228回理事会 令和5年6月24日(土) 荏原ホーム 2階多目的室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事長の選定について</li> </ol>
第229回理事会 令和5年8月14日(月) (書面開催)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 嘱託職員就業規則の一部改正(案)について</li> <li>2. 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について</li> <li>3. 給与規程別表の一部改正(案)について</li> </ol>
第230回理事会 令和5年10月7日(土) 戸越台ホーム 10階会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経理規程の一部改正(案)について</li> <li>2. 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について</li> <li>3. 運営管理規程の一部改正(案)について</li> <li>4. 第78回評議員会の招集について</li> </ol> <p>※報告事項</p> <p>①理事長の職務執行状況報告について</p>
第231回理事会 令和5年12月2日(土) 平塚橋ホーム 1階 コミュニティ室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和5年度第一次補正収支予算(案)について</li> <li>2. 第79回評議員会の招集について</li> </ol> <p>※報告事項</p> <p>①令和5年度上半期事業活動収支報告について</p>
第232回理事会 令和6年3月16日(土) スクエア荏原 3階会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事務局長の選任(案)について</li> <li>2. 令和5年度第二次資金収支補正予算(案)について</li> <li>3. 令和6年度事業計画(案)について</li> <li>4. 令和6年度資金収支予算(案)について</li> <li>5. 令和6年度委託契約(案)について</li> <li>6. 給与規程の一部改正(案)について</li> <li>7. 役員、評議員および顧問の報酬ならびに費用負担に関する規程の一部改正(案)について</li> </ol>

	8. 評議員選任・解任委員等の報酬に関する規程の一部改正(案)について 9. 組織規程の一部改正(案)について 10. 運営管理規程の一部改正(案)について 11. 留学生が東京都社会福祉協議会介護福祉士等就学資金借入申込にあたり連帯保証人となることについて ※報告事項 ①理事長の職務執行状況報告について ②成幸デイサービス（認知症対応型通所介護）の休止について ③荏原ホームにおける協力医療機関の変更について ③権利擁護に関する事実調査について ④新型コロナウイルス感染症の状況について
--	--

2) 令和5年度評議員会の開催状況および審議の概要は、次の通りである。

開催日時	審議事項
第77回定時評議員会 令和5年6月24日(土) 荏原ホーム 2階多目的室 コミュニティ室	1. 令和4年度財務報告(案)および監事監査報告について 2. 理事および監事の選任について ※報告事項 ①令和4年度事業報告について
第78回評議員会 令和5年12月2日(土) 平塚橋ホーム 1階 コミュニティ室	1. 令和5年度第一次資金収支補正予算(案)について ※報告事項 ①令和5年度上半期事業活動収支報告について
第79回評議員会 令和6年3月16日(土) スクエア荏原 3階会議室	1. 令和5年度第二次補正収支予算(案)について 2. 令和6年度事業計画(案)について 3. 令和6年度収支予算(案)について 4. 役員、評議員および顧問の報酬ならびに費用負担に関する規程の一部改正(案)について ※報告事項 ①成幸デイサービス（認知症対応型通所介護）の休止について ②荏原ホームにおける協力医療機関の変更について ③権利擁護に関する事実調査について ④新型コロナウイルス感染症の状況について

3) 令和5年度監事監査の開催状況の概要は、次の通りである。

開催日時	開催状況
監事監査 令和5年5月22日(月) 荅原ホーム 2階多目的室	1. 各サービスの事業状況、会計についての監事監査

4) 役員等名簿

理事長	内野 滋 雄	医療福祉関係者	【令和5年6月24日退任】
〃	小 濱 哲 二	医療福祉関係者	【令和5年6月24日就任】
理事	鈴木 恂 子	医療福祉関係者	
〃	井 上 幸 彦	学識経験者	
〃	内 野 正 隆	医療福祉関係者	
〃	村 和 男	学識経験者	
〃	小 林 光 俊	医療福祉関係者	
〃	山 口 由美子	施設長代表	
〃	西 村 信 一	医療福祉関係者	
任 期	令和5年6月24日～令和7年定時評議員会		

評議員	酒 井 隆	医療福祉関係者	
〃	阿 世 知 堯	地域の代表者	
〃	武 藤 健 一	医療福祉関係者	
〃	國 分 幹 郎	地域の代表者	
〃	宮 坂 衛	家族代表	
〃	高 橋 初 美	家族代表	
〃	谷 口 政 隆	学識経験者	
〃	宮 良 恵美子	家族代表	
〃	片 岡 玲 子	学識経験者	
〃	平 田 実	学識経験者	
〃	戸 田 光 則	地域の代表者	
任 期	令和3年6月26日～令和7年定時評議員会		

監 事	銅 谷 勝 子	医療福祉関係者	
〃	碓 井 憲 男	学識経験者	
任 期	令和5年6月24日～令和7年定時評議員会		



### 3 法人本部

人材確保に力を入れ、令和5年度は正職員29人（内介護職員17人）非常勤職員20人（内介護職員8人）の採用を行った。

#### 1) 経営基盤の強化

事務局内で経営組織の勉強会を行い研修は実施されたが、適正な予算管理については摘要集計を開始したものの、予算集計等の業務適正化までは進まず、積み残しの課題となった。

#### 2) 働きやすい職場づくり

職員が抱えているストレスについて法人全体で支援する目的で「健康づくりオンライン講座」を企画、平塚橋ホームの会場他、インターネット経由で自宅でも視聴可能とした。

介護職員が研修に参加しやすくなるように、東京都の代替職員の確保による現任介護職員等の研修支援事業を活用した。

新人研修やサービス研究会を使い、就業規則や福利厚生の情報等を周知、退職金の掛金など目に見えない福利厚生の内容を説明し、法人の福利厚生の内容を周知した。

#### 3) 人材確保、育成および働きやすい環境づくり

戸越台ホームのICT化に取り組んだ。介護現場のICT環境を充実させるため、今までの見守りセンサー等に加え、インカムの導入による音声入力、ナースコールと介護記録の連動を介護現場と協力して進めることができた。

入職3カ月研修を行った。三徳会のことをさらに知ってもらうためにクイズ形式での質問や、グループワークを行い、今困っていることの話し合いなどを行った。

スキルアップのため実務者研修の参加を呼びかけるなど、スキルアップのための研修参加を推進した。

#### 4) BCP（事業継続計画）とICT機器管理

厚生労働省のひな形を用いてBCPを作成、各拠点の独自項目を追加してもらい完成させた。

ICT機器管理として、保守等のライセンスの追加管理を行った。また戸越台ICT化、荏原大規模改修工事に係るネットワーク環境の整備、IPアドレスの管理を行った。

## 5) 職員等の状況

令和6年3月31日現在の職員数

正職員	226名
嘱託職員	16名
非常勤職員	125名
計	367名

## 6) 職員の採用実績

正職員

(単位：人)

採用実績(正職員)	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
令和5年4月1日採用	3	—	—	1	—	—	1	5
対象年度中途採用	14	—	6	1	1	2		24
計	17	—	6	2	1	2	1	29

非常勤職員

(単位：人)

採用実績(非常勤職員)	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
対象年度中途採用	8	9	1	2	—	—	—	20

## 7) 職員の退職

年度内の正職員離職率 8.3%

(単位：人)

雇用形態	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
正職員	12	—	1	2	3	—	1	19
非常勤職員	6	3	2	3	—	—	—	14
計	18	3	3	5	3	—	1	33

## 8) 育児・介護休業取得の状況

令和6年3月31日現在、育児休業中の職員は4名、また、6か月以上育児等休業を取得した職員は1名であった。

## 4 社会福祉事業

### 1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類へと移行したが、それぞれの施設はクラスターが散発的に発生し、イベントやレクリエーションを制限するなどサービスの縮小を行い完全にコロナ禍以前に戻すことは難しい1年であった。それでも家族の面会に関しては、感染症の状況に応じて一定の制限を設けつつ対面式の面会を行い、少しずつ家族と過ごす時間を増やすことができた。

#### （1）感染症対策

新型コロナウイルス感染症に関しては、引き続き館内消毒、換気などのハード面の対策に加え、マスク・フェイスシールドの着用、発熱時の感染対策などにも取り組んだ。新型コロナウイルス感染症発生時には、保健所、行政などと連携をとりながら拡大防止に努めた。職員に対しては、週1回スクリーニング検査を行った。

#### （2）安定した稼働率の維持とサービスの向上

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、入所の手続きに手間取ったり、入所すると面会ができなくなる等の理由で入所の順番がきても断られるケースがあった。

また、施設内での新型コロナウイルス感染症発生により、入所を制限しなければならぬ期間もあり、安定した稼働を確保することが困難な時期もあった。

#### （3）職員の資質向上と人材育成

令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響で集合型の勉強会を開催することができなかったが、今年度は介護技術の集合型の研修を行うことができた。シーティングの研修では4施設の介護職員30名ほどが参加し、介護技術の学び直し、最新の介護知識の習得をすることができた。引き続きオンライン動画研修は一人ひとりがIDを持ち、法定研修を受講するなど、自分の学びの場となるような機会を確保することができた。

#### （4）看取り介護の充実

新型コロナウイルス感染症の影響で対面式の面会ができない時期もあったが、看取り介護の方には感染対策を行ったうえで、居室などで直接面会を実施した。家族からは、最期まで本人が住み慣れた施設で過ごすことができてよかった、との意見をいただいた。

表① 利用者状況（令和6年3月31日現在）

区分	性別	定員 (人)	最高年齢 (歳)	平均年齢 (歳)	平均 要介護度	年度内 総入所者 (人)	平均 稼働率 (%)
成 幸	男性	15	101	89.5	3.4	8( 8)	94.8
	女性	65	100	88.4	3.3	21( 18)	
	計	80	—	88.6	3.5	29( 26)	
戸 越 台	男性	12	102	85.0	3.7	5( 4)	96.9
	女性	60	107	90.5	3.6	21( 10)	
	計	72	—	89.5	3.7	26( 14)	
荏 原	男性	12	97	87.1	3.3	12( 7)	93.6
	女性	108	107	90.1	3.7	69( 32)	
	計	120	—	90.1	3.7	81( 39)	
平 塚 橋	男性	30	96	88.8	3.5	10( 3)	91.6
	女性	70	106	90.9	3.5	35( 21)	
	計	100	—	90.5	3.5	45( 24)	
法 人 計	男性	69	102	87.6	3.5	35( 22)	94.0
	女性	303	107	90.0	3.5	146( 81)	
	計	372	—	89.6	3.5	181(103)	

※（ ）内の数字は実入所者数。一時利用含む

※詳細は47～57頁を参照

## 1) 生活全般の支援サービス

### (1) 介護サービス

#### ①食事

食事は利用者の大きな楽しみの一つである。感染症に十分留意しながら美味しく、楽しく、安心して安全な食事を提供することに努めるとともに、給食委託業者と連携し、食品衛生法に基づき衛生的で安全な食事提供に努めた。また、多職種連携により栄養ケア・マネジメントを実施し、適切な食事サービスを提供した。

#### ②入浴

利用者個々の状態に合わせて介助浴や機械浴などの方法を随時見直した。身体を清潔にすることだけでなく、リラックスした空間での入浴をとなるように、音楽を流したり、また、季節を感じる行事として菖蒲湯、柚子湯を実施した。

#### ③排泄

できる限りトイレでの排泄を促し、利用者個々の排泄リズムに合わせる事ができるようケアを行った。身体状況に合ったオムツの使用、回数などを見直し、ケアプランに反映した。

#### ④その他サービス

施設の状況に応じて、外部業者による理美容サービスを提供し、本人の要望に応じたヘアスタイルを提供した。また、爪切りや耳垢清掃、髭剃りなどを随時行い、身だしなみを整えた。

### (2) 健康管理

新型コロナウイルス感染症が5類になったとはいえ、ウイルスの性質は変わらず、感染力は高く、各施設でコロナの感染症のクラスターが発生した。平時から感染症発生の可能性を念頭に業務にあたった。

入所者の加齢、重度化により、嚥下機能、身体的機能の低下に伴い医療行為や処置件数が増加傾向となった。皮膚トラブルを起こしやすく、褥瘡のリスクも高くなってきたため、こまやかなケアを提供するよう努めた。

※新型コロナウイルス感染症の詳細は45頁を参照

### (3) 機能訓練

利用者それぞれのADL(日常生活動作)の維持・安定を目的に、機能訓練を実施した。具体的には、ベッドでの起居動作・立ち座り動作・歩行動作訓練などを訓練指導員が行い、「生活リハビリ」として実際の生活の中で、多職種連携で取り組んだ。

また、利用者ごとに福祉用具(杖・歩行器・車いすなど)の選定を行い、定期的に安全性や使いやすさの見直しを行った。その他、誤嚥性肺炎の予防を目的に嚥下体操やマッサージを行い、より安全な食事姿勢の確保に努めた。

感染予防対策として、利用者同士の間隔を確保した訓練を実施し、使用する器具の消毒を徹底した。また、換気を十分にできる場所での訓練と、利用者に触れる前の手指消毒の徹底などに努めた。

### (4) レクリエーション

新型コロナウイルス感染症により、さまざまな行事やレクリエーションを中止せざるを得ない状況であった。集合型のレクリエーションが難しいため、園芸や外気浴など個別でできることを中心に実施した。

#### ①行事

新型コロナウイルス感染症の影響で一部を除き中止。

#### ②ボランティアによるイベント

新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

#### ③フロアレクリエーション活動

新型コロナウイルス感染症の影響で集合型ではなく個別で実施。

#### ④外出

新型コロナウイルス感染症の影響で実施できず、ベランダなどで外気浴を実施。

## 2) その他のサービス

### (1) 三徳懇談会

毎月、サービス向上を目的とし、利用者への情報提供と意見交換や要望などを聞く機会を設けた。新型コロナウイルス感染症のため、集合せずに各階ごとに行うなど工夫をして実施した。また、感染状況等により延期や休止をした。

表②

区 分	参加延べ人数
成 幸	223人
戸 越 台	129人
荏 原	83人
平 塚 橋	44人

### (2) クラブ活動への参加

感染対策を講じながら、利用者の希望する活動に参加していただき、単調になりがちな日常生活に活気のある生活を過ごしていただけるように努めた。

## 3) 相談・情報提供

### (1) 相談サービス

#### ① 家族懇談会

新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策で、令和2年度から集合型の懇談会は見合わせていたが、令和5年度は感染対策を講じながら開催することができた。施設サービス計画書、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書は更新のたびに送付をして同意を得た。

介護保険の改正や介護保険負担限度額申請等の案内は書面を送付し、問い合わせには個別に説明を行った。また、面会等で家族が来所されたときは対面で情報提供をした。

表③

区 分	実施月日	参加家族
成 幸	12月11日	12
	R6年4月予定	—
戸 越 台	中止	書面送付
	R6年4月予定	—
荏 原	9月10日	25
	3月23日	23
平 塚 橋	6月17日	30
	R6年3月9日	37

## ②苦情相談窓口

苦情対応窓口や意見箱に寄せられた意見や提案などは迅速に対処して、定期的  
に開催される苦情解決・サービス向上委員会に報告した。

## (2) 生活だより

利用者の施設における生活状況を家族に伝えるものとして、各施設で広報紙を発行  
した。

## 4) その他

### (1) 福祉サービス第三者評価

令和5年度は評価機関による成幸ホームの利用者へ聞き取り調査を実地した。

調査実施日 令和6年1月31日 利用者10人

### (2) セルフチェックシート（自己評価）

品川区がサービス向上の仕組みとして「施設サービス向上研究会」で開発した、  
セルフチェックシートを用いて施設サービスの評価を行い、評価結果をもとに課題  
を明確化し、計画的に改善を進めた。

## 5) 各施設の取り組み

### 成幸ホーム 事業報告

#### 《重点目標》

1. 感染症対策の強化
2. 基本をふまえた介護と習得した技術の実践
3. 業務の効率化と省力化、情報の共有
4. 適正稼働率に向けた入所調整と加算の取得
5. 実習生の受入れ

令和5年8月と令和6年3月にホーム内で新型コロナウイルス感染症が発生し、クラスターとなったが、フロア内をゾーニングし、医務室を中心に各セクションと連携を図りながら拡大防止に努めた。今年度も施設のお祭りは開催できなかったが、地域の祭禮や盆踊りに参加し、地域の馴染の方々から声をかけてもらうなど楽しい時間を過ごすことができた。

#### 1. 感染症対策の強化

- ・感染症予防対策を講じていたが、令和5年8月と令和6年3月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した。しかし医務室を中心に各セクションが一丸となって感染拡大防止に努めることができた。
- ・感染症が発生した際、他フロア職員にも感染情報を周知・共有することができた。

#### 2. 基本をふまえた介護と習得した技術の実践

- ・サービスマナー、ケアの向上、認知症のBPSD（行動・心理症状）についての対応技術や、ストレスマネジメントなどについて勉強会は実施できなかったが、オンライン動画を活用し、各自知識や技術を習得することができた。
- ・虐待防止委員会では、毎月「テーマ」に沿って利用者の人権や尊厳の保持について話し合い、認知症の症状や行動について理解するとともに、不適切ケアの防止に取り組んだ。

#### 3. 業務の効率化と省力化、情報の共有

- ・見守りセンサーなどICT機器を活用することで、利用者の事故防止や職員の介護負担軽減を図ることができた。
- ・業務内容や役割分担の見直しを定期的に行い、業務負担の均衡化を図ることで、職員の身体的、精神的負担の軽減を図った。

#### 4. 目標稼働率に向けた入所調整と加算の取得

- ・年間平均稼働率 94.8%  
新型コロナウイルス感染症のクラスターが2回発生したことで入所調整が進まない時期があり目標を下回ってしまったが、計画的に入所調整を行うことができた。

#### 5. 実習生の受入れ

- ・実習生を積極的に受け入れ、指導、育成を行った結果、入職につなげることができた。



## 戸越台ホーム 事業報告

### 《重点目標》

1. 感染症対策の強化と拡大防止
2. 職員のスキルアップ、介護の質の向上
3. 業務の効率化、省略化
4. 安定した事業運営

令和5年11月下旬から12月上旬にかけて利用者、職員がインフルエンザA型に感染し利用者3名が入院した。フロア内のゾーニングや消毒作業を実施し、感染拡大防止に努めた。また、家族の面会を再開し、利用者とのふれあいや情報を共有した。施設内で行事やイベントを開催、利用者には季節を感じて楽しんでいただいた。

#### 1. 感染症対策の強化と拡大防止

- ・感染症発生に備え、平常時から必要な衛生物品の確保や迅速に対応できるよう勉強会を実施して、感染症に対する基本的な知識や技術を周知、徹底した。
- ・インフルエンザ感染発生時も、フロア内のゾーニングや看護師を中心に各セクションが連携し、適切に対応することで拡大を防止した。

#### 2. 職員のスキルアップ、介護の質の向上

- ・ケア向上、認知症のBPSD（行動・心理症状）の対応方法、ストレスマネジメントなどのリモート研修や勉強会を実施して、ケアの向上に努めた。
- ・虐待防止、身体拘束などの委員会活動を中心に日々のケアを振り返り、利用者の人権や尊厳の保持について意見を募り、考える機会を設けた。年2回実施した虐待チェックリストを比較検討して課題に取り組んだ。
- ・介護職員の採用が未経験者や外国人など多様化するなかで、情報を共有し意見交換を通してケアへの視点や介護の価値観を統一するなど介護の質の向上に努めた。

#### 3. 業務の効率化、省略化

- ・品川区の助成金を受けてICT環境の導入を行った。スマートフォン1台でナースコールと記録の入力、また音声入力により職員間のコミュニケーションの活性化や業務の効率化を図った。外国人人材や介護職員の負担の軽減など、働きやすい職場環境へと整備した。

#### 4. 安定した事業運営

- ・年間平均稼働率 96.9%
- ・行政や関係機関との連携により入所調整を速やかに行い、目標の稼働率を達成することができた。
- ・適正な人員配置や職員の資格取得支援などに取り組み離職防止につなげた。
- ・介護士や看護師、歯科医師や栄養士などの実習生や、車いす清掃や洗濯たたみなどのボランティアを受け入れて地域との交流を図った。

## 荏原ホーム 事業報告

### 《重点目標》

1. 利用者の視点に立ったケアの実践
2. 感染症予防・対策の強化
3. 人材定着と人材育成
4. 大規模改修をふまえての業務効率化の促進
5. 安定した事業運営

大規模改修本工事に向けての仮設工事が令和5年10月より開始された。利用者が滞在する中での工事ではあるが、安全に配慮し、影響を最小限にとどめていけるよう各セクション、工事業者とも綿密に連携を図りながらの対応に努めた。大規模改修工事に伴いフロアの定員変更を行い、令和6年3月より3階62名、4階58名の定員となった。

### 1. 利用者の視点に立ったケアの実践

- ・虐待防止検討委員会を毎月開催し、不適切ケアの予防や虐待防止のための日々のケアでの参考となるような情報共有や、現場職員だけでなく他セクションからの客観的視点からの意見交換を行った。
- ・自身のケアを振り返る機会をつくとともに、職員相互で定期的に学ぶ機会を持つために虐待の芽チェックリストを利用した。

### 2. 感染症予防・対策の強化

- ・各フロアで新型コロナウイルス感染症の集団発生がみられたが、BCP（業務継続計画）をふまえ、限られた人員で業務を整理しながら対応にあたることができた。
- ・東京都感染対策即応支援チームによる感染症対策の派遣研修を荏原ホーム内で受講することができた。感染症対策リーダー養成研修では、感染症に対する対応の再確認と、新たに情報が更新された部分の学び直しを行い、その内容を職員全員に対して伝達研修を行った。

### 3. 人材定着と人材育成

- ・オンライン動画研修を継続し、統一した研修を効率的に行った。介護技術に関しては実際に講師を迎え、現場に即した介護技術の方法や考え方を取り入れることができた。動画をとり、全員で学びあえる仕組みを構築した。
- ・スキルアップシートを活用し、新人職員の介護技術・知識全般の習得促進とともに、進捗を先輩職員と確認できるような定期面談の機会を設け、相談のしやすい関係の構築を行い実践した。

### 4. 大規模改修をふまえての業務効率化の促進

- ・大規模改修工事では利用者の居住スペースに仮設の居室をしつらえたことにより、団らん場所の変更が求められた。また定員数の変更によるマニュアルの改訂を毎月のミーティングを活用しながら臨機応変に対応した。
- ・フロアのナースコールシステムを変更し、スマートフォンの活用により、業務効率化を図ることができた。

### 5. 安定した事業運営

- ・年間平均稼働率93.6%（目標は95.5%以上）  
入所調整は67件実施し、入所者は39名。また、入院は68件であった。
- ・ショートステイとの連携を図り、荏原ショートステイ利用歴のある10名の在宅利用者がなじみのある荏原ホームの入所調整につながった。

## 平塚橋ホーム 事業報告

### 《重点目標》

1. 人材の定着と育成
2. 感染症予防の徹底
3. 安定した事業運営
4. 生活に視点を置いたケアの向上

新型コロナウイルス感染症が5月より5類へ移行し、感染症対策を十分に取りながら、家族から要望の多い面会方法の変更や、集合での家族懇談会の実施など少しずつ通常対応へ戻す取り組みを行った。

### 1. 人材の定着と育成

- ・年度当初に各職員とチェックリストと各自の目標確認を兼ね個別に面接を実施し、業務に対する考え等を確認し、各職員の状況の把握に努めた。
- ・それまでのネットワーク上での連絡帳をさらに進め、情報共有ツールとしてオンライン上での連絡帳を導入、情報共有に利便性を高めた。
- ・虐待の芽チェックリストをWEBでのフォームに変更し、準備、まとめの時間を短縮した。また令和6年度の施設のICT化の内容紹介と、考えられる効果等もWEBでのアンケートを通じて把握した。
- ・引き続きOJTやオンライン動画で研修を行った。
- ・マニュアル等の確認、見直しを行った。

### 2. 感染症予防の徹底

- ・館内のアルコールボトルを設置し直し、補充しやすい方法へ変更した。
- ・感染症対策としての手洗い、うがい、マスクの適正着用について注意喚起を継続して行った。
- ・新型コロナウイルス感染が確認された際にはすみやかな情報共有に努め、備品の準備やユニットのレイアウト修正などを行った結果、短期間で終息することができた。
- ・行政から出される指示、対応方法等は速やかに回覧を行い、必要なものについては掲示し、広く目につくようにした。

### 3. 安定した事業運営

- ・年間平均稼働率 91.6%
- ・入居の事前面接を迅速にするためリモート面接も実施したが、連絡後に断られるケースや、相談員が介護勤務に入り調整が遅れる、新型コロナウイルス感染症の施設内での発生により入居の延期をする等もあり、目標稼働率に達しなかった。
- ・見学希望者も多くあり、積極的に見学を受け入れ入居希望者の確保にも努めた。
- ・物品類の価格高騰があり、購入物品については、業者とインターネット通販を比較し、より安価なものを検索して購入し、費用の削減に努めた。

### 4. 生活に視点を置いたケアの向上

- ・家族懇談会を通常の実施形態に戻し、6月・3月の年間2回実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類になったことで面会方法を変更し、各ユニットにて居室内での面会とした。また外出も短時間なら可と変更した。このことにより予約件数についても大幅に増やすことができ、家族の要望に応えることができた。
- ・施設での生活の様子を、写真と共にホームページで更新した。

## 6) 各施設共通（栄養・医務訓練）

### 栄養室 事業報告

#### 《重点目標》

1. 多職種との連携による栄養ケア・マネジメントの実施
2. 委託業者とも連携した、安全で充実した食事提供への取り組み
3. 地域に向けた取り組み
4. 栄養室の業務や厨房の設備環境などの計画的な改善を通しての安定した運営

多職種連携により栄養ケア・マネジメントを実施し、科学的介護推進に関する評価につなげた。そして、美味しく、楽しい食事提供に努めるとともに、委託業者と連携し、食品衛生法に基づき、摂食・嚥下機能に合わせた安全な食事づくりを行った。また、各施設の状況に合わせ、感染予防対策に配慮するとともに、新型コロナウイルスを含む感染症の情報収集や情報共有を行い感染拡大防止に努めた。

#### 1. 多職種との連携による栄養ケア・マネジメントの実施

食事形態や療養食など利用者の疾病、症状、嗜好に合わせた対応をし、また、食事時間の変更や食器具など柔軟な対応を行った。多職種連携のもと、個々の栄養状態安定を図り、個別対応（嚥下困難、低栄養、褥瘡、看取り）をした。

#### 2. 委託業者とも連携した、安全で充実した食事提供への取り組み

委託業者と連携し食品衛生法に基づいた食事提供を行った。感染症専門医のアドバイスを受けながら感染症対策やイベント食などを実施した。新・再入所（居）時は情報を共有し、利用者に応じた食事提供を行った。非常食の備蓄管理を行い、利用者や職員への啓蒙に努めた。

季節感のある行事食やさまざまなイベント食などを提供した。残菜調査、給食委員会、ミールラウンドなどで利用者のニーズを把握して食事づくりへ反映させた。

#### 3. 地域に向けた取り組み

デイサービスおよび配食については、疾病や障害を考慮した食事を提供した。介護者教室の一環として継続していた「高齢者と介護者のための料理教室」は、感染拡大予防の見解から実施を見合わせ、在宅の利用者および家族に向けて、食のアプローチとして三徳会レシピを作成し配布した。

#### 4. 栄養室の業務や厨房の設備環境などの計画的な改善を通しての安定した運営

業務の見直しや、献立の検討などを含め、栄養業務を行った。次年度から委託業者との契約内容の変更（食単価制から管理費制・四施設統一献立）に向けて準備を進めている。また、安全な厨房環境を整えるために厨房設備の計画、保守や早期修繕、必要に応じて機器や備品交換を行った。成幸ホームでは、立体炊飯器、荏原ホームでは、台下ブラストチラーを更新した。

《重点目標》

1. 感染症専門医からの助言をふまえた感染症の蔓延防止
2. 利用者の日々の健康管理への取り組み
3. 終末期においても安心した生活を送るための支援体制
4. 多職種間の連携・協働体制の整備
5. 職員の健康に留意した相談や管理指導への取り組み

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も引き続き、注意をして感染対応を行ったが、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染発生が見られた。健康診断については職員、利用者共に、健康診断の対応方法等を変更したが、スムーズに行えた。

**1. 感染症専門医からの助言をふまえた感染症の蔓延防止**

- ・新型コロナウイルス感染症の5類への移行後も、行政からの情報を逐次確認を行った。引き続き感染専門医からのアドバイス、指導も受けながら、マスクの着用、換気、清掃の徹底に努め、感染症対策の強化に取り組んだ。
- ・利用者、職員の中で、新型コロナウイルス感染症・ノロウイルス・疥癬の発症が認められたが、施設間での情報共有、全セクション協働により、拡大防止に努めた。

**2. 利用者の日々の健康管理への取り組み**

- ・利用者の健康診断を、検査機関を変更し滞りなく行えた。また新型コロナウイルス感染症、インフルエンザワクチン接種を希望者に実施した。
- ・循環器、認知症相談、眼科、歯科の専門科の往診により健康管理に努めた。

**3. 終末期においても安心した生活を送るための支援体制**

- ・終末期については家族と密に連絡、確認をとり、終末期の生活の説明も行いながら医師や他セクション協働で連携を図り、苦痛の緩和、安心した生活を送れるように努めた。
- ・最期の時を家族と穏やかに過ごせるように、直接面会も施設ごとに工夫して対応した。

**4. 多職種間の連携・協働体制の整備**

- ・多職種間での会議、打ち合わせ、記録の確認等を通じて、連携を密に行った。特に利用者の体調変化に対しては、随時、食事内容の検討や日常の対応について多職種で話し合い、介護用品の選定、使用方法等の確認を行い、医療的な助言や指導を行った。
- ・感染症予防や対策、マニュアル作成、感染症勉強会については作成、見直し、講師を担った。

**5. 職員の健康に留意した相談や管理指導への取り組み**

- ・職員健康診断を新たな医療機関で行った。健康診断の結果は、産業医に報告し、指導、助言をいただいている。指導のあった職員については治療中であるかの確認をし、再検査、受診の必要性を伝え、相談、指導をした。
- ・ストレスチェックで高ストレスになった職員へは、状態の確認や産業医への面談の勧奨などの対応を速やかに行った。

## 医務訓練室（訓練） 事業報告

### 《重点目標》

1. 生活機能に重点を置いた「個別訓練」、「集団訓練」の実施
2. 生活上動作の維持・向上を目指した訓練計画の立案と実施
3. 適切な福祉用具の導入・管理・指導の実施
4. 嚥下障害への取り組み
5. 職員の腰痛予防への取り組み
6. 感染症対策を考慮した訓練の取り組み

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の対応が変更となったが、感染力の強さや広がりやすさを考慮し感染対策を継続しながら訓練を行った。施設サービスではなるべく集団での訓練を控え、個別訓練を行ったことで急激な身体機能の低下や介護負担増加の事例を低く抑えることができた。在宅サービスでは、外出することが楽しいと思える機能訓練に努め、継続して安心安全な在宅生活を送れるよう個別の課題に対応した機能訓練を実施した。

#### 1. 生活機能に重点を置いた「個別訓練」、「集団訓練」の実施

- ・自立支援・介護負担軽減を目指し、生活機能に沿った「個別訓練」を実施した。
- ・感染予防対策を維持しながら、集団の中にいることの楽しさ・安心感を重視して「集団訓練」を実施した。
- ・多職種と情報共有しながらシーティングとポジショニングを行った。

#### 2. 生活上動作の維持・向上を目指した訓練計画の立案と実施

- ・利用者のニーズを考慮して多職種と検討の上計画書を立案した。定期的に再評価を行い、計画内容を利用者・家族に説明・同意を得た。
- ・訓練計画書は介護支援専門員へ交付・報告し記録した。

#### 3. 適切な福祉用具の導入・管理・指導の実施

- ・定期的に福祉用具の管理・点検・メンテナンスを行い、できる限り安全を保ちながら継続使用に努めた。修理不能な機器類は、計画的に新規購入した。
- ・福祉用具の最新情報の把握に努め、多職種と情報共有を行った。

#### 4. 嚥下障害への取り組み

- ・誤嚥リスクの高い利用者に誤嚥予防マッサージを実施した。
- ・多職種と相談し食事時の姿勢改善・自助具の導入・巧緻性訓練を行った。言語聴覚士(ST)相談を積極的に活用した。

#### 5. 職員の腰痛予防への取り組み

- ・腰痛のメカニズムや予防体操を職員に紹介し、セルフコントロールの意識づけを行った。介護機器の使用を推進し、介護負担軽減の取り組みを行った。

#### 6. 感染症対策を考慮した訓練の取り組み

- ・訓練中は感染症予防対策のため消毒・換気を行った。感染症が拡大した時は、多職種と連携し収束に努めた。感染状況に応じて訓練方法を変更した。

## 2. 通所介護事業（デイサービス）

（成幸・戸越台・荏原・小山）

### （1）新型コロナウイルス感染症の影響

5月に新型コロナウイルス感染症が5類になるも、引き続き利用時の検温、マスク着用、職員の定期的なPCR検査を実施し、クラブや密になる行事の中止や見直しを行った。その中で荏原では地域開放事業としての荏原まつりを3年ぶりに開催をした。また運営推進会議を開催、実習生、職場体験、インターンシップ制度、保育園児、ボランティアの一部受け入れを行い、外部との関係を築くことができた。

これまでの感染症対策の経験を活かすことができ、各施設ともクラスターになることなく一年間事業運営ができた。

### （2）介護保険制度の改正

令和6年度の制度改正に向けて、制度の正しい理解、新たな加算算定に向けて各施設と情報共有を行い、対応を行った。

### （3）職員の資質の向上

品川福祉カレッジ認知症ケア専門コース（認知症の人や家族等とのコミュニケーション2名、認知症によるつまずきをご本人の視点から考える1名、認知症の人の心理・精神面の理解とコミュニケーション講座1名、認知症の人と共に生きる地域づくり講座1名）、品川区（サービス事業所管理者向け高齢者虐待予防研修2名、しながわ防災学校基礎編1名・応用編1名）、東京都（介護サービス事業者支援研修1名、介護現場におけるハラスメント対策説明会1名）、日本通所ケア研究会（なぜBPSDや家族負担が生じるのか1名）に参加するとともに、その成果を他職員に周知し職員の質の向上に努め、利用者（家族）対応へ活かし、満足度を上げるようにした。

### （4）大規模改修工事など

荏原では複合施設の大規模改修工事に向けて、利用者や職員が快適で安全に過ごせるように、昨年度に続き検討を行った。そして12月には仮設事業所への移転を行い、新たな場所での運営が始まった。

### （5）その他

「生活を豊かにするためのレクリエーションを理解する・レクリエーションの作成能力および実践能力を習得する」などを目的、ねらいとして品川介護福祉専門学校よりレクリエーションに関する授業の依頼に対し、訓練室では体を使ったレクリエーション、デイサービスでは音楽を使ったレクリエーションを担当して、出席した22名の学生に普段実施している内容の紹介、レクリエーションの楽しさ、計画作成や実施のポイントなど伝えることができた。

表④ 基本デイサービス・認知症デイサービス総計 (単位：人)

区 分	R 5年度	R 4年度	R 3年度
成 幸	6,378	5,377	5,344
戸越台	6,977	6,657	6,855
荏 原	9,894	10,375	11,130
小 山	1,631	1,094	1,589

※詳細は78～93頁を参照

## 1) 基本デイサービス (予防事業・介護給付)

個々の利用者に対して、本人、家族の希望を尊重し、その人の必要に応じた通所介護計画を作成し同意を得て交付、それをもとにクラブ活動、機能訓練、入浴、食事等を提供した。高齢者は、体調が変化しやすいので家族との連絡を密にとり、利用中の小さな変化も見落とさず、迅速に的確な対応が行えるように努めた。また、年間を通して感染症対策を徹底しながら事業運営を行った。

表⑤

区 分	R 5年度				R 4年度				R 3年度			
	延べ利用者数		稼働率		延べ利用者数		稼働率		延べ利用者数		稼働率	
成 幸 定員20人	予防	1,600	4,958	80.5%	1,330	3,810	62.1%	1,183	3,564	59.6%		
	介護給付	3,358			2,480			2,381				
戸越台 定員30人	予防	2,236	6,577	71.1%	2,273	6,386	69.1%	2,178	6,635	71.7%		
	介護給付	4,341			4,113			4,457				
荏 原 定員40人	予防	2,535	8,165	66.3%	2,496	8,406	68.2%	2,723	9,088	73.8%		
	介護給付	5,630			5,910			6,365				

※詳細は78～93頁を参照

## 2) 地域密着型認知症対応型デイサービス

### 成幸・戸越台・荏原・小山

利用者一人ひとりが自分らしく生きがいのある生活を送れることを目標に、家族、ケアマネジャーと連携をとり、また、担当者会議により情報交換とケアプランの検討・再検討を行い、サービスを提供した。年間を通して感染症対策を行い事業運営を行った。



表⑥

区 分	R 5 年度		R 4 年度		R 3 年度	
	延べ 利用者数	稼働率	延べ 利用者数	稼働率	延べ 利用者数	稼働率
成 幸 定員10人	1,421	46.1%	1,567	51.0%	1,780	59.7%
戸越台 定員10人	400	13.1%	271	8.6%	220	7.1%
荏 原 定員10人	1,764	56.1%	1,969	63.9%	2,039	66.2%
小 山 定員10人	1,631	52.9%	1,094	35.6%	1,589	52.3%

※詳細は78～93頁を参照

### 3) 介護予防事業（身近でトレーニング）

#### 戸越台・荏原

在宅生活の継続を支援するサービスとして、自宅でも「体力づくり」「運動習慣づくり」に取り組めるよう、椅子など身近な道具を使った運動方法を指導した。

表⑦

(単位：人)

区 分		R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度
戸越台	実人数	144	135	114
	延人数	490	438	389
荏 原	実人数	72	110	166
	延人数	250	400	537

※荏原 大規模改修工事の関係で下期は休止

※詳細は84～85、88～89頁を参照

### 4) その他

#### (1) 入浴サービス

自宅での入浴が困難な方に、健康面と衛生面を保持するために利用者のADLに合わせて介助浴、機械浴の2タイプの入浴方法で対応した。また、家庭で入浴しているような雰囲気を作り、気分転換や情報交換の場としての活用も図った。

表⑧ (単位：人)

区 分	R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度
成 幸	延4,024	延3,486	延3,539
戸越台	延3,887	延3,773	延3,685
荏 原	延5,649	延5,807	延5,864
小 山	延 530	延 232	延 530

※詳細は80～81、84～85、88～89、92～93頁を参照

## (2) 機能訓練

生活機能の向上を目的に、基本プログラムとグループ・選択別プログラムを設けて機能訓練を実施した。訓練を通じて、生活機能の改善や転倒予防、意欲の向上などを図るとともに、自宅での役割や地域活動への積極的参加を促した。

また、機能訓練加算については、通所介護個別機能訓練加算 I（成幸、戸越台、荏原）を算定し、義務付けられた3か月に一度の訪問を、訓練指導員・相談員・介護職員で分担して行い、「活動」と「参加」の向上を図った。

表⑨ (単位：人)

区 分	R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度
成 幸	延3,015	延1,984	延1,561
戸越台	延6,563	延6,123	延6,085
荏 原	延3,189	延3,702	延3,862

※詳細は80～81、84～85、88～89頁を参照

## (3) 食事サービス（通所、訪問）

食事サービスについては、栄養相談を行い疾病や障害を考慮した食事を提供した。在宅の利用者および家族へは、食のアプローチとして三徳会レシピの配布や情報提供を行った。

表⑩ (単位：件)

区 分		R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度
成 幸	通所サービス	6,379	5,377	5,516
	訪問給食	816	1,100	1,188
戸越台	通所サービス	6,821	5,969	6,640
	訪問給食	2,846	2,559	2,177
荏 原	通所サービス	9,738	10,247	10,983
	訪問給食	944	932	745

※詳細は80～89頁を参照

#### (4) クラブ活動

感染症対策として講師やボランティアの受け入れを見合わせたなかでも、楽しく参加できるように工夫をして、音楽リハビリ・習字・生け花・手芸・切り紙クラブなどを行った。作品は施設内に展示することにより、創作意欲の向上や、活動への励みとなった。

#### (5) 保険外サービス

障害者や介護保険非該当の方、また長時間利用が困難な方の食事、入浴等のサービスを行った。

#### (6) 介護者教室

年3回、4施設の管理栄養士が協働で料理教室を開催予定であったが、感染症拡大予防対策のため中止とした。令和5年度は、三徳レシピを作成し配布した。

#### (7) 健康管理

年々、重介護を必要とする利用者や、さまざまな慢性疾患をもつ利用者が増えてきている。安心して利用していただくための事前訪問、来園時のバイタルチェック、全身状態の観察を利用時には毎回実施した。

また、新型コロナウイルス感染症予防のため、来所時の体温測定をそのつど行い、体調確認を実施した。

表⑩ (単位：件)

区分	R5年度	R4年度	R3年度
成幸	11,736	11,376	10,507
戸越台	11,427	10,971	11,237
荏原	12,395	12,654	13,663

#### (8) 四季の行事

花見、夏まつり（納涼祭）、バスハイク、クリスマス会、餅つき、節分、ひな祭りなど、四季折々の行事を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で花見、夏まつり、バスハイクなどの密になる行事を中止や見直しをして行った。

#### (9) 認知症対応型通所介護運営推進会議

認知症対応型通所介護のサービスの質をより向上し、利用者のニーズに合ったサービス内容とするため、利用者とその家族、行政（品川区高齢者福祉課）、地域の関係者などにお集まりいただき、事業所ごとに6か月に1回開催した。

※成幸 感染症拡大防止対策で下期は書面開催とした。

## 5) 各センターの取り組み

### 成幸デイサービス 事業報告

#### 《重点目標》

1. 自立支援の実現に向けて家族、ケアマネジャーとの連携強化
2. 感染症対策を徹底し、安定した事業運営
3. 在宅での生活スタイルに合わせた個々のリハビリの充実
4. 「介護職はサービス業である」という自覚

5月に新型コロナウイルス感染症が5類になったが感染症拡大防止対策は継続した。その中でも10月からは今まで休止していたボランティアや夏体験ボランティア（中学、高校、大学生）の受け入れ再開始、地域の代表者や家族を招いて運営推進会議を開催。また近隣の保育園児との交流を行い、地域とのつながりを意識した対応ができた。

#### 1. 自立支援の実現に向けて家族、ケアマネジャーとの連携強化

- ・本人、家族、ケアマネジャーとの連携を意識し、利用者との対話、連絡帳の充実、ケアマネジャーとの情報共有を強化して行き、本人の心身の状況を把握したうえで、本人のできることでできない事を見極め、利用時は職員が介入し過ぎないようにして自立支援を促した。
- ・居心地の良い空間を提供するために、人間関係を意識した座席作り、状況によって職員が間に入るような対応を行った。

#### 2. 感染症対策を徹底し、安定した事業運営

- ・速やかな受け入れの調整、積極的な臨時利用の受け入れ等を行い、年間平均稼働率は基本事業80.5%で前年度より18.4ポイント上がった。しかし、認知症事業は介護負担が大きく施設入所の人が多く見られ、積極的な受け入れをするも46.1%と前年度に比べ5ポイント下った。
- ・またこれまでの感染症対策の経験を活かし、基本的な感染症拡大防止対策は継続した。その甲斐もあってクラスターが発生することなく事業の運営ができた。

#### 3. 在宅での生活スタイルに合わせた個々のリハビリの充実

- ・本人の状態や家での生活スタイルを把握したうえで、リハビリの計画書を作成し実施した。また定期的に見直しも行い、安心して在宅生活が維持できるように支援した。
- ・リハビリの参加者以外でも日常生活を安全に暮らせるように、必要に応じ体の動かし方、運動の仕方をアドバイスし、怪我なく継続的にデイサービス利用できるようにした。

#### 4. 「介護職はサービス業である」という自覚

- ・本人、家族に対して気持ちの良い言葉遣い、態度を意識して対応を行った。認知症利用者の方には、相手のペースに合わせ、その方らしい時間が過ごせるように、かつ安心して過ごせるように対応を行った。

## 戸越台デイサービス 事業報告

### 《重点目標》

1. 感染対策を徹底し、安定した事業運営
2. 生活スタイルに合わせた個々のリハビリの充実
3. 在宅生活を維持するため個別性を尊重した認知症ケアの実施
4. 地域拠点としての役割

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に変更となったが、引き続き感染症対策に重点を置きながら事業運営に努めた。介護・看護の実習生や戸越台中学校の職場体験の受け入れ、東京都のインターンシップ事業へ参加した。認知症対応型の運営推進会議を12月と3月に開催し、認知症ケアの説明や実施内容を報告した。また、夏まつりやクリスマス会で子供たちによるフラダンスボランティアを招き、利用者と一緒に楽しむことができた。戸越台中学校の作品展にデイサービスの作品を展示するなど世代間交流が図れた。

### 1. 感染対策を徹底し、安定した事業運営

- ・利用者や職員が新型コロナウイルス感染症に罹患することはあったが、基本的な感染症対策、利用者の体調観察や家族との連絡調整を行い、事業に支障をきたすことなく運営することができた。
- ・基本事業の稼働率は、入院や施設入所によるサービスの終了はあったが、7割を超えた。認知症事業は基本事業からの移行や増回を行ったが、目標値には届かなかった。
- ・年間平均稼働率 基本事業71.2% 認知症対応型事業13.1%

### 2. 生活スタイルに合わせた個々のリハビリの充実

- ・生活環境の把握や本人の意向を確認して自立支援に基づくリハビリを実施し、歩行能力の維持向上が図れた。また、集団体操やレクリエーションリハビリを行うことで、意欲の向上や楽しく身体を動かす習慣を身につけ生活リズムを整えることができた。

### 3. 在宅生活を維持するため個別性を尊重した認知症ケアの実施

- ・利用者の日常の様子を把握し、その方らしい環境づくりを設定、存在意義や役割を見出すことに視点をおいて、主体的に参加できるようにした。
- ・認知症ケアや高齢者虐待予防の研修に参加し、職員間で情報共有をしながら介護の質の向上に努め、サービスに反映させた。

### 4. 地域拠点としての役割

- ・認知症事業を地域に知っていただくために、在宅介護支援センターなどにパンフレットの配布や空き情報を発信した。
- ・介護予防事業の身近でトレーニングでは、延490名の利用があり、地域高齢者の自立支援・介護予防やコミュニケーションの活性化につなげた。

## 荏原デイサービス 事業報告

### 《重点目標》

1. 利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を送るための支援の実施
2. 感染対策を強化しながら健全、安全な事業運営
3. 職員が安心してチームを意識して働くことができる職場環境の整備
4. 大規模改修工事に向けての準備及び仮設における安全な運営

令和5年度は4年ぶりに荏原まつり（地域交流事業）を開催した。荏原ホーム全体で取り組むことができ、模擬店等の規模は以前より縮小したが、利用者の明るく楽しそうな表情が印象的であった。12月末からは仮設事業所へ移転しての運営となったが、休業することなく、翌日から通常運営する事ができた（令和7年9月頃まで仮設事業所での運営となる）。

### 1. 利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を送るための支援の実施

- ・本人、家族、ケアマネジャーと連携を図り、得られた情報を通所介護計画へ反映し個々に合わせたサービス提供を行った。
- ・認知症対応型運営推進会議は年2回開催した。必ず、1名は利用者ご本人に参加いただくことで、より具体的な希望を伺うことができた。
- ・利用申し込みや、臨時利用、利用日の変更等の希望にはできる限り迅速に対応し調整した。
- ・家族、本人の意向をくみ、生活状況の聞き取り、訪問時や送迎時の状況をもとに個別機能訓練計画を作成し実践した。

### 2. 感染対策を強化しながら健全、安全な事業運営

- ・感染対策を講じながら、実習生の受け入れ、ハローワークからのインターンシップを受け入れる（3人）など、介護人材育成に貢献した。一般のボランティアの受け入れに関しては、一部を除き、感染拡大防止の観点から見送った。
- ・年間平均稼働率 基本事業66.3% 認知症対応型事業 56.1%

### 3. 職員が安心してチームを意識して働くことができる職場環境の整備

- ・職員体制が十分に組めず、外部研修に関しては、限られた人数となった。内部研修に関しては、伝達研修を行い、全員へ周知した。
- ・大規模改修工事にあっては、改修後の設計、仮設事業所の家具の配置、食事提供方法の変更、入浴場所および入浴機器の変更に対処するために、就業後にミーティングを重ね、マニュアルを見直し、他部署との連携を図った。

### 4. 大規模改修工事に向けての準備及び仮設における安全な運営

- ・他部署の協力のもと、移転翌日から滞りなく事業を実施することができた。
- ・利用者も職員も慣れない環境の中、離設を伴うヒヤリハットが数件、発生した。
- ・関係各所と調整し、ハード面での対応と、職員のマニュアルを変更し速やかに対応にあたり、少しずつ、落ち着いた環境を作ることができた。

## 小山デイサービス（小山の家） 事業報告

### 《重点目標》

1. 笑顔や楽しみのある生活を維持することができるような支援の実施
2. 感染症対策を徹底しながら安定した事業の運営
3. 専門職としての質の向上
4. 若年性認知症の方の受け入れの実施

令和5年度について、感染症は新型コロナウイルス感染症に職員3名が感染したものの、利用者への大きな影響は避けることができた。利用者については、インフルエンザや新型コロナウイルスの感染者もなく過ごすことができた。稼働率に関しては、前年度より徐々に新規契約も増え向上したものの、稼働率50%前後から伸び悩んだが、2月以降、新規契約数が増えてきた。

### 1. 笑顔や楽しみのある生活を維持することができるような支援の実施

- ・小山の家に来られている時だけでも、常に笑顔で過ごすことができるよう、また、ストレスを感じることなく自分のペースで、自分らしく、不安なく、自分の居場所と感じられるよう、利用者個々の個性を知る事に力を注ぎ、楽しめる時間を提供することができた。
- ・利用者と向き合い支援を行い、利用者の気持ちを第一に考えた。家族と情報交換を積極的に行い、ケアマネジャーとも必要な報告を行い、情報の共有を行った。

### 2. 感染症を徹底しながら安定した事業の運営

- ・感染症については、インフルエンザは利用者、職員とも感染はなく過ごすことができたが、新型コロナウイルス感染症に関しては、職員3名が感染したことで、職員体制が厳しくなったが利用者への影響はなかった。
- ・年間稼働率52.9%で目標の60%には届かなかった。長期入院や施設入所が続き稼働率に影響が出たが、空き状況の定期的なお知らせや、パンフレットの活用を行い、年明け2、3月あたりから徐々に新規契約数が増えている。

### 3. 専門職としての質の向上

- ・認知症に関する研修への参加を積極的に行い研修内容については、職場内において情報の共有を行い、認知症の専門職として適切な支援を行った。
- ・また、利用者の対応方法やより良い支援方法の検討も行った。職員全員が専門職としての自覚を持てるよう心がけた。

### 4. 若年性認知症の方の受け入れの実施

- ・若年性認知症の方と認知症高齢者との共存は難しい面が多いなか、数名の若年性認知症の方を受け入れている。進行が早く少し前にできたこともできなくなってしまい、高齢者から指摘されてしまうこともあり、互いに配慮しながら共に過ごしている。難しさだけでなく、いい面を強みにしながら支援を行った。しっかりと目配りを行い、お互いが楽しめるサービス提供に心がけた。

### 3. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）

（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

新型コロナウイルス感染症は5類に引き下げられたが、依然と感染力が強かったため、施設内でクラスターが発生すると予約キャンセルの影響を受けた。

ショートステイは要介護者と家族にとって、在宅生活を継続するためには欠かせないサービスのひとつである。継続的な利用につながるよう、感染対策を強化し、また利用により心身機能が低下しないように機能訓練やレクリエーションを提供した。利用期間中の様子については家族、ケアマネジャー、訪問診療、訪問看護などの各サービスと連携し、適切に対応した。入退園時間や、送迎の付き添いなど様々なニーズに対しては、可能な範囲で柔軟な対応に努めた。

また、ショートステイを定期的にご利用することでなじみとなった特養ホームへの入所希望につながるケースが多くみられた。

表⑫

区 分	R 5 年度		R 4 年度		R 3 年度	
	延べ 利用日数	稼働率	延べ 利用日数	稼働率	延べ 利用日数	稼働率
成 幸 定員16人	823	14.2%	763	13.3%	2,469	42.3%
戸越台 定員8人	977	33.4%	1,112	38.1%	360	16.7%
荏 原 定員30人	8,267	76.5%	8,536	77.9%	7,899	72.2%
平塚橋 定員12人	1,696	39.4%	1,589	36.8%	2,028	46.4%

※荏原は大規模改修工事により、令和6年3月から24床で運営している

※戸越台は大規模改修工事により令和元年度・2年度は休止し令和3年7月より再開した

※詳細は94～97頁を参照



## 1) 各施設の取り組み

### 成幸ショートステイ 事業報告

#### 《重点目標》

1. アセスメントを重視した個別ケアの実践
2. 遵守事項を守りサービスマナーを向上
3. 利用満足度の向上と感染症対策
4. 業務の効率化と省力化

8月から9月と3月にホーム内でコロナ感染が発生したことにより、受け入れを中止する期間があり、年間稼働率が14.2%と目標を達成することはできなかった。その中で、個別ケアの提供には一年を通して力を入れ、個々に合わせた環境を整えサービスを提供することができた。

#### 1. アセスメントを重視した個別ケアの実践

- ・自宅における契約や担当者会議にて利用者の生活環境や家族の介助方法を確認、その内容を職員間にて情報共有することで個別ケアのサービスを提供した。
- ・ケアマネジャーとの連携にも努め、課題解決に向けた情報提供を行った。

#### 2. 遵守事項を守りサービスマナーを向上

- ・各職員がオンライン動画研修を視聴し、専門職としての言葉遣いや接遇などのサービスマナー向上の意識を持ち業務に就いた。
- ・利用期間中において事故報告書の提出が必要な事故を起こすことなくサービスを提供することができた。

#### 3. 利用満足度の向上と感染症対策

- ・感染症対策として、1テーブルの相席は2名までとし、正面で向き合わない等の対応を実施した。
- ・小規模ではあったが、特養利用者と共にレクリエーションを行う機会を提供し、利用期間中に楽しんでいただいた。

#### 4. 業務の効率化と省力化

年間平均稼働率 14.2%

- ・ショートステイの職員配置を確保していくことが困難になっているため、利用受け入れを縮小する状況が続いた。
- ・特養配置の職員の協力を得ながら、事業を継続していくため、タブレット端末を活用することで業務時間の削減や、業務内容の統一性を図った。

## 戸越台ショートステイ 事業報告

### 《重点目標》

1. 感染症予防対策の徹底
2. サービス内容の向上
3. 業務の効率化、省力化
4. 安定した事業運営

新型コロナウイルスは5類に移行になったが、引き続き手指消毒や換気、3密を避けるなどの標準的な感染症予防対策を行った。家族とケアマネジャーとの情報を共有し、入所前後や滞在中の利用者の体調把握、健康観察を細やかに行うなど感染予防に努めた。また、緊急などの多様なニーズにも柔軟に対応した。

### 1. 感染症予防対策の徹底

- ・感染症についてのリモート研修や実地訓練など勉強会を実施し、感染症発生時には職員全員で迅速かつ適切な対応がとれるよう体制を整えた。
- ・感染症予防策を講じた上で、利用者が安心して、楽しく滞在できる趣味活動やレクリエーション活動を実施した。

### 2. サービス内容の向上

- ・サービスマナーの勉強会を通し、挨拶や言葉づかい、声のかけ方、共感する態度や姿勢など、対人援助技術を習得し実践につなげた。
- ・利用者および家族の意向を確認しながら、在宅生活の継続に視点を置いた自立支援や、利用者の個別ニーズに応じたサービス提供に努めた。
- ・利用者、家族が安心してショートステイを利用できるよう、リスクマネジメントの徹底を図り、事故防止に取り組んだ。
- ・事故やトラブル、苦情発生時は関係者間で連絡を取り合い、原因の究明や改善策を提示して迅速かつ丁寧に対応した。

### 3. 業務の効率化、省力化

- ・業務内容やシステムの見直しを行い、役割分担の明確化や書式のデジタル化を行った。
- ・ICT活用により業務の効率化、省力化を図り、職員の負担の軽減や利用者サービスの向上をめざし、環境体制を整備した。

### 4. 安定した事業運営

- ・年間平均稼働率 33.4%
- ・ショートステイの窓口担当者の設置ができず、また感染症対策により利用調整を積極的に行うことができなかった。
- ・緊急ショートステイの受け入れは、多様なニーズに柔軟に応じることで長期の利用につながった。

## 荏原ショートステイ 事業報告

### 《重点目標》

1. 荏原複合施設大規模改修工事に向けての準備及び仮設における安全な運営
2. 職員のレベルアップを図り「楽しい」ショートステイの実施
3. 感染症対策、リスク管理を徹底し、清潔で安心できる環境整備
4. 地域ニーズへの対応

大規模改修工事が始まり、令和7年9月まで仮設事業所となる旧保健センター2階へ移転し、3月から運営を開始した。それに伴い定員変更が必要となり、30床から24床へ変更（4人部屋6室）となった。また事業エリアで工事が発生する状況がたびたび起こり、対応に追われた。

### 1. 荏原複合施設大規模改修工事に向けての準備及び仮設における安全な運営

- ・入園退園の受付場所、玄関の変更があったため、家族にわかりやすいように電話や口頭での説明をていねいに行った。
- ・移転後、業務がスムーズに行えるように必要物品を整備した。また浴室はデイサービスと共用となるため、話し合いを重ねて調整した。
- ・日中の騒音や工事業者の出入りなど、落ち着かないため、団らん室を設け音楽や声かけ、レクリエーションなどを通して安心していただけるよう配慮した。

### 2. 職員のレベルアップを図り「楽しい」ショートステイの実施

- ・接遇マナー委員を継続し、「虐待の芽チェックリスト」を年2回実施した。さらに今年度は荏原ショートステイ独自版を作成して実施した。
- ・身体拘束「ゼロ」が継続できた。毎月身体拘束廃止推進会議に参加した。

### 3. 感染症対策、リスク管理を徹底し、清潔で安心できる環境整備

- ・感染症関連の通知やニュースにアンテナを張り、全職員へ発信し、情報共有した。職員の急な体調不良に伴う勤務変更はグループラインの活用により、素早く調整できるようになり、業務の効率化につながった。
- ・11月には二人一組で「嘔吐物処理方法」を実施し、互いに確認し合い、いつ起きても誰もが対応できるよう実践に備えた。
- ・再発防止に向けて、ヒヤリハットや事故報告書は月別・年度別に集計し再度分析を行った。また、毎月リスク会議に参加し、協議検討を行った。

### 4. 地域ニーズへの対応

- ・利用中の様子はケアマネジャーをはじめ関係機関へ共有した。特にヒヤリハットや事故報告は早急に遅滞なく行った。
- ・計画外の延泊や虐待などの緊急保護ケースに関しては、相談員以外の職員も対応できるような体制を整備した。令和5年度は18件の緊急受け入れを行った。
- ・年末年始も運営し、14人が正月料理やお屠蘇など和やかな正月を過ごされた。
- ・職員による送迎時の添乗サービスを開始した。149件実施した。
- ・年間平均稼働率76.5%。途中、新型コロナウイルス感染症に罹患された方がおり、31件延べ131日分のキャンセルが発生した。

## 平塚橋ショートステイ 事業報告

### 《重点目標》

1. 人材の定着と育成
2. 感染症予防の徹底
3. 安定した事業運営
4. 在宅生活継続に視点を置いたケアの向上

新型コロナウイルス感染症は終息には至っていないが、在宅サービスのひとつであるショートステイとして、利用ニーズにはなるべく応えられるように受け入れ調整を行った。見学希望の方に対しては、施設の紹介動画などを活用し説明を行った。

### 1. 人材の定着と育成

- ・年度当初に各職員とチェックリストと各自の目標確認を兼ね個別に面接を実施。業務に対する考え等を確認し、各職員の状況の把握に努めた。
- ・それまでのネットワーク上での連絡帳をさらに進め、情報共有ツールとしてオンライン上での連絡帳を導入、情報共有に利便性を高めた。
- ・虐待の芽チェックリスト、アンケートを、WEBでのフォームに変更し、準備、まとめの時間を短縮した。また令和6年度の施設のICT化の内容紹介と考えられる効果等もWEBでのアンケートを通じて把握した。
- ・引き続きOJTやオンライン動画で研修を行った。
- ・マニュアル等の確認、見直しを行った。

### 2. 感染症予防の徹底

- ・館内のアルコールボトルを設置しなおし、補充しやすい方法へ変更した。
- ・感染症対策としての手洗い、うがい、マスクの適正着用について注意喚起を継続して行った。
- ・コロナ感染が確認された際にはすみやかな情報共有に努め、備品の準備やユニットのレイアウト修正などを行い、短期間で終息することができた。
- ・行政から出される指示、対応方法等は速やかに回覧を行い、必要なものについては掲示し、広く目につくようにした。

### 3. 安定した事業運営

- ・年間平均稼働率 39.4%
- ・スムーズな利用につながるようように、関係各所との連携に努めたが、状況により受け入れ困難な場合や、対応が難しい人員配置の日もあり、受入れ担当も調整できず目標稼働率に到達しなかった。
- ・物品類の価格高騰があり、購入物品については、業者とインターネット通販を比較し、より安価なものを検索して購入し、費用の削減に努めた。

### 4. 在宅生活継続に視点を置いたケアの向上

- ・ユニットケアの原点に戻り、自宅での生活状況を細かく確認し、ショートステイとして可能な範囲で自宅に近づけるようなサービス提供に努めた。また個別の過ごし方を尊重した。
- ・入所時は家庭での過ごし方、様子などを伺い、退所時にご家族に利用中のご様子を細かくお伝えしている。特に家庭での介護の状況について伺う際に、家族の介護上の困りごとや、質問に対して施設での対応方法などをお伝えした。
- ・施設での生活の様子を、写真と共にホームページで更新した。

## 4. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、地域包括支援センター）

（成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台）

品川区の在宅介護支援センターは、老人介護支援センター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の3つの機能を1か所で担っている。これにより、「身近な地域のワンストップ」窓口の機能、社会資源を活用した総合的なケアマネジメント機能、高齢者の状況変化に対応した柔軟かつ継続的なサポート機能を果たした。

また、共生型社会に向けた障がい者等への対応も求められているなか、「品川区荏原障害者計画相談支援事業所」の運営を継続し、高齢障害者に対する包括的な相談支援に努めた。

### 《重点目標》6 支援センターの業務の平準化を図る

6つの在宅介護支援センターを運営していることから各支援センターの業務システムの平準化を図る必要がある。運営面と並行して個々のケアマネジメントの質が一定レベルは担保されるように資質の向上を図るため「適切なケアマネジメント手法の実践」「S-SOAI Pの実践」を重点目標として掲げ、以下の3点に取り組んだ。

- ①高齢者・障がい者等が住み慣れた地域で、いきいきとしたその人らしい生活が続けられるように共生型社会を目指し支援する。
- ②保健・医療・福祉・行政・住民団体などの各関係機関と多職種連携を念頭にネットワークづくりを進める。
- ③相談員としての総合的な力量をつける。

### 《在宅介護支援センター業務》

- ・ 高齢者の総合相談、実態把握
- ・ 包括的・継続的マネジメントの支援
- ・ 要介護認定調査
- ・ 臨時給付金申請補助業務委託
- ・ 東京都・品川区主催の研修の受講
- ・ 認知症サポーター養成講座
- ・ 介護給付費通知の実施に伴う在宅介護支援センター送付説明業務
- ・ 令和5年度障害者の包括支援相談体制整備促進事業の受託
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種補助業務
- ・ その他、品川区からの委託事業や協力要請に基づく業務
- ・ 介護予防のケアマネジメント
- ・ 居宅介護支援事業
- ・ 高齢者見守りアイテム登録
- ・ 高齢者熱中症等予防対策の普及啓発
- ・ 法定研修の受講
- ・ レベルアップ講座

**在宅介護支援センター 事業報告**  
(成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台)

**《重点目標》**

1. 6支援センターの業務平準化
2. 「適切なケアマネジメント手法」を理解したケアマネジメントの実践
3. F-SOAIPの記録法の導入
4. アドバンス・ケア・プランニング（ACP）講演会の企画・開催
5. 新しい働き方への転換

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が感染症分類5類に引き下がり、感染予防対策を講じながらも、対面による面談や研修の機会が増えた。徐々にではあるが、感染症が流行する前の日常生活に近づいてきたことを実感した。一方で感染症が流行している間に配属となった職員にとっては、本来行うべきケアマネジメントの実践に不安と戸惑いを感じる職員もおり、職員の育成について再考する機会となった。

**1. 6支援センターの業務平準化**

共通のシステム、書式を使用し業務を実施することにより、担当職員不在時においても、利用者およびその家族に対して不利益を与えることなく、円滑に業務を遂行することができた。また異動によるシステムや書式の違がないことから、異動先においてスムーズに業務に入ることができ、職員への負担軽減とともに、事業所としての生産性向上につながったと考える。

**2. 「適切なケアマネジメント手法」を理解したケアマネジメントの実践**

適切なケアマネジメント手法を実践するために、研修未受講者においては、積極的な研修受講を奨励した。また既受講者にも繰り返し学ぶことの必要性を伝え、学びと実践を継続した。

**3. F-SOAIPの記録法の導入**

品川区F-SOAIPクイックスタートマニュアルに基づいた記録の実践を行った。新しい記録法であることから、理解すること、理解を深めるために、品川区介護支援専門員連絡協議会等が主催する研修会への参加を奨励した。

**4. アドバンス・ケア・プランニング（ACP）講演会の企画・開催**

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下がったとはいえ、地域社会においては新型コロナウイルス感染症への不安感、早い時期からのインフルエンザの流行が重なり、今年度は開催の実現ができなかった。

**5. 新しい働き方への転換**

スマートフォンの導入により、これまで手書きで行った業務を撮影やメール等を活用し、業務の効率化を図ることができた。研修等ではWebでの開催が多くを占める状況となったことで、リモートにおける業務、職員一人ひとりの対応力が飛躍した。

表⑬ 要介護認定調査 (単位：件)

区 分	R 5年度	R 4年度	R 3年度
成 幸	116	113	145
戸 越 台	149	175	230
杜 松	191	261	287
荏 原	135	140	166
小 山	177	252	314
小 山 台	205	198	169

表⑭ 相談件数 (単位：件)

区 分	R 5年度	R 4年度	R 3年度
成 幸	14,040	14,706	16,374
戸 越 台	10,241	12,133	13,177
杜 松	14,556	14,464	15,918
荏 原	11,402	11,331	12,119
小 山	13,186	15,278	15,588
小 山 台	6,256	7,249	7,103

表⑮ 国保連への請求数 (単位：件)

区 分		R 5年度		R 4年度		R 3年度	
成 幸	介護給付	1,331	延4,697	1,302	延4,484	1,687	延4,649
	予防給付	3,366		3,182		2,962	
戸越台	介護給付	1,235	延3,378	1,434	延3,667	1,391	延3,903
	予防給付	2,143		2,233		2,512	
杜 松	介護給付	1,132	延3,870	1,081	延3,650	1,373	延3,985
	予防給付	2,738		2,569		2,612	
荏 原	介護給付	1,480	延3,582	1,526	延3,608	1,353	延3,587
	予防給付	2,102		2,082		2,234	
小 山	介護給付	1,252	延4,172	1,598	延4,659	1,819	延4,782
	予防給付	2,920		3,061		2,963	
小山台	介護給付	1,123	延2,835	942	延2,494	1,113	延2,709
	予防給付	1,712		1,552		1,596	

※「予防」の件数は令和元年度より予防給付件数と総合事業原則型および簡略型ケアマネジメント件数の総計。

※表⑬⑭⑮の詳細は102～125頁を参照

## 5. 障害者計画相談支援（特定相談支援事業）

障害者計画相談支援 事業報告	
<p><b>《重点目標》</b></p> <p>1. 荏原西地区の在宅介護支援センターと連携            2. 障がい者に対する包括的な相談支援            3. 地域において必要な社会資源の確保</p>	
<p>荏原西地区を基本に対象利用者への相談支援を実施した。荏原西地区は同法人が在宅介護支援センターも受託しているため、スムーズな連携をとることができた。一方、関りが少なかった他の事業所においては、障害福祉サービスの考え方を確認しながら、実践を行った。また障害者福祉課とも連携し、クライアントに不利益にならぬように努めた。研修・意見交換会など積極的に参加することで、知識と実践力の習得に努めた。</p>	
<p><b>1. 荏原西地区の在宅介護支援センターと連携</b></p> <p>荏原西地区の在宅介護支援センター（荏原・小山・小山台）と障害者福祉サービスについての情報共有し、カンファレンス・地区ケア会議等に参加することでケアマネジャーと良好な関係を形成した。</p>	
<p><b>2. 障がい者に対する包括的な相談支援</b></p> <p>障害者福祉課・地域拠点相談支援センター・サービス事業所との連絡相談体制を構築し、クライアントに必要な障害福祉サービスの提供に努めた。</p>	
<p><b>3. 地域において必要な社会資源の確保</b></p> <p>相談支援事業所連絡会・品川区地域自立支援協議会に参加し、必要な障害福祉サービスの把握・改善を行い、障害者福祉課・相談支援事業所と情報交換を行った。</p>	

表⑯ 障害種別 (単位：人)

利用者数	R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度
身体障害	233	108	8
重症心身障害	—	9	—
知的障害	60	38	1
高次脳機能障害	—	2	—
その他	20	3	—

※表⑯の詳細は126～127頁を参照

荏原障害者計画相談支援は令和4年3月より開始



## 5 高齢者多世代交流支援施設(ゆうゆうプラザ)

5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行後は、入浴制限は解除、アクリル板は希望者、マスクは推奨、飲食が可能になった。入館時の手洗い、検温、消毒は継続し、感染対策を行い、安心安全にゆうゆうプラザを利用できる対応をした。

年間登録している団体の他、申込みによる部屋利用が増えた。地域交流スペースは囲碁や将棋を楽しむ高齢者や乳幼児連れの家族、放課後に宿題をする小学生の姿も多く見られた。また、健康増進室や入浴の利用者も増加し、活気あるゆうゆうプラザとなった。

その他、コーラス、演劇公演、クリスマスイベント等、地域住民の活動の発表や交流の場として、多世代交流が再開できた1年となった。

## 平塚橋ゆうゆうプラザ 事業報告

### 《重点目標》

1. 高齢者と多世代の積極的交流の促進
2. 施設整備、環境整備
3. 新型コロナウイルス感染症の状況、動向を踏まえた対応

新型コロナウイルス感染症の5類への移行を経て、コーラス等のイベントを昨年より多く開催できた。また、活動している団体の発表の場として「ゆうゆうプラザまつり」や「作品展」等を開催。発表の場があることで、利用者の練習意欲の向上につながった。

### 1. 高齢者と多世代の積極的交流の促進

- ・夏冬の休み、土日等、小中学生が参加しやすい時期にイベントや講座を計画。絵画イベント（母の日、父の日等）やキッズクラフトバンド講座は、親子連れでの参加につながった。開催のチラシも、わかりやすく作成し、イベント実施後はホームページに掲載した。
- ・ミニ作品展では絵画イベントで描いた作品や、近隣の保育園児作成の七夕飾りを展示。作品を通じて多世代での交流につながった。
- ・ゆうゆうプラザまつりを11月に開催。年間通して活動されている6団体の発表、お絵かきやボードゲーム、輪投げ等子ども向けの内容で開催し、多世代で楽しむおまつりを開催した。
- ・近隣の中学校から2日間の職業体験の受け入れを行った。職業体験を通じて、中学生にゆうゆうプラザを知ってもらいきっかけとなった。
- ・近隣の児童センターとのeスポーツ交流会を開催。スポーツゲームを行い、高齢者が児童からゲーム機の操作を教わり、一緒に楽しむことができた。
- ・地域交流スペースでは囲碁や将棋を楽しむ高齢者の姿や、ゆうゆうプラザを待ち合わせ場所とし、団らんする利用者も定着した。飲食も可能になったことで乳幼児連れの家族が来館し、休憩する姿も見られるようになった。日曜日には定期的にキッズコーナーに遊びにくる親子連れや、放課後に宿題をする小学生の姿も見られ、多世代で安心して過ごせる場所として、環境整備に努めた。
- ・利用者ボランティアの「もりあげ隊」や、利用者からの意見や要望等には、丁寧な対応を心掛け、安心して利用できる環境づくりに努めた。

### 2. 施設整備、環境整備

- ・開設8年目となり、機器や設備の故障があり、見つけた際は速やかに調整、修理等を行った。また委託先の設備、清掃、受付担当とも連携を密にとり、利用者が安全・安心に利用できる対応をした。

### 3. 新型コロナウイルス感染症の状況、動向を踏まえた対応

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行後は入浴制限は解除し、アクリル板は希望者、マスクは推奨、飲食が可能になった。利用者には説明し、理解を求め、安全に施設利用できるように対応した。引き続き感染症対策として、利用者には手洗い、消毒の継続を依頼した。
- ・イベントは人数制限、申込予約制をとっていたが、11月以降のイベントは自由観覧とし、多数の観覧者が楽しまれた。
- ・行政から発信される情報は適時掲示し、利用者に情報を伝え、安心してゆうゆうプラザを利用できる対応を行った。

## 6 主な施設整備

### 1) 成 幸

【工 事】	(単位：千円)
1 立体炊飯器交換工事	1, 040
2 浴室部品交換修理	652
3 緩降機交換工事	453
4 非常用自家発電機修理代	402
<b>計</b>	<b><u>2, 547</u></b>

【備品購入】	(単位：千円)
1 介護ベッド KA-N1721J 7台	3, 280
2 介護ベッド KA-N1481J 3台	1, 270
3 業務用掃除ロボット 1台	880
<b>計</b>	<b><u>5, 430</u></b>

### 2) 戸越台

【工 事・備品購入】	(単位：千円)
1 ICT導入関連	
ナースコールスマホ連携工事	4, 659
電話回線スマホ連携工事	4, 290
ケアカルテ連携工事	1, 161
見守りセンサー 10台	4, 125
スマートフォン・備品 27台	2, 042
インカム（骨伝導） 27台	549
パソコン（ICT連携用） 1台	206
2 スタンド付き体重計 1台	192
<b>計</b>	<b><u>17, 224</u></b>

### 3) 荏原

【工 事】		(単位：千円)
1	荏原複合施設自動フラッシュバルブ取替	658
2	荏原複合施設ろ過装置用タッチパネル交換	412
<b>計</b>		<b><u>1,070</u></b>

【備品購入】		(単位：千円)
1	ブラストチラー	1,947
2	ノートパソコン 4台	728
3	床走行リフト	380
4	冷蔵庫 2台	371
5	車イス 2台	282
6	タイムレコーダー	172
<b>計</b>		<b><u>3,880</u></b>

### 4) 平塚橋

【工 事】		(単位：千円)
1	汚水槽フロートスイッチ交換	613
2	プロジェクター修理	594
3	ウッドデッキ修繕	363
<b>計</b>		<b><u>1,570</u></b>

【備品購入】		(単位：千円)
1	コピー複合機 2台	858
2	機能訓練用平行棒 1台	316
3	介護用エアーマット 2台	260
<b>計</b>		<b><u>1,434</u></b>

## 7 安全への取り組み

令和3年度の介護保険法改正において新たに介護事故予防に向けた取り組みが運営基準の中で義務づけられ、介護事故予防に向けた取り組みを推進する担当者を配置した。指針に基づき、毎月、リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止推進委員会、感染症対策委員会、虐待防止検討委員会を設置し、安全な施設運営へ取り組みを続けている。

事故報告件数（品川区報告）

（単位：人）

	成幸ホーム	成幸デイサービス	戸越台ホーム	戸越台デイサービス	荏原ホーム	荏原ショートステイ	荏原デイサービス	小山デイサービス	平塚橋ホーム	支援センター	合計
身体的不自由に起因											
転倒・転落	1	1	—	—	2	1	1	—	—	—	6
誤嚥性肺炎	—	—	2	—	11	—	—	—	—	—	13
骨折	—	—	3	—	7	2	—	—	2	—	14
設備に起因	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染症・食中毒・疥癬等（※）	53	—	—	—	51	4	—	—	5	2	115
交通事故	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
震災・風水害・火災	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
利用者間トラブル	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
職員の行為（不注意等）											
誤薬等	4	—	1	—	2	4	—	—	3	—	14
離設・徘徊	—	—	2	—	—	—	1	—	—	—	3
個人情報取扱不備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
不注意	—	—	1	—	3	1	—	—	—	1	6
その他	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
その他 救急搬送等	—	—	3	—	38	5	1	—	1	—	48
事故報告合計	60	1	12	—	115	17	3	—	11	4	223

ヒヤリ・ハット合計	216	4	251	14	255	100	—	—	411	—	—
-----------	-----	---	-----	----	-----	-----	---	---	-----	---	---

支援センターは6か所の合計

その他 救急搬送等は 病状の悪化、意識障害など

（※）の数は報告件数

## 8 研修報告

### 1) 施設外研修

東京都高齢者施設福祉部会をはじめとする各種研修、研究会が再開されており、多数参加した。集合型研修に加え、オンライン研修、ハイブリット研修も増えており、よりいろいろな職員が参加しやすくなった。

### 2) 施設内研修

合同研修として、数年ぶりに集合型で介護技術研修を実施することができた。一方、オンライン研修も継続することで繰り返し学べる機会を持つことができた。

研修報告の詳細は144～154頁を参照

## 9 地域活動

### 1) 生と死を見つめる懇談会（地域公益活動）

今年度は開催を見合わせた。

### 2) 広報紙「三徳だより」の発行

法人の各種事業内容や福祉情報を地域の方々や関係機関に広報することを目的に、広報紙「三徳だより」を発行し、地域関係者および活動休止中のボランティアも含め、幅広く送付した。

### 3) ホームページの活用

定期的にホームページを更新し、各種サービスの情報を発信した。

### 4) 地域交流会（地域公益活動）

今年度は開催を見合わせた。

### 5) 高齢者と介護者のための料理教室

年3回、4施設の管理栄養士が共働で開催予定であったが感染症拡大予防対策のため引き続き中止とした。令和5年度も、三徳会レシピを広く配布した。

### 6) ボランティア懇談会

今年度は開催を見合わせた。ボランティア受け入れに関しては少しずつ再開した。

### 7) 地域行事への参加

福祉まつり、近隣町会の盆踊りやお祭りなど、参加した。

## 10 その他

### 1) 実習生・研修生

感染予防に配慮しながら、人材育成と社会貢献などを目的として計画的に受け入れた。

### 2) 防災対策

火災や震災などを想定した防災訓練を継続的に実施した。併せて消防設備の機能、活用方法の確認や、緊急時の職員の連絡訓練も実施した。町会、荏原消防署の協力による同防災訓練は、感染対策を講じながら縮小して実施した。

### 3) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症の予防のために、各施設では徹底した消毒や面会制限などさまざまな対策を講じたが、感染症が発生した施設もあった。今後も新型コロナウイルス感染症に限らず、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症に対しても継続して予防していきたい。

## 11 業績

### 1) 表彰など

◇東京都社会福祉協議会 東京都社会福祉協議会会長感謝状（永年勤続功績者）

受賞：岡島健二、加藤拓、久保歩、恒任知子、黒田かほる、佐藤徳之  
三浦香織、山木貴大、鹿野仁美、西林祐助、白井春男

◇東京消防庁 予防部長感謝状（火災予防業務協力功労）受賞：三徳会



## 12 新型コロナウイルス感染症の発生

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の類型が5類感染症に変更された。それにより感染症法に基づく行動制限等は解除されたが、施設における感染対策や発生時の対応は従前どおり実施した。

各施設の新型コロナウイルス集団感染の状況は以下のとおりである。

### 1) 成幸ホーム

期 間：令和5年8月3日～8月28日（解除日）

感染者累計：利用者30名（3階12名、4階18名）

入院者1名

期 間：令和6年3月19日～4月4日（解除日）

感染者累計：利用者23名（2階17名、3階6名）

入院者3名

### 2) 戸越台ホーム

発症なし

### 3) 荏原ホーム

期 間：令和5年8月11日～9月14日（解除日）

感染者累計：利用者40名（4階40名）

入院者2名

期 間：令和6年3月16日～4月22日（解除日）

感染者累計：利用者31名（3階31名）

入院者3名

### 4) 平塚橋ホーム

期 間：令和5年12月20日～令和6年1月8日（解除日）

感染者累計：利用者5名（2階）

## 13 荏原複合施設大規模改修工事

令和5年8月より、荏原複合施設大規模改修工事が着工した。今年度の主な工事は以下の通りである。

- 令和5年7月 荏原保健センター 仮設に移転  
それに伴い、建物管理業務の一部を受託する。
- 令和5年8月 地下駐車場に建築事務所を設置  
送迎車輛駐車のため、東京都道路予定地を借用した。
  - 10月 STEP1の準備として仮設工事開始
  - 12月 デイサービス 仮設エリアへ移転
- 令和6年3月 支援センター 仮設エリアへ移転  
ショートステイ 仮設エリアへ移転し、定員数を24床に変更  
特養ホーム 3階62床 4階58床 フロア定員数変更

# 資 料 編



# 1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

## 1) 令和5年度の利用者動向（令和6年3月31日現在）

端数処理は小数点第二位を四捨五入した。

平均年齢

（単位：歳）

区分	成幸 定員80名	戸越台 定員72名	荏原 定員120名	平塚橋 定員100名
平均	88.6	89.5	90.1	90.5
男性	89.5	85	87.1	88.8
女性	88.4	90.5	90.1	90.9
男性 最高年齢	101	102	97	96
女性 最高年齢	100	107	107	106

年齢別男女構成比

		64～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上		100歳以上		男女比	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
成幸	合計	1人		2人		3人		9人		24人		24人		10人		2人			
		1.3%		2.7%		4.0%		12.0%		32.0%		32.0%		13.3%		2.7%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	1	—	2	—	3	3	6	3	21	6	18	1	9	1	1	14	61
	%	—	1.3	—	2.7	—	4.0	4.0	8.0	4.0	28.0	8.0	24.0	1.3	12.0	1.3	1.3	18.7	81.3

		64～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上		100歳以上			
戸越台	合計	—		2人		4人		11人		17人		19人		9人		6人		男女比	
		—		2.9%		5.9%		16.2%		25.0%		27.9%		13.2%		8.8%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	—	2	—	2	2	2	9	1	16	3	16	1	8	1	5	12	56
	%	—	—	2.9	—	2.9	2.9	2.9	13.2	1.5	23.5	4.4	23.5	1.5	11.8	1.5	7.4	17.6	82.4
荏原	合計	—		1人		5人		13人		33人		34人		18人		7人		男女比	
		—		0.9%		4.5%		11.7%		29.7%		30.6%		16.2%		6.3%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	—	—	1	1	4	3	10	4	29	1	33	2	16	—	7	11	100
	%	—	—	—	0.9	0.9	3.6	2.7	9.0	3.6	26.1	0.9	29.7	1.8	14.4	—	6.3	9.9	90.1
平塚橋	合計	—		—		3人		11人		22人		29人		23人		5人		男女比	
		—		—		3.2%		11.8%		23.7%		31.2%		24.7%		5.4%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	—	—	—	—	1	2	2	9	5	17	4	25	4	19	—	5	16	77
	%	—	—	—	—	1.1	2.2	2.2	9.7	5.4	18.2	4.3	30.1	4.3	20.4	—	5.4	17.2	82.8



## 2) 利用者の入退所状況

(成 幸)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	11	12	14	15	13	14	14		
	女性	62	62	64	65	60	59	61		
	合計	73	74	78	80	73	73	75		
入所者数	在宅	男性	—	1	3	—	—	1	—	
		女性	—	1	—	—	—	1	2	
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	再入所	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	男性	—	—	—	1	—	—	—	
		女性	—	—	2	1	—	—	—	
	合計	男性	—	1	3	1	—	1	—	
		女性	—	1	2	1	—	1	2	
実入所者合計		—	2	5	2	—	2	2		
退所者数	短期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	長期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	2	—	—	
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	施設内死亡	男性	3	—	1	—	2	—	—	
		女性	—	1	—	—	3	2	—	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
合計	男性	3	—	1	—	2	—	—		
	女性	—	1	—	—	5	2	—		
実退所者合計		3	1	1	—	7	2	—		
要介護度別内訳	要介護1	3	3	3	3	3	3	3		
	要介護2	4	4	4	5	5	5	6		
	要介護3	34	34	34	34	30	30	30		
	要介護4	22	22	26	27	24	24	25		
	要介護5	10	11	11	11	11	11	11		
平均介護度		3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5		
延人数		2,218	2,277	2,261	2,451	2,359	2,186	2,296		
月稼働率 (%)		92.4	91.8	94.2	98.8	95.1	91.1	92.6		

注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。

2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。

3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院



(単位：人)

					年度合計	平均
11月	12月	1月	2月	3月		
14	14	14	14	14		13.6
62	66	64	61	61		62.3
76	80	78	75	75		75.8
—	—	—	—	—	5	0.4
3	2	—	—	—	9	0.8
—	—	—	—	—	—	—
—	1	—	2	—	3	0.3
—	—	—	—	—	—	—
—	1	—	1	1	3	0.3
—	—	—	1	1	3	0.3
1	—	1	—	1	6	0.5
—	—	—	1	1	8	0.7
4	4	1	3	2	21	1.8
4	3	1	3	2	26	2.2
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	1	1	0.1
1	—	1	1	2	7	0.6
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	1	—	7	0.6
2	—	2	5	—	15	1.3
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	1	1	8	0.7
3	—	3	6	2	22	1.8
3	—	3	7	3	30	2.5
3	3	4	3	3		3.1
6	6	7	8	8		5.7
32	35	33	30	31		32.3
24	24	22	25	24		24.1
11	12	12	9	9		10.8
3.4	3.5	3.4	3.4	3.4		3.5
2,257	2,418	2,453	2,235	2,360	27,771	2,314
94.0	97.5	98.9	96.3	95.2		94.8

(戸越台)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	12	11	11	11	11	13	13		
	女性	56	59	58	59	58	58	58		
	合計	68	70	69	70	69	71	71		
入所者数	在宅	男性	—	—	—	—	—	1	—	
		女性	—	1	1	1	—	1	—	
	病院	男性	—	—	—	—	—	1	—	
		女性	—	2	—	—	—	—	—	
	再入所	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	1	1	1	—	—	
	その他	男性	—	—	1	—	—	—	—	
		女性	1	—	—	—	—	—	—	
	合計	男性	—	—	1	—	—	2	—	
女性		1	3	2	2	1	1	—		
実入所者合計		1	1	2	1	—	3	—		
退所者数	短期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	—	1	1	1	—	—	
	長期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	1	—	—	—	—	
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	1	—	—	—	—	
	施設内死亡	男性	—	1	1	—	—	—	—	
		女性	1	—	—	—	1	1	—	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
女性		—	—	—	—	—	—	—		
合計	男性	—	1	1	—	—	—	—		
	女性	2	—	3	1	2	1	—		
実退所者合計		1	1	3	—	1	1	—		
要介護度別内訳	要介護1	—	—	1	1	1	1	1		
	要介護2	4	4	4	4	4	4	5		
	要介護3	26	26	23	25	25	27	26		
	要介護4	24	26	27	26	26	25	25		
	要介護5	14	14	14	14	13	14	14		
平均介護度		3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6		
延人数		2,049	2,153	2,110	2,130	2,137	2,121	2,201		
月稼働率(%)		94.9	96.5	97.7	95.4	95.7	98.2	98.6		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。  
2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。  
3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	13	12	12	13	12		12.0
	58	57	57	59	56		57.8
	71	69	69	72	68		69.8
	—	—	1	—	—	2	0.2
	—	1	1	—	—	6	0.5
	—	—	—	1	—	2	0.2
	1	3	2	—	—	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	1	0.1
	1	—	—	2	—	4	0.3
	—	—	1	1	—	5	0.4
	2	4	3	2	—	21	1.8
	1	1	2	2	—	14	1.2
	—	—	1	—	—	1	0.1
	2	3	1	—	1	11	0.9
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	0.0
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	—	—	—	3	0.3
	—	1	2	—	2	8	0.7
	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	1	—	—	—	1	0.1
	—	1	1	—	1	5	0.4
	2	5	3	—	3	22	1.8
	—	3	2	—	3	15	1.3
	1	1	1	1	1	—	0.8
	5	5	5	5	5		4.5
	27	25	25	27	24		25.5
	23	24	25	26	26		25.3
	15	14	13	13	12		13.7
	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6		3.7
	2,129	2,122	2,152	2,036	2,204	25,544	2,129
	98.6	95.1	96.4	97.5	98.7		96.9

(荏 原)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	13	12	12	13	12	11	12		
	女性	98	102	101	104	101	103	99		
	合計	111	104	113	117	113	114	111		
入所者数	在宅	男性	—	—	1	—	—	—	1	
		女性	2	2	2	—	—	1	1	
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	1	—	1	—	
	再入所	男性	—	1	—	—	1	—	—	
		女性	1	3	3	2	4	3	2	
	その他	男性	—	—	—	1	—	—	—	
		女性	—	2	—	2	—	1	2	
	合計	男性	—	1	1	1	1	—	1	
女性		3	7	5	5	4	6	5		
実入所者合計		2	4	3	4	—	3	4		
退所者数	短期入院	男性	—	1	—	—	1	—	—	
		女性	1	2	4	1	4	2	3	
	長期入院	男性	—	1	—	—	—	1	—	
		女性	1	—	—	—	—	1	1	
	短期入院中死亡	男性	1	—	1	—	—	—	—	
		女性	2	1	1	—	2	1	2	
	施設内死亡	男性	—	—	—	—	1	—	—	
		女性	2	—	1	1	1	—	3	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
女性		—	—	—	—	—	—	—		
合計	男性	1	2	1	—	2	1	—		
	女性	6	3	6	2	7	4	9		
実退所者合計		5	2	3	1	4	3	5		
要介護度別内訳	要介護1	2	2	2	3	3	3	3		
	要介護2	6	6	8	8	8	8	7		
	要介護3	40	41	41	42	38	36	35		
	要介護4	39	41	39	39	41	44	42		
	要介護5	24	24	23	25	23	23	24		
平均介護度		3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7		
延人数		3,404	3,441	3,420	3,557	3,553	3,375	3,445		
月稼働率 (%)		94.6	92.5	95.0	95.6	95.5	93.8	92.6		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。  
2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。  
3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

					年度合計	平均
11月	12月	1月	2月	3月		
11	11	9	10	11		11.4
99	99	99	103	100		100.7
110	110	108	113	111		111.3
1	1	—	—	1	5	1.0
3	1	—	2	1	15	1.7
—	—	—	—	—	—	—
—	—	3	—	—	5	1.7
—	—	—	1	2	5	1.3
2	5	1	7	4	37	3.1
1	—	—	—	—	2	1.0
1	2	—	1	1	12	1.5
2	1	—	1	3	12	1.3
6	8	4	10	6	69	5.8
6	4	3	3	3	39	3.5
—	1	1	—	1	5	1.0
3	5	3	4	4	36	3.0
1	—	1	—	1	5	1.0
1	1	—	—	2	7	1.2
1	—	—	—	—	3	1.0
1	1	—	—	1	12	1.3
1	—	—	—	—	2	1.0
1	1	1	2	2	15	1.5
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
3	1	2	—	2	15	1.7
6	8	4	6	9	70	5.8
6	3	2	2	—	36	3.3
3	3	3	3	3		2.8
7	8	6	7	5		7.0
36	39	40	42	39		39.1
42	40	40	42	42		40.9
22	20	19	19	22		22.3
3.7	3.6	3.6	3.6	3.7		3.7
3,345	3,431	3,364	3,246	3,533	41,114	3,426
92.9	92.2	90.4	93.3	95.0		93.6

(平塚橋)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	16	16	16	16	16	14	15		
	女性	74	73	75	77	76	75	78		
	合計	90	89	91	93	92	89	93		
入所者数	在宅	男性	1	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	1	—	1	—	2	
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	再入所	男性	1	—	1	1	—	1	1	
		女性	5	—	1	1	2	1	1	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	1	2	2	—	1	2	
	合計	男性	2	—	1	1	—	1	1	
		女性	6	1	4	3	3	2	5	
実入所者合計		2	1	3	2	1	1	4		
退所者数	短期入院	男性	—	—	1	1	—	2	—	
		女性	4	1	1	1	2	1	—	
	長期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	1	—	
	短期入院中死亡	男性	2	—	—	—	—	1	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	施設内死亡	男性	1	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	1	1	—	2	—	2	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	1	—	
合計	男性	3	—	1	1	—	3	—		
	女性	5	2	2	1	4	3	2		
実退所者合計		4	1	1	—	2	3	2		
要介護度別内訳	要介護1	4	4	3	4	3	3	2		
	要介護2	9	10	10	10	10	10	10		
	要介護3	34	33	35	36	37	35	37		
	要介護4	24	23	26	26	26	26	28		
	要介護5	19	19	17	17	16	15	16		
平均介護度		3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5		
延人数		2,683	2,751	2,688	2,849	2,847	2,753	2,821		
月稼働率(%)		89.4	88.7	89.6	91.9	91.8	91.8	91.0		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。  
 2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。  
 3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

					年度合計	平均
11月	12月	1月	2月	3月		
16	14	16	16	16		15.6
77	78	79	77	77		76.3
93	92	95	93	93		91.9
1	—	—	—	—	2	1.0
1	—	—	—	—	5	1.3
—	—	—	—	—	—	0.0
1	—	1	—	1	3	1.0
1	—	1	—	—	7	1.0
2	—	1	—	—	14	1.8
—	—	1	—	—	1	1.0
—	2	—	1	1	13	1.4
2	—	2	—	—	10	0.8
4	2	2	1	2	35	2.9
3	2	2	1	2	24	2.0
1	1	—	—	—	6	1.2
2	1	1	—	—	14	1.6
—	1	—	—	—	1	1.0
2	—	—	—	—	3	1.5
—	—	—	—	—	3	1.5
1	—	—	—	—	1	1.0
—	—	—	—	—	1	1.0
—	—	—	3	2	12	1.7
—	—	—	—	—	—	0.0
—	—	—	—	—	1	1.0
1	2	—	—	—	11	0.9
5	1	1	3	2	31	2.6
3	1	—	3	2	22	1.8
2	2	2	2	2		2.8
10	10	10	11	11		10.1
38	36	38	38	38		36.3
28	27	27	25	25		25.9
15	17	18	17	17		16.9
3.5	3.5	3.5	3.5	3.5		3.5
2,771	2,879	2,888	2,735	2,864	33,529	2,794
92.4	92.9	93.2	94.3	92.4		91.6

平均入所期間

	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
1年未満	23	30.7	12	17.6	35	31.5	19	20.4
1年以上～2年未満	22	29.3	15	22.1	20	18.0	18	19.3
2年以上～3年未満	7	9.3	9	13.2	18	16.2	23	24.7
3年以上～4年未満	5	6.7	14	20.6	12	10.8	8	8.6
4年以上～5年未満	6	8.0	4	5.9	6	5.4	6	6.5
5年以上～6年未満	4	5.3	—	—	7	6.3	2	2.2
6年以上～7年未満	3	4.0	2	2.9	2	1.8	1	1.1
7年以上～8年未満	1	1.3	4	5.9	4	3.6	16	17.2
8年以上～9年未満	2	2.7	3	4.4	2	1.8	—	—
9年以上～10年未満	—	—	3	4.4	2	1.8	—	—
10年以上	2	2.7	2	2.9	3	2.7	—	—

年間総入院回数

		成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
		人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
入院回数	1回	9	81.8	15	88.2	40	74.1	18	72.0
	2回	—	—	2	11.8	12	22.2	7	28.0
	3回	1	9.1	—	—	2	3.7	—	—
	4回	1	9.1	—	—	—	—	—	—
	5回以上	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	11	100	17	100	54	100	25	100
延べ年間総入院者数		16	—	19	—	68	—	32	—
総入院日数		451	—	352	—	1,814	—	724	—
1人あたりの入院日数		28.2日		18.5日		26.7日		22.6日	



### 3) 利用者の日常生活能力 (ADL)

区 分		成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
食事	自立	27	36.0	18	26.5	25	20.7	48	51.6
	見守り	14	18.7	13	19.1	40	36.0	1	1.0
	一部介助	20	26.7	16	23.5	20	18.0	19	20.5
	全部介助	14	18.6	21	30.9	26	23.4	25	26.9
着替え	自立	10	13.3	3	4.4	4	3.6	8	8.6
	見守り	11	14.7	5	7.4	14	12.6	1	1.0
	一部介助	27	36.0	26	38.2	44	39.6	50	53.8
	全部介助	27	36.0	34	50.0	49	44.1	34	36.6
整容 (つめ切り、歯磨き、ひげそり等)	自立	4	5.3	5	7.4	6	5.4	29	31.2
	見守り	11	14.7	11	16.2	5	4.5	2	2.2
	一部介助	33	44.0	22	32.3	36	32.4	20	21.5
	全部介助	27	36.0	30	44.1	64	57.7	42	45.1
移動	自立	12	16.0	10	14.7	12	10.8	11	11.8
	見守り	14	18.7	13	19.1	15	13.5	20	21.5
	一部介助	9	12.0	8	11.8	25	22.5	17	18.3
	全部介助	40	53.3	37	54.4	59	53.2	45	48.4
移乗	自立	15	20.0	7	10.3	14	12.6	8	8.6
	見守り	9	12.0	14	20.6	11	9.9	16	17.2
	一部介助	23	30.7	11	16.2	22	19.8	20	21.5
	全部介助	28	37.3	36	52.9	64	57.7	49	52.7
入浴	介助浴	12	16.0	9	13.2	10	9.0	58	62.4
	リフト浴	23	30.7	7	10.3	21	18.9	—	—
	車いす型浴	9	12.0	30	44.1	35	31.5	2	2.2
	ストレッチャー型入浴	31	41.3	22	32.4	45	40.5	33	35.4
排泄	トイレ自立	12	16.0	6	8.8	16	14.4	7	7.5
	トイレ介助	24	32.0	29	42.7	41	36.9	50	53.8
	ポータブルトイレ	1	1.3	3	4.4	2	1.8	—	—
	おむつ交換	38	50.7	30	44.1	52	46.8	36	38.7
歯の状態	自歯	49	65.3	29	42.6	32	55.9	32	34.4
	上下義歯	14	18.7	11	16.2	21	18.9	34	36.6
	一部義歯	4	5.3	10	14.7	15	13.5	13	14.0
	自歯・義歯なし	8	10.7	18	26.5	13	11.7	14	15.0

#### 4) 利用者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度

	区分	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
成 幸	人数	—	2	10	17	19	16	11	—
	%	—	2.7	13.3	22.7	25.3	21.3	14.7	—
戸越台	人数	—	2	2	13	22	19	9	1
	%	—	2.9	2.9	19.1	32.4	27.9	13.2	1.5
荏 原	人数	1	7	9	20	42	13	15	4
	%	0.9	6.3	8.1	18.0	37.8	11.7	13.5	3.6
平塚橋	人数	2	7	10	12	34	12	15	1
	%	2.2	7.5	10.8	12.9	36.5	12.9	16.1	1.0

障害高齢者の日常生活自立度

	区分	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2
成 幸	人数	—	1	—	5	11	11	38	4	5
	%	—	1.3	—	6.7	14.7	14.7	50.7	5.3	6.7
戸越台	人数	—	1	—	3	6	18	27	9	4
	%	—	1.5	—	4.4	8.8	26.5	39.7	13.2	5.9
荏 原	人数	1	—	4	7	22	28	37	8	4
	%	0.9	—	3.6	6.3	19.8	25.2	33.3	7.2	3.6
平塚橋	人数	—	—	—	12	18	26	31	4	2
	%	—	—	—	12.9	19.4	27.9	33.3	4.3	2.2

#### 5) 家族などの訪問(面会)者数・外泊状況

新型コロナウイルス感染対応のため、令和5年度も面会は制限をつけての実施となり、時期によりリモートを活用するなどしたが、各施設、施設の状況を踏まえつつ、面会場所、回数、事前予約など、家族に配慮をして行った。

##### ①訪問(面会)者数

(単位：人)

	年度合計	月平均
成 幸	577	48.1
戸 越 台	892	74.3
荏 原	1,758	146.5
平 塚 橋	1,650	137.5

##### ②外泊状況

外泊は控えていただき実績はない。

## 6) 三徳懇談会

### 利用者懇談会

(成 幸)

(単位：人)

開催日	実施階	主な懇談内容	参加人数
5. 4. 16	2. 3. 4	品川区議会委員選挙期日前投票について	12
5. 5. 7	2. 3. 4	菖蒲湯について	19
5. 6. 4	2. 3. 4	当月の予定・理美容サービスについて	21
5. 7. 2	2. 3. 4	当月の予定・食事について	21
5. 8. 28	2. 3. 4	新型コロナウイルス感染症について	3
5. 9. 10	2. 3. 4	敬老式典について	20
5. 10. 1	2. 3. 4	全館停電・当月の予定について	20
5. 11. 12	2. 3. 4	インフルエンザワクチン接種・・当月の予定について	21
5. 12. 3	2. 3. 4	クリスマス会について	23
6. 1. 7	2. 3. 4	健康診断について	25
6. 2. 4	2. 3. 4	節分について	19
6. 3. 10	2. 3. 4	当月の予定・食事について	19

※参加人数は2・3・4階利用者の合計人数

(戸越台)

(単位：人)

開催日	実施階	主な懇談内容	参加人数
5. 4. 20	7	新年度の職員紹介	15
5. 5. 18	6	好きな食べ物について	10
5. 6. 15	5	コロナウイルスワクチン接種・食中毒について	9
5. 7. 7	7	七夕交流会・七夕にちなんだ食事について	8
5. 8. 17	6	総合防災訓練について	12
5. 9. 14	5	敬老式典について	16
5. 10. 9	7	コロナウイルスワクチン接種について	11
5. 11. 16	6	ホーム喫茶・秋に食べたい物について	9
5. 12. 21	5	正月のおせち料理・体調管理について	8
6. 1. 18	7	理美容サービス・感染症について	18
6. 2. 15	6	ホームでの生活・食べたい食事について	8
6. 3. 21	5	ホームでの生活・食べたい食事について	5

(荏原)

(単位：人)

年	実施階	主な懇談内容	参加人数
5.4.23	4	コロナ禍の対応の説明。思い出の場所	5
5.5.21	3	梅雨、夏、夏の食べ物、全館停電のお知らせなど	12
5.6.25	4	好きな食べ物。それにまつわる話	5
5.7.23	3	夏から連想することについて	16
		館内コロナ感染のため実施せず	—
5.9.29	3	大規模修繕工事について 秋から連想すること	12
5.10.15	4	行きたい場所はどこですか	4
5.11.24	3	旅行の思い出	10
5.12.17	4	昔よく食べたものや今食べたいものについて	4
6.1.1	3	大規模修繕工事について、お正月、冬について	10
6.2.18	4	昔の思い出、やりたいこと	5
6.3		館内コロナ感染のため実施せず	—

(平塚橋)

(単位：人)

年	実施階	主な懇談内容	参加人数
5.4.25	2	不在者投票について	6
5.5.14	3	感染症について、昔の思い出について	5
5.6.18	4	面会方法の変更について	4
5.7.7	2	七夕の思い出	4
5.8.1	3	コロナワクチン接種について	5
5.9.10	4	夏の思い出について	3
5.10.15	2	電気設備点検による停電について	4
5.11.8	3	施設での生活について	5
5.12		館内コロナ感染のため実施せず	
6.1		館内コロナ感染のため実施せず	
6.2.11	3	感染症予防について	5
6.3.17	4	面会について、食事について	3

## 7) セルフチェックシート（自己評価表）

平成15年から区内施設の自主的な取り組みとして、「品川区施設サービス研究会」が立ち上げられ、セルフチェックシートの開発、運用を行ってきた。セルフチェック（自己評価）を実施し、20年を経過し定着してきている。

今回のセルフチェックは一昨年までの「A」「B」「C」3段階の評価を踏襲しつつ、さらに分析できるように「S」（「A」が50%以上）、「D」（「C」が50%以上）を加えた5段階で集計を行い、向上、改善への活用を図ることとした。

成 幸

### セルフチェックの総括

今年度は介護、看護、訓練の職務経験3年以上の職員20名を対象とした。集計すると「A」の割合が85.2%、「B」が6.7%、「C」が8.1%となった。

「自立支援」9項目のうち2つがC評価となった。「LIFE」は生活相談員が基本的な情報を収集しデータを送信しているため、現場職員はほとんど関わっていないことが要因と考えられる。動作介助技術の訓練が低評価だが、機能訓練指導員は介護機器展への出張や研修には積極的に参加している。

「外出への援助」4項目のうち3つがC評価となった。新型コロナウイルス感染症が「5類」移行後、リハビリを兼ねた近隣への外出や地域活動の再開を企画していたが、新型コロナウイルス感染症の発生により8月まで実施できなかった。しかし9月には地域の祭禮や盆踊りに参加するなど、地域との交流を少しずつ再開しており、今後も利用者が気分転換を図れるような対応を継続していく。

「ボランティア・実習生」2項目がすべてA評価となった。実習生の育成は令和5年度の重点取組としており、医務や栄養を始めとする全セクションが関わり育成したことが成果となり高評価につながったと考えられる。

「地域との連携・交流」がA評価となった。コロナの影響で今年も施設のお祭りは開催できなかったが、地域の祭禮や盆踊りに参加した。地域の馴染の方々から声をかけてもらえるなど楽しい時間を過ごすことができた。

「働きやすい職場環境」4項目のうち1つがC評価となった。派遣職員等を活用し労働力不足を補っているが、職員に欠勤が出てしまうと勤務変更や超勤が発生してしまい他職員に負荷がかかってしまう。特に8月に発生したコロナ感染症では、職員数名がコロナ感染してしまったため、職員の負担が増大した。労働力不足に対し、外国人労働者を雇用するなど法人全体で対策を講じている。また実習生を採用につなげるため、法人共通の実習生受け入れ手引きを活用し、関わりのあるセクションだけでなく、施設全体で実習生を迎え入れる体制を構築している。

## 戸越台

### セルフチェックの総括

今年度は在職3年以上の介護、看護、栄養、訓練の各セクションの常勤職員を対象とし、17名が評価を行った。

A評価が85.2%、B評価が13.3%、C評価が1.5%の結果だった。B評価はリハビリテーション、外出、言葉遣い、生活づくり、働きやすい職場環境の項目が主となっている。

B評価のリハビリに関しては、車いすから椅子への乗り移り、短距離の歩行介助など実施しているものもあるが、職員が意識して実施できていないものと思われる。外出、生活づくりについては、コロナ禍においてイベントなどが実施できていないことがあるため、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことも鑑み、できることから実施していきたい。言葉遣いに関しては、利用者と職員の距離が近くなりすぎていることが考えられるので、適切な距離感を保てるように意識づけできる取り組みを行っていきたい。また、働きやすい職場環境については、介護人材不足が大きな要因となっているため、継続して法人をあげて人材確保に努めていく。

C評価の外出援助については、施設内のベランダや屋上など外気に触れる機会は作っているが、外出にはつながっていない。令和5年10月から家族の面会方法の緩和に踏み切り、20分程度の外出は可能とした。外出に関してはこれからの課題と考えられるため、継続して検討していく。

## 荏原

### セルフチェックの総括

今年度は特養（介護・看護・訓練）、ショートステイ、相談員の計42名の職員を対象としてセルフチェックを実施した。

今回唯一C評価となっている外出の実現の項目においてはコロナ禍の影響が大きい。自由記述欄において、職員はそれぞれ工夫をしながらできる限り外の空気に触れてもらいたいという意識はあることがわかるが、それでも十分ではないと感じていることがうかがえる。

B評価がついたものは、食事の項目では「食堂の雰囲気づくり」「食事の衛生管理」の項目があげられた。新型コロナウイルス感染症の発生を予防することを重点においたことで、食堂の席配置が制限され、食事の雰囲気づくりという観点から離れてしまった。また、利用者の手指の衛生管理が行き届かないことが、集団感染が起きてしまった一因であると考えている。衛生面の強化について取り組んでいく必要がある。

5の自立支援（リハビリテーション）に関して訓練内容の多職種の把握や、リハビリを意識しての介助についてB評価である。B・C評価の続くリハビリの項目に関しては、全面的な続くコロナ禍でリハビリ実施の機会が減ったことや訓練指導員からの助言などが少ないことが一つの要因であるが、全般的な見直しが必要な時期が来てい

ると考える。

7会話、8生活づくり、10認知症利用者への対応の項目に関してB評価がついているが、コロナ禍でサービスの質の向上に関する研修の機会が減っている。配信研修以外でも、直接赴く研修等にも少しずつ参加を促していく。

ショートステイにおいてはすべてS評価となっている。ショートステイ利用時にADDLが低下しないよう、集団レクリエーションの実施やショートステイ独自仕様にした「虐待の芽チェックリスト」を使用しながら、内部研鑽を図っている。これらの取り組みを引き続き行っていく。

## 平塚橋

### セルフチェックの総括

今年度も、介護、看護、訓練、栄養の各セクションで在職3年以上を対象とし、32名で実施した。「D」評価となった項目で、外出や地域住民との交流という点では、コロナ禍ということもあり積極的には実施できなかったが、面会方法を緩和し居室で面会ができるように対応したことで家族から喜ばれる声が聞かれている。外出に関しては面会時での短時間での外出も可とし、他ベランダでの外気浴を実施するなど工夫している。

また「平塚橋ゆうゆうプラザ」のイベントも通常開催にされており、職員同伴の参加もあった。引き続き家族の面会時にイベントに参加できるよう広報していく。

こうした努力が評価として結びつくように周知していく必要がある。

「C」評価の中では、災害時の協力やボランティアの項目で、職員に周知できていない面があるため、引き続き理解できるように周知していく。

地域との交流や災害時の協力など日常では意識しにくい点についても、毎月の防災訓練など機会を設けて防災意識への働きかけも行っていく。

またコロナ禍前は面会時の家族によるボランティアが多く、まだ可能ではないが、今後は検討していく。

周囲への配慮項目についてはすべて「S」評価となっている。ナースコールへの対応や車いすの整備、汚れへの配慮などしっかり行えていることの結果であると考えられる。こうした高評価については継続できるように取り組んでいく。

全体的にユニット型ということで、他の階、ユニットに情報が伝わりにくい状況があるので、情報共有に努めていく。

## 栄養・調理

### 8) 個別の栄養状態に着目した栄養ケアマネジメントに基づいた特別な対応

<療養食の対応>

(単位：件)

項目	成幸	戸越台	荏原	平塚橋
糖尿病食	3	3	1	—
腎臓食	—	1	—	2
心臓病食	—	—	1	2
肝臓食	—	—	—	—
胃潰瘍食	—	—	—	—
貧血食	—	2	1	—
膵臓食	—	—	—	—
脂質異常症	—	—	—	1
痛風食	—	—	—	—

<個人対応>

(単位：件)

項目	成幸	戸越台	荏原	平塚橋
摂食障害	36	29	50	49
摂食嚥下	33	59	63	32
低体重	40	17	45	21
栄養障害	35	40	38	30
過体重	7	4	9	9
機能障害	30	22	24	39
その他	71	80	65	39

<食事形態>

(単位：件)

項目	成幸	戸越台	荏原	平塚橋
常食・刻み	37	24	46	46
極刻み(ソフト禁)	20	—	14	—
ソフト食	11	26	28	32
ペースト食	5	8	18	12
ゼリー食	—	—	—	—
その他	2	9	5	3



## 9) 残菜・嗜好調査

今年度は、特別養護老人ホーム、在宅の利用者において、主菜の残菜調査を行い、①(食事形態)常食と介護食、②(調理法)焼く・煮る・揚げる、③(食材)肉と魚、の観点から比較した。

### 【残菜調査】

実施期間：第1回調査 令和5年10月（それぞれ1週間を調査期間とする）

第2回調査 令和6年2月

方 法：下記の料理について残菜調査を行った。

- ・焼き物：豚肉胡麻味噌焼き、鯖葱味噌焼き
- ・煮物：鶏肉照り煮、白身煮魚
- ・揚げ物：鶏肉唐揚げ、鱈フライ

### 四施設の残菜率

(単位：％、在宅：デイサービス・ショートステイ)

		四施設平均				成 幸				戸越台				荏 原				平塚橋			
		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅	
		常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食
肉	① 鶏肉照り煮	6.3	2.4	3.2	4.2	6.3	2.9	3.3	0.0	10.2	2.5	2.5	0.0	4.1	1.4	4.6	0.4	4.9	2.8	2.4	16.2
	② 豚肉の胡麻味噌焼き	6.1	7.9	8.1	5.4	3.7	0.7	1.2	1.7	6.3	2.5	9.8	0.0	6.9	2.8	7.4	8.7	7.7	25.8	14.2	11.1
	③ 鶏肉唐揚げ	7.4	2.5	4.8	0.0	7.5	3.0	4.3	0.0	8.7	6.2	6.5	0.0	7.1	0.3	5.1	0.0	6.3	0.5	3.2	0.0
魚	① 煮魚	5.0	4.7	3.2	11.1	7.4	0.9	3.9	0.8	3.2	9.4	4.5	0.0	5.8	4.5	2.9	19.7	3.9	3.9	1.5	23.8
	② 魚の葱味噌焼き	8.1	6.0	4.0	11.9	12.5	1.3	3.8	0.0	8.2	5.4	4.1	0.0	5.7	1.4	4.9	21.0	6.0	16.0	3.3	26.6
	③ 鱈フライ	5.7	5.3	5.5	1.7	2.3	1.4	5.7	0.0	7.6	3.5	2.2	0.0	7.8	1.5	13.3	6.2	5.3	14.9	0.9	0.5
平均		6.4	4.8	4.8	5.7	6.6	1.7	3.7	0.4	7.3	4.9	4.9	0.0	6.2	2.0	6.4	9.3	5.7	10.6	4.2	13.0

### 【結果及び考察】

- ①常食と介護食の比較については、在宅の介護食は喫食人数が少ないため、1人の影響が大きい結果となった。特養では、介護食を喫食している人は、食事を介助で摂取している割合が高く、その現状が残菜率の低さに繋がっていると考えられる。
- ②調理法については、特養と在宅を比較すると、在宅では鶏肉照り煮、煮魚といった煮物の残菜率が低い傾向にあった。在宅では、焼き物や揚げ物惣菜を購入するなど、煮物料理を食べる割合が低い傾向にあり、煮物が好まれていると推測される。
- ③食材による比較では、特養、在宅ともに肉と魚での残菜の差が小さくいろいろな種類を提供する事が大切であると考えられる。

特養では、調理法や食材による残菜のばらつきは、在宅に比べて低い傾向にあった。一般的に、揚げ物や焼き物は固く、高齢者が食べにくい傾向があるが、施設ではどのような調理法においても、高齢者が食べやすいように調理と工夫をしているためではないか、と考えられる。

## 10) 選択食、団らん食、お楽しみ食、その他

### [行事食]

利用者が楽しみにしているものであり、生活に変化や潤いを持たせるために導入している。

#### a) 選択食

喫食者が自由に食べ物を選択できる機会を広げた。

利用者から2つのメニューから事前に選択してもらい実施した。

成 幸ホーム：年36回	主菜選択(24回)、主食選択(12回)
戸越台ホーム：年36回	主菜選択(24回)、主食選択(12回)
荏 原ホーム：年36回	主菜選択(12回)、主食・主菜選択(24回)
平塚橋ホーム：年36回	主菜選択(24回)、主食選択(12回)

#### b) 団らん食・おやつ作り

できるだけ家庭の団欒の雰囲気近づけるため、各フロアにて対応するとともに料理をすることで機能低下を防ぎ、回想法も取り入れ実施するものである。

実施に際しては、利用者からメニューの希望を伺って行う。

令和5年度は、感染予防対策の観点から未実施となった。

#### c) お楽しみ食：選択制とし、日常とは異なった食材を取り入れ、より利用者が楽しめる料理を提供した。

## (成 幸)

実施日	内 容
5.4.10	桜ご飯、春野菜天ぷら、うど入り酢味噌和え、ふき土佐煮など
5.5.24	しぐれご飯、かき揚げ、茶碗蒸し、メロンなど
5.6.29	炊き込みご飯・天ぷら、空也蒸し、ささみ梅和えなど
5.7.7	七夕ちらし、夏野菜炊合せ、サーモンロール、そうめん清汁など
5.8.22	新型コロナウイルス感染対応のため中止
5.9.9	松茸ご飯、天ぷら、菊花和え、茶碗蒸し、梨など
5.10.16	栗ご飯、秋の天ぷら、茶蕎麦入り茶碗蒸し、柿なますなど
5.11.15	鮭きのこご飯、天ぷら、秋野菜煮物、テリーヌ風、芋煮汁など
5.12.15	海老チキンピラフ、クリスマスミートローフ、洋風茶碗蒸しなど
6.1.1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、柚子釜、栗きんとんなど
6.1.1	鰻ちらし、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、清汁など
6.2.1	あさりご飯、茶碗蒸し雲丹ソース、春風豆、せり梅風味和えなど
6.3.2	弥生ちらし、はまぐり風味茶碗蒸し、海老団子お吸い物など

## (戸越台)

実施日	内 容
5.4.10	桜ご飯、刺身、天ぷら、春野菜酢味噌がけ、いちご、和菓子など
5.5.24	しぐれご飯、天ぷら、露山吹和え、湯葉浸し、和菓子、メロンなど
5.6.29	天ぷら、夏野菜炊合わせ、冷し空也蒸し、じゅんさい清汁、和菓子など
5.7.7	茗荷ご飯、天ぷら、冬瓜水晶煮、ピリ辛和え、メロン、和菓子など
5.8.22	押し寿司、天ぷら、冷やし茶碗蒸し、白瓜シソ和え、メロン、和菓子など
5.9.15	松茸ご飯、天ぷら、柿なます、蟹寒天、紅白清汁、梨、巨峰、和菓子など
5.10.16	栗ご飯、天ぷら、サーモンロール、蕎麦茶碗蒸し、松茸清汁、無花果など
5.11.29	吹き寄せご飯、刺身、飛竜頭、菊花辛子和え、テリーヌ、柿ゼリーなど
5.12.26	冬ちらし、天ぷら、海老芋含め、芹胡麻和え、茶碗蒸し、和菓子など
6.1.1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、栗きんとん、屠蘇など
6.1.1	鰻ちらし、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、清汁など
6.2.1	赤飯、天ぷら、カルパッチョ、蟹あんかけ、いちご、和菓子など
6.3.2	弥生ちらし、山菜天ぷら、菜の花胡麻和え、帆立あんかけ、いちごなど

## (荏原)

実施日	内 容
5.4.10	桜鯛飯、天ぷら、蕪と春野菜煮物、桜ババロアフルーツ添えなど
5.5.16	筍ご飯、天ぷら、春人参胡麻和え、枝豆茶碗蒸しなど
5.6.22	焼豚炒飯、豆腐冷菜、胡麻寄せ、蒸し鶏棒棒鶏ソースなど
5.7.7	ビビンバ、参鶏湯風スープ、干し柿のゼリーなど
5.8.23	茗荷ご飯、天ぷら、冬瓜と鶏肉煮物、伊達豆腐など
5.9.9	松茸ご飯、海老あられ天ぷら、あおさ茶碗蒸し、じゅんさい清汁など
5.10.18	栗ご飯、新蕎麦茶碗蒸し、蕪浸し数の子添え、秋の果物盛合せなど
5.11.14	はらこ飯、帆立フライ、蟹とアスパラ胡麻酢和え、石狩汁など
5.12.15	パセリライス、鶏肉オレンジ焼き、ポトフ、ツリーケーキなど
6.1.1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、栗きんとん、屠蘇など
6.1.1	鰻ちらし、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、清汁など
6.2.1	あさりご飯、豆腐五宝揚げ、七種野菜しんじょ、ベリーベリーカップなど
6.3.2	弥生ちらし、山菜天ぷら、蕪そぼろあんかけ、レアチーズケーキなど

## (平塚橋)

実施日	内 容
5.4.10	桜エビとグリンピースご飯、鶏と鮭のあんかけ、冷奴、春色サラダなど
5.5.24	筍ご飯、天ぷら、蕪のかにあん、露山吹和え、紅白テリーヌ、柏餅など
5.6.29	オムライス、ズッキーニのミートグラタン、トマトサラダなど
5.7.7	七夕ちらし、夏野菜の冷、星のコロッケ、大根サラダ、杏仁フルーツなど
5.8.22	いなり寿司、天ぷら、夏野菜の焼き浸し、茶碗蒸し、けんちん汁など
5.9.15	吹き寄せご飯、石狩煮、紫色コロッケ、菊花和え、きなこプリンなど
5.10.16	ピラフ、南瓜グラタン、蓮根の胡麻サラダ、紫芋ポタージュなど
5.11.22	さんまの炊き込みご飯、秋の炊合せ、柿なます、白和え、粕汁など
5.12.12	きのことカニのリゾット、チキンカツレツ、キッシュ風、ケーキなど
6.1.1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、栗きんとん、屠蘇など
6.1.1	鰻ちらし、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、清汁など
6.2.2	彩り押し寿司、天ぷら、茶碗蒸し、黒豆、抹茶ババロア、鰯汁など

d) 歳時食（四施設共通）

実施月	行事名	内 容
4月	花まつり	桜ご飯
5月	みどりの日	グリーンピースご飯
	端午の節句	筍ご飯、木の芽焼き
7月	七夕	七夕素麺
	土用の丑	「う」のつく料理、鰻料理
8月	終戦記念日	すいとん、さつま芋甘煮
	夏のイベント	焼そば、枝豆、西瓜、かき氷など
9月	防災の日	非常食品
	敬老の日	赤飯、黄金焼き、真砂和え、紅白羊羹など
	秋の彼岸(秋分の日)	おはぎ風おやつ
	十五夜	月見にちなんだ料理
11月	文化の日	菊花寿司、フルーツなど
12月	冬至	小豆ご飯、南瓜料理、生姜寒
	クリスマス	ケチャップライス、ローストチキンなど
	大晦日	年越し蕎麦
1月	正月	おせち料理
	七草	七草粥
	鏡開き	お汁粉
	小正月	小豆粥
2月	節分	鰯料理、節分豆ご飯
	バレンタイン	チョコレート菓子
	建国記念日	混ぜ寿司
3月	桃の節句	ちらし寿司、花清汁、桃色羊羹など
	春の彼岸(春分の日)	ぼた餅風おやつ

e) ホーム喫茶

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら実施した。

戸越台ホーム：年2回

f) その他

デリバリーなどご利用者がお好みの品を選び、楽しめるような機会を設けた。

成幸ホーム：未実施

戸越台ホーム：年2回

荏原ホーム：未実施

平塚橋ホーム：年2回

## 1 1) 栄養出納表 (年間平均)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	食事摂取基準	栄 養 出納量	食事摂取基準	栄 養 出納量	食事摂取基準	栄 養 出納量	食事摂取基準	栄 養 出納量
エネルギー(kcal)	1,306	1,318	1,315	1,333	1,310	1,415	1,365	1,368
タンパク質(g)	58.6	53.9	57.3	57.7	54.0	58.3	54.3	52.2
カルシウム(mg)	600	615	600	600	600	620	600	600
鉄(mg)	6.0	5.6	6.2	6.9	6.1	6.6	6.0	5.5
レチノール当量( $\mu$ g)	629	538	677	859	688	612	610	497
ビタミンB <sub>1</sub> (mg)	1.00	0.68	1.10	0.81	1.00	0.79	1.00	0.69
ビタミンB <sub>2</sub> (mg)	1.10	0.83	1.20	1.00	1.10	0.99	1.10	0.81
ビタミンC(mg)	100	70	90	77	100	78	100	77
食物繊維(g)	15.0	11.1	18.4	12.4	13.0	12.2	13.0	10.3

食事摂取基準については、日本人の食事摂取基準の策定方針に基づいて算出した。  
基準量よりも低い値については、個別により強化（栄養補助食品等）をしている。

# 健康管理

## 1 2) 受診状況

### (1) 各科受診状況

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人 数 (人)	延回数 (件)	人 数 (人)	延回数 (件)	人 数 (人)	延回数 (件)	人 数 (人)	延回数 (件)
内 科	95	1,049	84	1,192	125	1,409	103	1,430
眼 科	19	54	16	63	36	67	43	97
歯 科	19	139	24	82	18	257	50	322
皮 膚 科	4	11	12	90	21	163	28	91
泌尿器科	1	48	3	24	4	6	10	46
耳 鼻 科	1	1	—	—	2	3	7	23
脳 外 科	2	3	8	11	13	13	8	8
整形外科	3	4	7	34	22	63	17	34
神 経 科	4	16	2	32	2	10	3	20
そ の 他	2	3	12	38	—	—	1	2
合 計	150	1,328	168	1,566	243	1,991	270	2,073

### (2) 認知症相談 (各施設月2回実施)

(単位：人)

区 分	R 5年度	R 4年度	R 3年度
成 幸	62	76	62
戸越台	25	14	16
荏 原	6	13	55
平塚橋	107	110	39

### 1 3) 利用者の診断病名

疾病名	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
心疾患	19	25	32	32
高血圧症	50	42	50	50
ペースメーカー	1	1	6	6
閉塞性動脈硬化症	—	2	5	5
呼吸器疾患	—	5	18	18
脳卒中	20	27	19	19
てんかん	—	7	7	7
アルツハイマー型認知症	40	37	45	45
レビー小体型認知症	1	7	1	1
脳血管性認知症	—	12	5	5
老年精神病	16	7	9	9
パーキンソン病	3	7	7	7
腎疾患	2	8	4	4
肝胆系疾患	2	6	13	13
B型肝炎	19	17	—	—
C型肝炎	4	4	2	2
ストーマ	—	—	—	—
慢性関節リウマチ	—	1	2	2
骨粗鬆症	10	10	19	19
骨折	—	41	53	53
蜂窩織炎	—	2	4	4
類天疱瘡	—	1	1	1
貧血	11	3	8	8
糖尿病	9	16	19	19

※診断病名が重複している利用者あり



#### 1 4) 入院・退所状況

(単位：人)

施設	入院数	救急車要請数	病院内死亡	施設内死亡	看取り	他施設内死亡	長期入院による退園	入院中
成 幸	15	10	3	19	10	—	1	4
戸越台	19	7	1	1	10	—	—	—
荏 原	68	47	9	2	15	—	6	3
平塚橋	32	21	3	1	9	1	5	—

#### 1 5) 入院者病名および件数

(単位：人)

疾 病 名	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
肺 炎	4	3	19	10
心 疾 患	1	1	3	6
脳 卒 中	—	2	4	2
癌	1	—	—	1
肝 胆 系 疾 患	—	3	3	3
イ レ ウ ス	2	—	1	1
尿 路 感 染 症	—	1	13	2
脱 水	2	2	3	—
骨 折	—	1	4	2
皮 膚 疾 患	—	—	—	1
精 神 神 経 疾 患	—	—	—	—
精 査	—	—	—	1
そ の 他	1	6	9	1
新型コロナウイルス感染症	4	—	9	2
合 計	15	19	68	32

## 16) その他

### (1) 健康診断

秋健康診断実施対象者全員

### (2) ワクチン予防接種実施

(単位：人)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
インフルエンザ	70	63	90	77
肺炎ワクチン	4	3	—	10

### (3) 感染症

(単位：件)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
新型コロナウイルス	53	—	41	7
結 核	—	—	—	—
疥 癬	—	—	—	—
M R S A	—	1	1	—
肝炎 (B型)	19	—	17	—
肝炎 (C型)	4	1	5	2
インフルエンザ	—	4	—	—
急性胃腸炎	—	—	—	—

### (4) 褥瘡

(単位：件)

成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
13	4	5	2

### (5) 処置内容

ガーゼ交換（褥瘡、切創、皮膚剥離）、湿布貼布、軟膏塗布、酸素吸入（在宅酸素含む）、浣腸、排便、坐薬挿入、フランドルテープ（ホクナリン含む）交換、耳鼻咽喉科処置、眼科処置、酸素飽和度チェック、注射（点滴、筋肉、皮下）、経管栄養、ストマパウチ交換、吸引、その他

## 1 7) 機能訓練

訓練内容

(単位：件)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
関節可動域訓練	1,976	4,472	9,224	1,687
上下肢筋力強化	48	1,181	376	1,529
起居動作訓練	412	578	1	12
トランスファー訓練	76	59	3	30
立位・歩行訓練	3,119	1,632	589	532
歩行器・車椅子操作指導	842	248	126	160
マッサージ	2,017	4,825	8,857	124
集団体操	14	47	6,435	—
レクリエーション	12	53	6,422	108

## 2. 在宅サービス

### 1) 年間利用者状況

#### ①通所介護事業（デイサービス）

成 幸

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		実施日数	25日間	27日間	27日間	26日間	26日間	26日間	26日間
基本 定員20名	総合事業	要支援1	10	10	11	8	9	9	9
		要支援2	8	7	6	7	9	10	9
		認定なし	4	6	3	4	4	4	4
		実人員	22	23	20	19	22	23	22
		利用者延べ人数	112	133	120	125	142	147	145
		1日当たり利用人員	4.5	4.9	4.6	4.8	5.3	5.7	5.6
	基本	要介護1	11	11	13	13	11	11	10
		要介護2	9	9	9	10	9	11	12
		要介護3	8	8	8	9	8	7	6
		要介護4	4	4	5	4	4	5	5
		要介護5	—	—	—	—	—	1	1
		申請中	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	32	32	35	36	32	35	34
		利用者延べ人員	255	302	296	287	282	300	269
		1日当たり利用人員	10.2	11.2	11.4	11.0	10.4	11.5	10.3
	平均要介護度(申請中除)	2.2	2.2	2.1	2.1	2.2	2.3	2.3	
	総計	利用者延べ人員	367	435	416	412	424	447	414
		1日当たり利用人員	14.7	16.1	16.0	15.8	15.7	17.2	15.9
		予防割合(%)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	35.0
稼働率(%)		73.4	80.6	80.0	79.2	78.5	86.0	79.6	
認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
		要支援2	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	—	—	—	—	—	—	—
		利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—
		1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—
	介護	要介護1	3	5	5	5	5	2	5
		要介護2	4	4	4	3	3	3	3
		要介護3	1	2	2	2	2	2	2
		要介護4	1	2	2	3	3	3	3
		要介護5	1	1	—	—	—	—	—
		申請中	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	10	14	13	13	13	10	13
		利用者延べ人員	131	141	118	120	124	115	120
		1日当たり利用人員	5.2	5.2	4.5	4.6	4.6	4.4	4.6
	平均要介護度	2.3	2.3	2.1	2.2	2.2	2.6	2.2	
	総計	利用者延べ人員	131	141	118	120	124	115	120
		1日当たり利用人員	5.2	5.2	4.5	4.6	4.6	4.4	4.6
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—
		稼働率(%)	52.4	52.2	45.4	46.2	45.9	44.2	46.2
総計	平均要介護度	2.2	2.2	2.1	2.1	2.2	2.3	2.3	
	総計(延べ人員)	498	576	534	532	548	562	534	
	1日当たり利用人員総計	19.9	21.3	20.5	20.5	20.3	21.6	20.5	
	予防割合(%)	22.5%	23.1	22.5	23.5	25.9	26.2	27.2	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	25日間	26日間	308日間	25.6日間
	9	11	13	12	12	123	10.3
	9	7	8	7	7	94	7.8
	4	4	4	4	4	49	4.1
	22	22	25	23	23	266	22.2
	137	133	130	143	133	1,600	133.3
	5.3	5.5	5.4	0.0	5.1		5.2
	10	12	11	13	10	136	11.3
	14	15	15	16	15	144	12.0
	5	6	6	6	5	82	6.8
	3	3	4	4	5	50	4.2
	2	2	1	1	1	9	1.3
	—	—	—	—	—	—	—
	34	38	37	40	36	421	35.1
	263	268	267	277	292	3,358	279.8
	10.1	11.2	11.1	11.1	11.2		10.9
	2.2	2.2	2.2	2.1	2.2		2.2
	400	401	397	420	425	4,958	413.1
	15.4	16.7	16.5	16.8	16.3		16.1
	34.3	33.2	32.7	34.1	31.3		32.3
	76.9	83.5	82.7	83.8	81.7		80.5
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	6	4	3	4	4	51	4.3
	3	3	—	3	3	36	3.3
	2	2	3	3	—	23	2.1
	3	3	1	1	3	28	2.3
	—	—	—	—	1	3	1.0
	—	—	—	—	—	—	—
	14	12	10	11	11	144	12.0
	127	106	108	109	102	1,421	118.4
	4.9	4.4	4.5	4.4	3.9		4.6
	2.1	2.3	2.2	2.1	2.5		2.2
	127	106	108	109	102	1,421	118.4
	4.9	4.4	4.5	4.4	3.9		4.6
	—	—	—	—	—		—
	48.8	44.2	45.0	43.6	39.2		46.1
	2.2	2.2	2.2	2.1	2.3		2.2
	527	507	505	528	527	6,379	531.5
	20.3	21.1	21.0	21.1	20.3		20.7
	26.0	26.2	25.7	27.1	25.2		25.1

成 幸

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	25日間	27日間	27日間	26日間	26日間	26日間	26日間	
短時間・障害者延べ人員			21	21	21	22	25	12	7	
その他利用			—	—	—	—	—	—	—	
身近でトレーニング	日数		—	—	—	—	—	—	—	
	実人員		—	—	—	—	—	—	—	
	延べ人数		—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—	
送迎	基本デイサービス		503	596	562	580	562	595	537	
	認知症デイサービス		228	244	196	198	206	187	192	
	総合事業		131	176	168	158	198	227	228	
	乗車延べ人数合計		862	1,016	926	936	966	1,009	957	
	1日当たり利用人員		34.5	37.6	35.6	36.0	35.8	38.8	36.8	
入浴	日数		25	27	26	26	27	26	26	
	総合	実利用者		13	14	12	12	13	13	12
		延べ人数		72	79	67	80	92	87	86
	基本	実利用者		28	28	31	32	28	30	29
		延べ人数		171	198	197	199	186	200	179
	認知	実利用者		9	11	11	10	10	8	9
		延べ人数		83	89	77	73	74	72	68
	1日当たり利用人員		13.0	13.6	13.1	10.9	13.0	13.8	12.8	
	訓練	機能訓練延べ人数		191	245	220	237	249	273	258
1日当たり利用人員			7.6	9.1	8.5	9.1	9.2	10.5	9.9	
配食	配食延べ人数		82	88	82	93	75	68	65	
	1日当たり利用人員		3.3	3.3	3.2	3.6	2.8	2.6	2.5	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	25日間	26日間	308日間	25.6日間
	5	5	4	9	6	158	13.2
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	525	535	534	559	558	6,646	553.8
	218	178	183	178	155	2,363	196.9
	204	196	214	211	202	2,313	192.8
	947	909	931	948	915	11,322	943.5
	36.4	37.9	38.8	37.9	35.2		36.8
	26	24	24	25	26	308	25.7
	10	11	14	13	12	149	12.4
	75	64	67	77	77	923	76.9
	29	33	33	33	31	365	30.4
	177	186	178	185	193	2,249	187.4
	10	9	8	8	8	111	9.3
	68	61	65	63	59	852	71.0
	12.3	13.0	12.9	13.0	12.7		12.8
	270	262	256	277	277	3,015	251.3
	10.4	10.9	10.7	11.1	10.7		9.8
	63	52	51	50	47	816	68.0
	2.4	2.2	2.1	2.0	1.8		2.7

戸越台

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	
基本 定員30名	総合事業	要支援1	9	8	8	8	6	5	5	
		要支援2	21	21	22	22	24	23	25	
		認定なし	4	3	2	3	3	3	1	
		実人員	34	32	32	33	33	31	31	
		利用者延べ人数	191	213	193	205	202	202	199	
		1日当たり利用人員	7.6	7.9	7.4	7.9	7.5	7.8	7.7	
	基本	要介護1	19	21	18	18	19	20	17	
		要介護2	12	12	13	13	11	14	13	
		要介護3	7	8	9	9	9	7	6	
		要介護4	5	4	3	3	3	4	3	
		要介護5	1	1	2	2	2	2	2	
		申請中	—	—	1	—	1	—	1	
		実人員	44	46	46	45	45	47	42	
		利用者延べ人員	358	389	387	351	370	369	353	
		1日当たり利用人員	14.3	14.4	14.9	13.5	13.7	14.2	13.6	
		平均要介護度(申請中除)	2.0	2.0	2.1	2.1	2.0	2.0	2.0	
	総計	利用者延べ人員	549	602	580	556	572	571	552	
		1日当たり利用人員	22.0	22.3	22.3	21.4	21.2	22.0	21.2	
		予防割合(%)	34.8	35.4	33.3	36.9	35.3	35.4	36.1	
		稼働率(%)	73.2	74.3	74.4	71.3	70.6	73.2	70.8	
	認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
			要支援2	—	—	—	—	—	—	—
			実人員	—	—	—	—	—	—	—
			利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—
			1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—
			要介護1	2	3	2	2	3	3	3
		要介護2	—	—	—	—	1	2	2	
要介護3		—	—	—	—	—	—	—		
要介護4		—	—	—	—	—	—	—		
要介護5		—	—	—	—	—	—	—		
申請中		—	—	—	—	—	—	—		
実人員		2	3	2	2	4	5	5		
利用者延べ人員		10	21	12	10	22	28	49		
1日当たり利用人員		0.4	0.8	0.5	0.4	0.8	1.1	1.9		
平均要介護度		1.0	1.0	1.0	1.0	1.3	1.4	1.4		
総計		利用者延べ人員	10	21	12	10	22	28	49	
		1日当たり利用人員	0.4	0.8	0.5	0.4	0.8	1.1	1.9	
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—	
		稼働率(%)	4.0	7.8	4.6	3.8	8.1	10.8	18.8	
総計		平均要介護度	2.0	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	総計(延べ人員)	559	623	592	566	594	599	601		
	1日当たり利用人員総計	22.4	23.1	22.8	21.8	22.0	23.0	23.1		
	予防割合(%)	34.2%	34.2	32.6	36.2	34.0	33.7	33.1		



	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	25日間	26日間	308日間	25.7日間
	5	4	4	4	4	70	5.8
	25	24	21	18	17	263	21.9
	1	2	3	2	4	31	2.6
	31	30	28	24	25	364	30.3
	181	178	155	156	161	2,236	186.3
	7.0	7.4	6.5	6.2	6.2		7.3
	18	18	19	20	18	225	18.8
	13	14	13	15	12	155	13.0
	6	4	5	5	5	80	6.7
	3	4	4	4	4	44	3.7
	2	1	1	1	1	18	1.5
	—	1	—	—	2	6	0.5
	42	42	42	45	42	528	44.0
	370	335	332	350	377	4,341	361.8
	14.2	14.0	13.8	14.0	14.5		14.1
	2.0	1.9	1.9	1.9	2.0		2.0
	551	513	487	506	538	6,577	548.1
	21.2	21.375	20.3	20.2	20.7		21.3
	32.8	34.7	31.8	30.8	29.9		33.9
	70.6	71.3	67.6	67.5	69.0		71.1
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	3	3	3	2	2	31	2.6
	2	2	1	1	1	12	1.5
	—	—	—	—	1	1	1.0
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	—	1	1.0
	—	—	—	1	—	1	1.0
	5	5	5	4	4	46	3.8
	48	53	41	44	62	400	33.3
	1.8	2.2	1.7	1.8	2.4		1.3
	1.4	1.4	2.0	1.3	1.8		1.3
	48	53	41	44	62	400	33.3
	1.8	2.2	1.7	1.8	2.4		1.3
	—	—	—	—	—		—
	18.5	22.1	17.1	17.6	23.8		13.1
	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9		1.9
	599	566	528	550	600	6,977	581.4
	23.0	23.6	22.0	22.0	23.1		22.7
	30.2	31.4	29.4	28.4	26.8		32.0

戸越台

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	
短時間・障害者延べ人員			8	8	16	17	20	17	12	
その他利用			—	—	—	—	—	—	—	
身近でトレーニング	日数		4	4	4	4	4	4	4	
	実人員		12	12	12	12	12	12	12	
	延べ人数		44	45	43	47	41	43	40	
	1日当たり利用人員		11	11.25	10.75	11.8	10.25	10.75	10	
送迎	基本デイサービス		702	760	748	682	714	716	671	
	認知症デイサービス		21	42	24	20	44	56	71	
	総合事業		327	349	322	336	325	333	331	
	乗車延べ人数合計		1,050	1,151	1,094	1,038	1,083	1,105	1,073	
	1日当たり利用人員		21.0	21.3	21.0	20.0	20.1	21.3	20.6	
入浴	日数		16	18	18	17	18	17	18	
	総合	実利用者		19	17	18	17	18	16	17
		延べ人数		107	112	115	101	107	104	106
	基本	実利用者		36	37	37	34	32	34	29
		延べ人数		213	243	234	209	202	197	206
	認知	実利用者		2	3	2	2	4	5	5
		延べ人数		6	13	12	10	21	23	37
	1日当たり利用人員		20.4	20.4	20.1	18.8	18.3	19.1	19.4	
訓練	機能訓練延べ人数		534	576	538	530	561	551	562	
	1日当たり利用人員		21.4	21.3	20.7	20.4	20.8	21.2	21.6	
配食	配食延べ人数		220	233	217	203	216	266	241	
	1日当たり利用人員		8.8	8.6	8.3	7.8	8.0	10.2	9.3	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	25日間	26日間	308日間	25.6日間
	22	32	31	42	47	272	22.7
	—	—	—	—	—		—
	5	4	4	4	3	48	4.0
	12	12	12	12	12	144	12.0
	45	39	34	40	29	490	40.8
	9	9.75	8.5	10	9.7		10.2
	722	656	646	657	734	8,408	700.7
	68	66	44	58	74	588	49.0
	296	301	275	262	267	3,724	310.3
	1,086	1,023	965	977	1,075	12,720	1,060
	20.9	21.3	20.1	19.5	20.7		20.7
	17	16	15	17	17	204	17.0
	15	13	14	14	15	193	16.1
	92	88	83	89	93	1,197	99.8
	29	28	30	31	30	387	32.3
	190	175	193	192	181	2,435	202.9
	5	5	5	4	3	45	3.6
	34	31	23	21	24	255	21.3
	18.6	18.4	19.9	17.8	17.5	228.7	19.1
	572	533	506	525	575	6,563	546.9
	22.0	22.2	21.1	21.0	22.1		21.3
	233	233	241	272	271	2,846	237.2
	9.0	9.7	10.0	10.9	10.4		9.3

荏 原

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	
基本 定員40名	総合事業	要支援1	16	17	14	12	11	12	11	
		要支援2	21	21	21	23	23	22	18	
		認定なし	2	1	3	2	1	1	1	
		実人員	37	39	39	36	35	36	35	
		利用者延べ人数	274	227	231	219	256	204	209	
		1日当たり利用人員	11.0	8.4	8.9	8.4	9.5	7.8	8.0	
	基本	要介護1	27	26	24	27	26	24	24	
		要介護2	21	22	22	19	17	21	20	
		要介護3	7	7	7	6	6	6	8	
		要介護4	4	5	6	8	7	7	6	
		要介護5	5	5	5	5	7	6	6	
		申請中	1	—	—	—	3	4	—	
		実人員	64	65	64	65	63	64	64	
		利用者延べ人員	463	505	478	468	495	488	472	
		1日当たり利用人員	18.5	18.7	18.4	18.0	18.3	18.8	18.3	
		平均要介護度(申請中除)	2.1	2.1	2.2	2.2	2.4	2.4	2.2	
	総計	利用者延べ人員	737	732	709	687	751	692	681	
		1日当たり利用人員	29.5	27.1	27.3	26.4	27.8	26.6	26.2	
		予防割合(%)	37.2	31.0	32.6	31.9	34.1	29.5	30.7	
		稼働率(%)	73.7	67.8	68.2	66.1	69.5	66.5	65.5	
	認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
			要支援2	1	1	1	1	1	1	1
			実人員	1	1	1	1	1	1	1
			利用者延べ人数	4	5	4	4	9	9	7
			1日当たり利用人員	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3
			介護	要介護1	7	8	7	6	7	7
要介護2		3		3	3	2	1	1	1	
要介護3		3		3	3	2	3	4	3	
要介護4		3		2	2	2	2	2	3	
要介護5		2		2	2	2	1	1	1	
申請中		—		—	—	—	—	—	—	
実人員		18		18	17	14	14	15	17	
利用者延べ人員		172		188	152	121	120	129	156	
1日当たり利用人員		6.9		7.0	5.8	4.7	4.4	5.0	6.2	
平均要介護度		2.4		2.3	2.4	2.4	2.2	2.3	2.2	
総計		利用者延べ人員	172	188	152	121	120	129	163	
		1日当たり利用人員	6.9	7.0	5.8	4.7	4.4	5.0	6.3	
		予防割合(%)	0.02	0.03	0.03	0.03	0.08	0.07	0.04	
		稼働率(%)	68.8	69.6	58.5	46.5	44.4	49.6	60.0	
総計		平均要介護度	2.2	2.1	2.2	2.2	2.3	2.3	2.2	
		総計(延べ人員)	909	920	861	808	871	821	844	
		1日当たり利用人員総計	36.4	34.1	33.1	31.1	32.3	31.6	32.5	
		予防割合(%)	30.6%	25.2	27.3	27.6	30.4	25.9	25.6	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	25日間	26日間	308日間	25.6日間
	11	12	14	14	12	156	13.0
	21	17	21	21	21	250	20.8
	1	—	1	1	2	16	1.5
	33	29	36	36	35	426	35.5
	187	163	185	195	185	2,535	211.3
	7.2	6.8	7.7	7.8	8.7		8.2
	23	23	21	22	22	289	24.1
	20	22	20	23	22	249	20.8
	7	6	7	6	6	79	6.6
	6	6	5	4	4	68	5.7
	8	6	4	4	4	65	5.4
	—	—	—	—	—	8	2.7
	64	63	60	59	58	753	62.8
	505	415	429	448	464	5,630	469.2
	18.2	18.9	18.5	20.2	19.7		18.3
	2.3	2.2	2.0	2.1	2.1		2.2
	692	578	614	643	649	8,165	680.4
	26.6	27.5	25.3	25.7	25.0		26.5
	27.0	24.7	30.4	30.3	28.5		31.0
	66.5	68.9	64.0	64.3	62.4		66.3
	—	—	—	—	—	—	—
	1	1	1	—	—	10	1.0
	1	1	1	—	—	10	1.0
	8	8	8	—	—	66	6.6
	0.3	0.3	0.3	—	—		0.2
	9	8	7	7	7	89	7.4
	2	2	2	2	2	24	2.0
	3	2	1	0	0	27	2.7
	4	4	5	5	5	39	3.3
	1	—	—	—	—	12	1.5
	—	—	—	—	—	—	—
	19	16	15	14	14	191	15.9
	157	134	133	128	139	1,729	144.1
	6.5	5.9	6.4	7.0	7.0		5.6
	2.3	2.1	2.3	2.2	2.2		2.3
	157	134	133	128	139	1,729	144.1
	6.5	6.0	5.9	5.1	5.3		5.8
	0.05	0.06	0.06	0.00	0.00		0.0
	60.4	55.8	55.4	51.2	53.5		56.1
	2.3	2.2	2.1	2.1	2.1		2.2
	860	804	749	771	788	9,894	824.5
	33.1	33.5	31.2	30.8	30.3		32.1
	23.0	24.0	25.8	25.3	23.5		26.3

荏 原

事業名・区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
	実施日数	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間		
短時間・障害者延べ人員		9	—	—	3	—	1	—		
その他利用		—	—	—	—	—	—	—		
身近でトレーニング	日数	4	4	4	4	4	4	—		
	実人員	12	14	13	11	11	11	—		
	延べ人数	47	40	40	42	40	41	—		
	1日当たり利用人員	11.75	10	10	10.5	10	10.25	—		
送迎	基本デイサービス	840	865	709	781	832	838	827		
	認知症デイサービス	346	346	228	245	226	234	289		
	総合事業	366	346	421	409	448	418	399		
	乗車延べ人数合計	1,552	1,557	1,358	1,435	1,506	1,490	1,515		
	1日当たり利用人員	62.1	57.7	52.2	55.2	55.8	57.3	58.3		
入浴	日数	25	27	26	26	27	26	26		
	総合	実利用者	19	19	19	19	17	18	20	
		延べ人数	98	117	109	100	115	112	118	
	基本	実利用者	49	50	50	50	48	48	46	
		延べ人数	280	289	307	282	301	294	283	
	認知	実利用者	15	16	15	13	13	13	13	
		延べ人数	95	112	93	77	81	86	87	
	1日当たり利用人員	18.9	19.2	19.6	17.7	18.4	18.9	18.8		
	訓練	機能訓練延べ人数	311	333	291	236	270	265	253	
1日当たり利用人員		12.4	12.3	11.2	9.1	10.0	10.2	9.7		
配食	配食延べ人数	56	73	52	68	86	83	90		
	1日当たり利用人員	2.2	2.7	2.0	2.6	3.2	3.2	3.5		

※10月～3月 身近でトレーニング休止  
(大規模改修工事のため)

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	25日間	26日間	308日間	25.6日間
	—	2	—	—	—	15	3.8
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	24	4.0
	—	—	—	—	—	72	12.1
	—	—	—	—	—	250	41.7
	—	—	—	—	—		10.4
	898	742	761	788	782	9,663	805
	296	237	241	241	268	3,197	266
	365	302	339	323	324	4,460	372
	1,559	1,281	1,341	1,352	1,374	17,320	1,443
	60.0	53.4	55.9	54.1	52.8		56
	26	24	24	25	26	308	26
	19	17	20	19	21	227	19
	109	86	93	97	101	1,255	105
	47	47	44	46	45	570	48
	304	242	252	264	268	3,366	281
	16	13	11	10	10	158	13
	98	81	77	65	76	1,028	86
	19.7	17.0	17.6	17.0	17.1		18
	245	216	235	267	267	3,189	266
	9.4	9.0	9.8	10.7	10.3		10
	80	77	71	103	105	944	79
	3.1	3.2	3.0	4.1	4.0		3

小山の家

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	
認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—	—
		要支援2	—	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	—	—	—	—	—	—	—	—
		利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	—
		1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護	要介護1	6	6	8	8	8	8	8	9
		要介護2	4	4	5	5	3	3	3	
		要介護3	5	5	5	5	5	4	3	
		要介護4	—	1	—	—	—	—	—	
		要介護5	—	—	1	1	1	1	—	
		申請中	1	1	—	—	—	—	—	
		実人員	16	17	19	19	17	16	15	
		利用者延べ人員	141	149	136	157	141	130	134	
		1日当たり利用人員	5.6	5.5	5.2	6.0	5.2	5.0	5.2	
		平均要介護度(申請中除)	1.9	2.1	2.0	2.0	2.0	1.9	1.6	
	総計	利用者延べ人員	141	149	136	157	141	130	134	
		1日当たり利用人員	5.6	5.5	5.2	6.0	5.2	5.0	5.2	
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—	
		稼働率(%)	56.4	55.2	52.3	60.4	52.2	50.0	51.5	
	総計	平均要介護度	1.9	2.1	2.0	2.0	2.0	1.9	1.6	
総計(延べ人員)		141	149	136	157	141	130	134		
1日当たり利用人員総計		5.6	5.5	5.2	6.0	5.2	5.0	5.2		
予防割合(%)		—	—	—	—	—	—	—		



	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	25日間	26日間	308日間	25.6日間
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
9	8	8	8	8	9	95	7.9
3	3	3	4	4	4	44	3.7
3	2	1	1	2	2	41	3.4
—	—	—	—	—	—	1	1.0
1	1	1	1	2	—	—	1.1
—	2	—	—	—	—	—	1.3
16	14	13	14	17	—	193	16.1
133	120	112	118	160	—	1,631	135.9
5.1	5.0	4.7	4.7	6.2	—	—	5.3
1.8	2.1	1.7	1.7	1.9	—	—	1.9
133	120	112	118	160	—	1,631	135.9
5.1	5	4.7	4.7	6.2	—	—	5.3
—	—	—	—	—	—	—	—
51.2	50.0	46.7	47.2	61.5	—	—	52.9
1.8	2.1	1.7	1.7	1.9	—	—	1.9
133	120	112	118	160	—	1,631	135.9
5.1	5.0	4.7	4.7	6.2	—	—	5.3
—	—	—	—	—	—	—	—

小山の家

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	25日間	27日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	
短時間・障害者延べ人員			—	—	—	—	—	—	—	
その他利用			—	—	—	—	—	—	—	
身近でトレーニング	日数		—	—	—	—	—	—	—	
	実人員		—	—	—	—	—	—	—	
	延べ人数		—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—	
送迎	基本デイサービス		—	—	—	—	—	—	—	
	認知症デイサービス		257	290	257	308	276	254	263	
	総合事業		—	—	—	—	—	—	—	
	乗車延べ人数合計		257	290	257	308	276	254	263	
	1日当たり利用人員		10.3	10.7	9.9	11.8	10.2	9.8	10.1	
入浴	日数		16	18	17	20	22	22	22	
	総合	実利用者		—	—	—	—	—	—	
		延べ人数		—	—	—	—	—	—	
	基本	実利用者		—	—	—	—	—	—	
		延べ人数		—	—	—	—	—	—	
	認知	実利用者		6	7	8	11	9	9	8
		延べ人数		30	31	34	52	49	44	48
	1日当たり利用人員		1.9	1.7	2.0	2.6	2.2	2.0	2.2	
訓練	機能訓練延べ人数		—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—	
配食	配食延べ人数		—	—	—	—	—	—	—	
	1日当たり利用人員		—	—	—	—	—	—	—	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	25日間	26日間	308日間	25.6日間
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	264	234	217	223	313	3,156	263.0
	—	—	—	—	—	—	—
	264	234	217	223	313	3,156	263.0
	10.2	9.8	9.0	8.9	12.0	—	10.2
	21	20	20	20	22	240	20.0
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	9	7	6	8	10	98	8.2
	51	43	39	44	65	530	44.2
	2.4	2.2	2.0	2.2	3.0	—	2.2
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—

## ②短期入所生活介護事業（ショートステイ）

成幸ショートステイ月別利用状況（定員16名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	8	79	2.6	15	16.5
5月	8	74	2.4	15	14.9
6月	11	82	2.7	20	17.1
7月	10	79	2.5	16	15.9
8月	9	87	2.8	13	17.5
9月	6	54	1.8	14	11.3
10月	6	73	2.4	14	14.7
11月	5	66	2.2	11	13.8
12月	9	93	3.3	13	20.8
1月	6	62	2.6	12	13.8
2月	6	50	2.7	16	11.2
3月	3	24	0.8	6	4.8
R5年度 合 計	87	823	2.4	165	14.2
R4年度 合 計	93	763	2.1	171	13.3
R3年度 合 計	256	2,469	6.8	416	42.3

年間要介護度別利用状況				平均要介護度 2.7
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	—	—	—	平均稼働率 14.2%
要 支 援 2	8	9.2	39	
要 介 護 1	2	2.3	19	
要 介 護 2	28	32.2	302	
要 介 護 3	28	32.2	291	
要 介 護 4	17	19.5	133	
要 介 護 5	—	—	—	
申 請 中	4	4.6	39	
合 計	87	100.0	823	

戸越台ショートステイ月別利用状況（定員8名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	10	83	8.3	17	34.6
5月	7	55	7.9	11	22.2
6月	13	105	8.1	22	43.8
7月	12	71	5.9	19	28.6
8月	11	86	7.8	17	34.7
9月	12	91	7.6	13	37.9
10月	11	77	7.0	11	31.1
11月	9	65	7.2	16	27.1
12月	13	83	6.4	17	33.5
1月	9	78	8.7	10	31.5
2月	9	82	9.1	13	35.3
3月	11	101	9.2	18	40.7
R5年度 合 計	127	977	7.8	184	33.4
R4年度 合 計	139	1,112	8.0	190	38.1
R3年度 合 計	57	360	6.8	76	16.7

年間要介護度別利用状況				平均要介護度
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	—	—	—	1.8
要 支 援 2	17	10.0	86	
要 介 護 1	62	30.0	531	平均稼働率 33.4%
要 介 護 2	24	27.5	203	
要 介 護 3	11	20.0	62	
要 介 護 4	9	10.0	61	
要 介 護 5	4	2.5	34	
申 請 中	—	—	—	
合 計	127	100.0	977	

荏原ショートステイ月別利用状況（定員30名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	81	656	21.9	142	72.9
5月	84	750	24.2	137	80.6
6月	89	755	25.2	143	83.9
7月	85	718	23.2	132	77.2
8月	87	788	25.4	147	84.7
9月	90	758	25.3	160	84.2
10月	84	753	24.3	140	81.0
11月	79	637	21.2	134	70.8
12月	84	688	22.2	127	74.0
1月	70	594	19.2	103	63.9
2月	65	643	22.2	130	73.9
3月	64	527	17.0	123	70.8
R5年度 合 計	962	8,267	22.6	1,618	76.5
R4年度 合 計	940	8,536	23.4	1,641	77.9
R3年度 合 計	881	7,899	21.6	1,531	72.2

年間要介護度別利用状況				平均要介護度 2.4
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	8	0.8	38	平均稼働率 76.5%
要 支 援 2	57	5.9	354	
要 介 護 1	267	27.8	2,398	
要 介 護 2	239	24.8	1,962	
要 介 護 3	182	18.9	1,618	
要 介 護 4	116	12.1	1,005	
要 介 護 5	58	6.0	570	
申 請 中	35	3.6	322	
合 計	962	100.0	8,267	

\*令和6年3月～ 大規模改修工事に伴い、定員変更30名→24名

平塚橋ショートステイ月別利用状況（定員12名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	21	103	3.4	47	28.6
5月	22	126	4.0	46	33.9
6月	21	139	4.6	49	38.6
7月	20	126	4.0	46	33.9
8月	25	178	5.7	59	47.9
9月	19	134	4.4	53	37.2
10月	24	161	5.1	59	43.3
11月	23	147	4.9	56	40.9
12月	21	152	5.4	50	45.2
1月	25	135	4.8	48	40.2
2月	23	139	4.9	50	41.4
3月	20	156	5.0	57	41.9
R5年度 合 計	264	1,696	4.7	620	39.4
R4年度 合 計	218	1,589	3.9	422	36.8
R3年度 合 計	263	2,028	5.1	534	46.4

年間要介護度別利用状況			
区 分	人 数	%	延べ日数
要 支 援 1	1	0.4	7
要 支 援 2	8	3.0	33
要 介 護 1	65	24.6	323
要 介 護 2	72	27.3	389
要 介 護 3	35	13.3	200
要 介 護 4	32	12.1	195
要 介 護 5	50	18.9	535
申 請 中	1	0.4	14
合 計	264	100.0	1,696

平均要介護度  
3.0

平均稼働率  
39.4%

## 2) 機能訓練

### 訓練内容

(単位：件)

	成 幸	戸越台	荏 原
関節可動域訓練	3,054	6,678	2,943
上下肢筋力強化	3,054	6,424	1,745
起居動作訓練	—	—	—
トランスファー訓練	—	—	—
立位・歩行訓練	2,528	5,894	2,272
歩行器・車椅子操作指導	51	—	—
マ ッ サ ー ジ	136	48	8
集 団 体 操	2,742	6,675	3,121
レクレーション	2,705	6,475	3,137

「踊りでリハビリ」（なじみのある音楽を用いて行うリハビリ舞踊）は新型コロナウイルス感染症のため実施を見合わせた。

## 3) 食事サービス（ショートステイ・デイサービス・配食）

<喫食者の個別対応>

(単位：人)

項 目	成 幸			戸越台			荏 原			平塚橋
	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト
定 員	16	30	—	8	40	—	30	50	—	12
療 養 食	1	11	3	2	16	1	2	11	2	1
摂食障害	9	2	—	44	9	2	57	8	1	3
摂食嚥下	7	4	—	26	40	1	248	38	3	15
機能障害	16	5	—	59	25	—	299	31	—	18



#### 4) 健康管理

※D. S. はデイサービス、S. S. はショートステイ

##### ①受診及び入院状況

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
受 診	1	—	—	3	—	64	—
入 院	—	—	—	1	1	18	—

##### ②入院時病名

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
肺 炎	—	—	—	1	—	—	—
心 疾 患	—	—	—	—	—	2	—
脳 卒 中	—	—	—	—	—	2	—
骨 折	—	—	—	—	1	1	—
脱 水 ・ 発 熱	—	—	—	—	—	2	—
そ の 他	—	—	—	—	—	11	—
救急車依頼回数	—	—	—	1	1	17	—

##### ③医器処置者数

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
バルーンカテーテル	—	—	2	4	3	1	1
ス ト マ ー	—	—	1	1	—	2	—
貼 付 薬	5	2	6	1	1	18	9
ペースメーカー	1	—	2	—	2	7	4
酸素吸入	1	—	2	—	—	1	2
人工透析	2	—	3	—	2	—	—
胃 ろ う	—	—	1	—	1	1	1
インシュリン注射	1	—	3	1	3	6	1
血糖値チェック	1	—	—	1	3	3	—
皮下注射	—	—	—	—	—	2	3

## 5) 栄養調理

### ①高齢者と介護者のための料理教室

年3回、4施設の管理栄養士が共働で開催予定であったが、感染症拡大予防対策のため中止とした。今年度は、三徳会レシピを作成し配布した。

### ②ゆうゆうクッキング

法人の地域貢献事業として平塚橋ゆうゆうプラザにおいて地域住民交流を図る「つながりクッキング」を企画した。新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため開催は見合わせた。



### 3. 在宅介護支援センター

#### 1) 年間利用者状況

(成 幸)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		33	21	28	18	20	27
要介護認定		43	48	41	37	65	40
基本チェックリスト		—	—	—	—	—	1
訪問 サービス	訪問介護	2	—	4	2	4	—
	訪問看護	—	1	—	1	1	—
	その他	2	1	1	—	—	—
通所 サービス	通所介護	5	10	—	2	4	2
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		—	—	—	—	—	—
福祉用具	貸与	2	12	9	5	6	1
	購入	—	—	—	—	1	—
住宅改修		5	1	—	—	—	1
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		—	1	1	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		—	—	—	1	—	—
施設 サービス	特別養護老人ホーム	1	—	—	—	1	—
	老人保健施設	1	1	2	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	—	2	2	1	—	2
	その他	—	4	4	—	1	1
医療・保健・健康相談		13	19	15	25	32	10
認知症		3	1	1	1	2	2
成年後見		—	—	—	—	3	—
虐待		—	1	2	3	—	2
安否確認		1	4	1	8	5	—
苦情		—	—	—	1	1	—
経済的問題		1	—	—	3	—	1
家族問題		—	1	—	2	1	—
その他		1	—	1	3	1	2
訪問相談		1,088	1,103	1,073	1,041	1,148	1,051
月計		1,201	1,231	1,185	1,154	1,296	1,143

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	28	15	22	17	13	21	263	21.9
	51	48	29	55	36	46	539	44.9
	—	—	—	—	1	—	2	0.2
	2	1	—	—	—	—	15	1.3
	2	—	—	1	2	1	9	0.8
	—	—	—	—	—	—	4	0.3
	—	1	—	4	2	4	34	2.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	2	—	—	—	—	2	0.2
	5	7	2	1	1	8	59	4.9
	1	—	—	—	—	2	4	0.3
	3	2	1	—	1	1	15	1.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	—	—	2	0.2
	2	—	1	2	1	—	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	2	—	1	1	1	14	1.2
	2	—	—	—	1	1	14	1.2
	22	6	12	11	12	15	192	16.0
	—	1	3	1	1	5	21	1.8
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	8	0.7
	1	—	—	1	2	3	26	2.2
	—	—	2	—	—	—	4	0.3
	—	—	1	—	—	—	6	0.5
	1	1	—	—	2	3	11	0.9
	2	—	3	3	3	1	20	1.7
	1,042	1,107	1,167	1,038	966	934	12,758	1,063.2
	1,166	1,193	1,245	1,135	1,045	1,046	14,040	1,170.0

(戸越台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		10	6	10	10	11	16
要介護認定		36	45	31	37	32	48
基本チェックリスト		—	—	—	—	1	—
訪問サービス	訪問介護	—	—	2	1	—	—
	訪問看護	4	2	4	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	2
通所サービス	通所介護	7	8	5	15	13	10
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		—	—	—	—	5	—
福祉用具	貸与	4	2	6	2	7	6
	購入	4	—	—	2	—	—
住宅改修		3	1	—	2	—	—
(看護)小規模多機能型居宅介護		1	—	1	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		2	—	8	1	1	2
施設サービス	特別養護老人ホーム	—	1	—	—	—	2
	老人保健施設	—	1	2	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	1	—	1	1	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
医療・保健・健康相談		20	23	15	9	22	29
認知症		9	3	3	2	1	2
成年後見		—	1	—	—	—	—
虐待		2	1	1	—	—	—
安否確認		—	—	6	8	2	1
苦情		1	—	—	3	—	—
経済的問題		—	—	1	—	—	—
家族問題		1	1	—	1	—	—
その他		—	—	—	—	1	—
訪問相談		751	776	761	773	806	786
月計		856	871	857	867	902	904

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	17	15	19	19	16	1	150	12.5
	40	38	48	28	41	49	473	39.4
	2	1	—	—	1	—	5	0.4
	4	2	—	2	—	1	12	1.0
	2	—	2	—	—	1	15	1.2
	—	1	—	—	—	—	3	0.2
	4	5	3	1	1	7	79	6.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	2	3	—	11	0.9
	3	6	3	3	12	2	56	4.6
	—	—	1	—	2	—	9	0.7
	1	1	—	—	1	1	10	0.8
	—	—	—	—	—	—	2	0.1
	—	1	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	1	—	—	—	1	0.1
	2	—	2	1	—	1	20	1.6
	1	—	—	1	1	—	6	0.5
	—	1	—	—	1	1	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	4	0.3
	2	1	1	—	—	—	4	0.3
	21	23	20	16	21	10	229	19.0
	—	—	1	—	1	—	22	1.8
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	2	2	12	1	22	1.8
	—	4	—	—	4	1	26	2.1
	—	—	—	1	—	—	5	0.4
	—	—	2	—	—	—	3	0.2
	—	1	—	—	—	—	4	0.3
	—	2	—	—	—	—	3	0.2
	844	744	757	666	658	737	9,059	754.9
	943	848	862	742	775	814	10,241	853.4

(杜 松)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		30	27	38	35	28	25
要介護認定		24	43	25	28	27	26
基本チェックリスト		—	1	—	—	—	1
訪問サービス	訪問介護	5	1	5	—	1	—
	訪問看護	1	1	4	1	1	3
	その他	3	—	1	1	1	—
通所サービス	通所介護	3	4	5	3	6	2
	通所リハビリテーション	—	—	—	1	1	—
短期入所		—	—	—	1	—	—
福祉用具	貸与	5	8	5	4	2	11
	購入	—	—	1	—	—	—
住宅改修		6	1	—	—	3	—
(看護)小規模多機能型居宅介護		3	1	—	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		1	—	2	1	1	—
施設サービス	特別養護老人ホーム	1	—	—	—	2	—
	老人保健施設	—	—	—	—	2	2
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	—	1	—	—	—	—
	その他	—	—	2	—	1	—
医療・保健・健康相談		21	25	24	18	28	15
認知症		2	1	3	4	6	2
成年後見		—	—	—	—	1	—
虐待		—	—	2	—	—	—
安否確認		4	10	4	1	4	1
苦情		—	—	—	—	—	—
経済的問題		—	1	—	—	—	—
家族問題		—	—	—	—	—	1
その他		2	—	1	—	1	1
訪問相談		1,101	1,232	1,100	1,185	1,060	1,153
月計		1,212	1,357	1,222	1,283	1,176	1,243



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	23	19	20	28	25	24	322	24.3
	32	38	19	39	22	35	358	31.4
	—	—	—	1	—	—	3	0.4
	—	2	1	3	6	3	27	2.0
	4	2	—	1	1	3	22	2.4
	—	—	0	3	1	—	10	0.7
	4	3	9	5	0	3	47	4.6
	—	—	—	—	2	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	1	0.5
	5	4	14	2	2	—	62	6.0
	1	—	—	—	—	—	2	0.4
	2	—	—	2	5	—	19	2.4
	—	—	—	—	—	—	4	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	3	—	—	—	—	8	2.1
	—	—	1	—	—	—	4	2.7
	2	—	1	—	—	—	7	0.3
	—	1	—	—	—	—	1	0.2
	—	—	1	1	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	3	0.2
	19	15	16	25	20	19	245	18.1
	3	5	1	—	—	—	27	1.3
	2	—	1	1	—	1	6	0.2
	—	—	—	—	—	—	2	0.1
	3	5	2	—	1	2	37	4.3
	—	—	—	—	—	—	—	0.1
	1	—	—	—	3	—	5	0.9
	1	—	—	—	—	—	2	0.3
	1	1	—	2	5	1	15	1.6
	1,061	1,016	1,179	1,136	1,012	1,075	13,310	1,103.8
	1,164	1,115	1,264	1,250	1,103	1,167	14,556	1,205.3

(荏 原)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		10	14	9	10	2	13
要介護認定		17	32	27	33	37	32
基本チェックリスト		—	—	—	—	—	—
訪問 サービス	訪問介護	4	—	1	1	6	2
	訪問看護	1	4	2	2	1	1
	その他	—	—	—	—	—	—
通所 サービス	通所介護	7	3	4	5	6	6
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		—	—	—	1	—	1
福祉用具	貸与	5	2	4	2	4	7
	購入	—	1	—	—	—	—
住宅改修		—	—	—	—	3	1
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		1	3	—	—	—	—
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	2	1	3	1	2
	老人保健施設	—	3	—	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	1	—	4	—	—	—
	その他	1	3	—	1	—	1
医療・保健・健康相談		5	16	11	14	11	11
認知症		1	1	—	1	2	—
成年後見		—	—	—	—	—	—
虐待		—	—	—	3	—	—
安否確認		—	1	—	3	—	1
苦情		—	—	1	—	—	—
経済的問題		—	1	—	1	—	—
家族問題		2	—	2	—	—	1
その他		—	—	2	3	—	—
訪問相談		858	939	881	889	911	931
月計		913	1,025	949	972	985	1,008

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	4	6	10	10	9	7	104	8.6
	36	27	21	33	26	23	344	28.6
	1	—	—	—	—	—	1	0.1
	1	2	1	8	3	—	29	2.4
	—	—	—	1	2	—	14	1.1
	—	—	—	—	1	1	2	0.2
	3	7	—	5	7	3	56	4.6
	—	—	—	1	—	—	1	0.1
	2	1	—	—	—	—	5	0.4
	2	3	2	1	3	1	36	3.0
	—	1	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	2	1	—	2	9	0.8
	—	—	—	—	—	—	—	0
	—	—	—	—	—	—	—	0.0
	—	—	1	—	1	—	2	0.2
	—	—	2	4	1	1	12	1.0
	—	—	1	2	2	—	13	1.1
	—	—	—	1	2	—	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—	0
	—	—	—	—	—	—	5	0.4
	—	—	—	—	—	—	6	0.5
	1	7	4	5	4	4	93	7.8
	—	2	—	—	1	3	11	0.9
	—	1	—	2	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	1	3	1	1	11	0.9
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	5	0.4
	—	3	—	1	2	—	11	0.9
	844	799	940	853	871	898	10,614	884.5
	894	560	985	931	936	944	11,402	950.1

(小 山)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		26	39	14	26	28	23
要介護認定		33	29	37	34	37	32
基本チェックリスト		—	—	1	—	—	—
訪問 サービス	訪問介護	3	3	5	2	2	2
	訪問看護	1	1	1	—	5	2
	その他	—	—	—	—	1	1
通所 サービス	通所介護	8	1	2	7	3	1
	通所リハビリテーション	—	1	—	—	—	—
短期入所		1	1	1	—	—	1
福祉用具	貸与	12	5	4	4	8	7
	購入	—	1	1	2	1	1
住宅改修		5	1	3	—	4	10
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	1	—	—	—	2
総合事業サービス		—	1	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		—	1	5	—	—	1
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	1	1	3	4	—
	老人保健施設	—	—	—	—	2	1
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	—	5	1	1	1	3
	その他	2	5	10	—	1	—
医療・保健・健康相談		34	28	19	30	25	15
認知症		3	5	4	3	5	4
成年後見		2	3	5	2	3	2
虐待		2	—	—	—	—	2
安否確認		4	1	3	1	—	—
苦情		—	5	1	—	1	—
経済的問題		4	2	4	1	3	1
家族問題		1	4	4	—	3	—
その他		—	2	3	1	—	1
訪問相談		956	1,052	1,043	1,001	985	1,039
月計		1,097	1,198	1,172	1,118	1,122	1,151

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	18	33	24	34	19	32	316	26.3
	24	29	38	29	36	35	393	32.8
	1	2	1	—	1	—	6	0.5
	6	—	1	3	—	1	28	2.3
	1	1	3	2	1	4	22	1.8
	—	—	—	2	—	—	4	0.3
	1	2	4	4	2	1	36	3.0
	—	—	—	3	1	1	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	4	0.3
	2	6	9	6	6	3	72	6.0
	1	—	—	3	—	—	10	0.8
	1	12	7	2	—	3	48	4.0
	3	1	—	—	—	—	7	0.6
	—	—	—	—	1	—	2	0.2
	—	1	—	—	1	—	2	0.2
	—	3	2	1	—	—	13	1.1
	1	—	—	3	1	—	14	1.2
	—	1	1	—	1	2	8	0.7
	2	—	—	—	—	—	2	0.2
	1	6	—	4	2	2	26	2.2
	—	1	3	—	1	2	25	2.1
	16	15	24	31	11	13	261	21.8
	3	1	2	8	4	7	49	4.1
	2	2	5	1	1	2	30	2.5
	1	—	—	—	3	3	11	0.9
	—	—	—	—	2	2	13	1.1
	—	—	—	—	—	3	10	0.8
	5	2	1	3	1	—	27	2.3
	3	1	—	3	4	4	27	2.3
	2	1	2	2	—	2	16	1.3
	1,021	932	992	889	869	919	11,698	974.8
	1,115	1,052	1,119	1,033	968	1,041	13,186	1098.8

(小山台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		9	22	16	4	9	9
要介護認定		34	17	26	23	34	23
基本チェックリスト		—	1	—	—	—	—
訪問サービス	訪問介護	1	3	—	1	—	—
	訪問看護	1	—	1	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
通所サービス	通所介護	4	2	1	—	2	1
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		—	—	—	—	—	—
福祉用具	貸与	5	2	5	7	5	4
	購入	1	—	—	2	3	—
住宅改修		—	7	10	3	4	2
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	1	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		1	—	—	—	1	1
施設サービス	特別養護老人ホーム	—	—	—	—	5	—
	老人保健施設	—	—	2	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	—	1	1	3	—	—
	その他	2	—	—	3	—	1
医療・保健・健康相談		16	27	14	22	18	15
認知症		2	2	1	4	5	2
成年後見		—	—	—	—	—	—
虐待		2	—	—	—	4	—
安否確認		1	—	—	2	—	—
苦情		1	—	—	—	1	—
経済的問題		—	—	—	—	—	—
家族問題		—	—	—	—	—	—
その他		—	—	—	3	—	—
訪問相談		526	540	516	496	487	369
月計		606	624	593	574	578	427

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	16	14	9	12	10	7	137	21.1
	17	18	20	22	23	35	292	44.9
	—	2	—	—	1	—	4	2.0
	—	2	1	—	—	—	8	1.6
	—	—	—	—	—	—	2	1.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	5	2	—	1	—	20	2.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	6	1	4	2	3	53	4.4
	2	—	1	—	—	2	11	1.8
	2	—	—	1	1	—	30	3.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	2	1.0
	—	—	—	—	—	—	—	0.0
	—	—	2	2	2	—	9	1.5
	1	—	1	—	—	—	7	2.3
	—	—	—	1	1	—	4	1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	6	—
	2	2	3	3	—	—	16	2.3
	14	8	8	17	11	13	183	15.3
	—	—	—	—	1	—	17	2.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	6	4.0
	—	—	—	2	—	—	5	1.7
	1	1	1	—	—	—	5	1.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	2	—	1	—	2	5	1.7
	—	1	—	—	1	1	6	1.5
	536	354	509	379	350	366	5,428	452.3
	602	415	558	444	404	431	6,256	521.3

## 2) 介護保険利用者状況

(成 幸)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	8	11	11	10	16	6		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	62	65	70	64	63	68	
		居宅支援Ⅰ 2	46	45	49	45	49	52	
		居宅介護支援合計	108	110	119	109	112	120	
		初回加算	8	5	9	6	6	10	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	108	110	119	109	112	120	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	—	4	7	5	4	5	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	1	—	—	—	
		退院退所加算Ⅰイ	2	1	5	—	3	2	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	1	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	2	1	—	1	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—	
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	168	163	168	165	162	166	
介護予防支援・初回		10	5	8	3	4	2		
総合事業	b 原則型マネジメント	96	100	97	92	100	100		
	c 簡略型マネジメント	18	18	15	16	15	14		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	1	5	—	2	5	3		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	114	118	112	108	115	114		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	264	263	265	257	262	266		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	282	281	280	273	277	280		
調査	認定調査	9	12	7	4	8	5		
実態把握	介護給付	13	13	13	6	18	17		
	予防給付・介護予防	33	29	21	18	19	15		



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	8	13	13	28	16	15	155	12.9
	64	75	70	63	64	52	780	65.0
	47	47	47	45	43	36	551	45.9
	111	122	117	108	107	88	1,331	110.9
	1	9	5	3	3	—	65	5.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	111	122	117	108	107	88	1,331	110.9
	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	10	8	6	4	3	59	4.9
	—	—	—	—	1	—	2	0.2
	—	1	3	—	4	2	23	1.9
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	169	164	177	176	170	166	2,014	167.8
	6	3	8	4	4	2	59	4.9
	95	93	90	95	98	98	1,154	96.2
	15	17	18	17	18	17	198	16.5
	—	—	—	3	1	—	4	0.3
	4	5	5	2	4	3	39	3.3
	110	110	108	115	117	115	1,356	113.0
	264	257	267	271	268	264	3,168	264.0
	279	274	285	288	286	281	3,366	280.5
	8	15	1	3	6	38	116	9.7
	13	23	6	7	14	30	173	14.4
	22	31	20	17	11	41	277	23.1

(戸越台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	7	10	4	17	14	14		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	74	77	75	75	75	82	
		居宅支援Ⅰ 2	28	25	30	24	27	35	
		居宅介護支援合計	102	102	105	99	102	117	
		初回加算	6	7	6	4	7	9	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	98	117	
		特定事業所加算Ⅲ	102	102	105	99	4	—	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	1	4	8	4	3	3	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	—	—	1	—	
		退院退所加算Ⅰイ	—	—	2	—	—	1	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	2	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	1	—	—	—	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	117	110	113	109	109	109	
介護予防支援・初回		4	1	2	2	2	—		
総合事業	b 原則型マネジメント	53	53	56	54	56	61		
	c 簡略型マネジメント	13	18	12	11	12	13		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	2	4	3	2	4	3		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	66	71	68	65	68	74		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	170	163	169	163	165	170		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	183	181	181	174	177	183		
調査	認定調査	16	10	12	13	9	9		
実態把握	介護給付	15	7	13	8	4	12		
	予防給付・介護予防	18	20	18	6	15	17		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	19	7	4	6	16	9	127	10.5
	87	75	76	67	72	76	911	75.9
	29	31	26	26	22	21	324	27.0
	116	106	102	93	94	97	1,235	102.9
	9	8	6	1	6	9	78	6.5
	116	6	—	—	—	—	337	28.1
	—	99	102	93	94	97	897	74.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	3	5	3	3	4	48	4.0
	—	—	2	—	—	—	3	0.2
	—	—	—	—	1	1	5	0.4
	—	—	—	—	—	1	3	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	1	—	—	2	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	106	107	107	106	106	101	1,300	108.3
	1	2	3	1	3	0	21	1.8
	57	55	58	62	59	57	681	56.7
	12	14	14	16	14	13	162	13.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	3	5	6	1	1	38	3.1
	69	69	72	78	73	70	843	70.2
	163	162	165	168	165	158	1,981	165.0
	175	176	179	184	179	171	2,143	178.5
	18	13	15	5	2	27	149	12.4
	10	14	10	5	11	17	126	10.5
	16	15	14	8	21	14	182	15.1

(杜 松)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	4	7	5	4	5	7		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	61	65	65	68	63	65	
		居宅支援Ⅰ 2	26	30	36	34	28	32	
		居宅介護支援合計	87	95	101	102	91	97	
		初回加算	11	10	9	11	6	8	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	87	95	101	102	91	97	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	4	3	4	5	3	3	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅰイ	2	2	1	1	1	—	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	1	1	1	1	2	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	2	1	—	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	133	138	141	141	145	151	
介護予防支援・初回		3	7	3	5	7	4		
総合事業	b 原則型マネジメント	68	66	71	65	65	60		
	c 簡略型マネジメント	14	14	17	18	16	21		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	1	1	3	2	2	2		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	82	80	88	83	81	81		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	201	204	212	206	210	211		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	215	218	229	224	226	232		
調査	認定調査	9	11	12	13	11	16		
実態把握	介護給付	10	3	18	22	11	8		
	予防給付・介護予防	5	10	7	15	8	15		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	3	4	4	8	2	2	55	4.6
	64	63	56	59	58	53	740	61.7
	31	31	30	34	40	40	392	32.7
	95	94	86	93	98	93	1,132	94.3
	4	6	3	5	11	5	89	7.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	95	94	86	93	98	93	1,132	94.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	2	5	6	4	3	48	4.0
	—	—	2	1	—	—	3	0.3
	1	1	—	1	—	—	10	0.8
	—	—	—	1	1	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	1	—	—	—	—	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	1	—	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	146	150	154	154	151	154	1,758	146.5
	4	7	6	1	2	2	51	4.3
	55	63	62	60	62	61	758	63.2
	21	22	17	19	22	21	222	18.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	3	4	2	3	4	29	2.4
	76	85	79	79	84	82	980	81.7
	201	213	216	214	213	215	2,516	209.7
	222	235	233	233	235	236	2,738	228.2
	13	17	16	18	17	38	191	15.9
	14	13	6	11	9	19	144	12.0
	6	22	13	7	24	17	149	12.4

(荏 原)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	5	10	6	13	13	8		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	86	96	93	86	96	94	
		居宅支援Ⅰ 2	34	34	31	36	32	32	
		居宅介護支援合計	120	130	124	122	128	126	
		初回加算	7	9	7	4	9	6	
		特定事業所加算Ⅱ	120	130	124	122	128	126	
		特定事業所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所医療介護連携加算	116	129	124	122	128	126	
		入院時情報連携加算Ⅰ	5	4	2	4	6	4	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	1	—	1	—	
		退院退所加算Ⅰイ	3	3	—	3	2	—	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	1	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	1	—	—	1	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	2	—	—	—	2	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	114	124	125	122	122	121	
介護予防支援・初回		3	6	2	2	3	3		
総合事業	b 原則型マネジメント	41	41	38	40	36	38		
	c 簡略型マネジメント	14	13	14	13	13	14		
	d 初回型マネジメント	—	2	—	—	—	—		
	初回加算	4	—	—	2	1	3		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	55	56	52	53	49	52		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	155	165	163	162	158	159		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	169	178	177	175	171	173		
調査	認定調査	12	13	12	11	18	6		
実態把握	介護給付	11	12	10	17	17	24		
	予防給付・介護予防	11	7	16	12	10	19		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	6	3	7	8	11	6	96	8
	98	88	90	99	90	85	1101	91.8
	30	35	27	28	33	27	379	31.6
	128	123	117	127	123	112	1480	123.3
	10	5	3	7	6	3	76	6.3
	128	123	1	7	—	—	1,009	84.1
	—	—	116	120	123	112	471	39.3
	128	123	117	127	123	112	1475	122.9
	8	4	5	5	4	5	56	4.7
	—	1	—	—	—	—	3	0.3
	—	1	1	2	—	—	15	1.3
	1	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	1	1	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	—	—	—	5	0.4
	—	—	—	1	—	—	1	0.08
	—	—	—	—	—	—	—	—
	127	124	123	128	129	120	1,479	123.3
	3	4	3	6	3	2	40	3.3
	39	43	38	45	42	38	479	39.9
	11	9	12	9	10	12	144	12.0
	—	—	—	2	—	—	4	0.3
	3	2	—	5	3	1	24	2.0
	50	52	50	56	52	50	627	52.3
	166	167	161	173	171	158	1,958	163.2
	177	176	173	182	181	170	2,102	175.2
	10	8	7	10	11	17	135	11.3
	23	9	16	6	18	11	174	14.5
	13	5	22	10	11	13	149	12.4

(小 山)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	25	20	17	20	18	19		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	85	81	80	83	73	65	
		居宅支援Ⅰ 2	38	40	36	37	36	35	
		居宅介護支援合計	123	121	116	120	109	100	
		初回加算	12	4	8	2	1	4	
		特定事業所加算Ⅱ	123	121	116	120	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	—	—	—	—	109	100	
		特定事業所医療介護連携加算	123	121	116	120	109	100	
		入院時情報連携加算Ⅰ	6	12	7	5	4	8	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅰイ	2	2	4	2	1	1	
		退院退所加算Ⅰロ	—	1	—	1	—	1	
		退院退所加算Ⅱイ	3	4	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	2	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	1	1	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	1	—	—	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	166	161	159	154	154	171	
介護予防支援・初回		2	2	2	4	3	11		
総合事業	b 原則型マネジメント	71	76	73	76	75	73		
	c 簡略型マネジメント	27	28	27	26	25	27		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	8	5	8	3	3	4		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	98	104	100	102	100	100		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	237	237	232	230	229	244		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	264	265	259	256	254	271		
調査	認定調査	17	13	12	11	17	20		
実態把握	介護給付	10	13	3	14	13	10		
	予防給付・介護予防	16	9	30	18	27	22		



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	24	17	23	15	14	17	229	19.1
	68	64	61	58	65	62	845	70.4
	31	30	27	30	37	30	407	33.9
	99	94	88	88	102	92	1,252	104.3
	4	—	1	4	4	5	49	4.1
	—	—	—	—	—	—	480	40.0
	99	94	88	88	102	92	772	64.3
	99	94	88	88	102	92	1,252	104.3
	9	4	10	2	5	2	74	6.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	5	—	1	2	1	25	2.1
	—	—	—	—	1	—	4	0.3
	—	1	—	—	—	—	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	1	—	—	—	—	—	3	0.3
	2	—	—	1	1	—	5	0.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	165	163	163	171	179	178	1,984	165.3
	3	3	5	7	9	6	57	4.8
	71	68	66	66	67	58	840	70.0
	27	28	28	30	28	31	332	27.7
	1	—	—	—	1	—	2	0.2
	—	3	2	3	2	7	48	4.0
	99	96	94	96	96	96	1,181	98.4
	236	231	229	237	246	236	2,824	235.3
	263	259	257	267	274	31	2,920	243.3
	17	9	13	8	13	27	177	14.8
	11	5	—	11	5	8	103	8.6
	22	24	16	35	9	21	249	20.8

(小山台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	4	4	3	5	4	6		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	65	70	58	60	64	58	
		居宅支援Ⅰ 2	32	35	35	32	26	36	
		居宅介護支援合計	97	105	93	92	90	94	
		初回加算	8	8	1	7	4	8	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	97	105	93	92	90	94	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	2	3	6	3	4	4	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	1	—	—	—	
		退院退所加算Ⅰイ	—	—	—	—	3	—	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	1	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	1	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	1	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—		
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	79	82	81	80	88	96	
介護予防支援・初回		2	4	3	5	4	7		
総合事業	b 原則型マネジメント	44	43	44	40	38	40		
	c 簡略型マネジメント	10	10	9	10	9	8		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	—	—	—	—	—	3		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	54	53	53	50	47	48		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	123	125	125	120	126	136		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	133	135	134	130	135	144		
調査	認定調査	22	16	15	17	21	18		
実態把握	介護給付	18	13	7	12	6	11		
	予防給付・介護予防	13	9	9	17	4	16		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	3	1	2	5	4	3	44	3.7
	56	55	65	57	60	53	721	60.1
	38	34	36	33	33	32	402	33.5
	94	89	101	90	93	85	1,123	93.6
	6	2	5	1	7	2	59	4.9
	—	—	—	—	—	—	—	—
	94	89	101	90	93	85	1,123	93.6
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	1	3	5	7	5	45	3.8
	—	—	1	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	1	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	96	102	102	99	101	105	1,111	92.6
	3	6	3	—	4	3	44	3.7
	38	39	41	43	42	42	494	41.2
	9	10	9	9	8	6	107	8.9
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	3	1	1	1	10	0.8
	47	49	50	52	50	48	601	50.1
	134	141	143	142	143	147	1,605	133.8
	143	151	152	151	151	153	1,712	142.7
	19	16	18	16	14	13	205	17.1
	8	4	6	14	4	7	110	9.2
	5	3	9	8	3	3	99	8.3

### 3) 障害者計画相談支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	身体障害	21	18	19	19	19	19	
	重症心身障害	—	—	—	—	—	—	
	知的障害	5	5	5	5	5	5	
	精神障害	1	1	1	1	1	1	
	発達障害	—	—	—	—	—	—	
	高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	
	実人数	27	24	25	25	25	25	
支援方法	訪問	13	15	16	13	15	13	
	来所相談	—	—	1	—	—	—	
	同行	—	—	—	—	2	1	
	電話相談	6	6	7	5	4	—	
	電子メール	1	1	1	1	1	1	
	個別支援会議	2	—	—	—	—	—	
	関係機関	—	—	—	—	2	3	
	その他	—	—	—	—	—	—	
	月計	22	22	25	19	24	18	
支援内容	福祉サービスの利用等	13	17	20	13	20	18	
	障害や病状の理解	2	2	2	1	10	8	
	健康・医療	5	4	4	5	3	1	
	不安の解消・情緒安定	4	6	6	3	3	1	
	保育・教育	—	—	—	—	—	—	
	家族関係・人間関係	2	3	3	3	—	—	
	家計・経済	—	—	—	—	—	—	
	生活技術	—	—	—	—	—	—	
	就労	—	—	1	1	1	1	
	社会参加・余暇活動	—	—	—	—	—	—	
	権利擁護	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	
月計	26	32	36	26	37	29		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	19	19	19	19	21	21	233	19.4
	—	—	—	—	—	—	—	0.0
	5	5	5	5	5	5	60	5.0
	2	2	2	2	3	3	20	1.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	26	26	26	29	29	313	26.1
	18	15	13	1—	15	12	168	14.0
	—	—	—	3	1	1	6	0.5
	1	2	—	4	3	1	14	1.2
	5	8	13	9	4	6	73	6.1
	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	5	0.4
	—	—	—	—	—	—	0	0.0
	25	26	27	27	24	21	280	23.3
	18	15	10	13	10	13	180	15.0
	—	—	3	2	2	3	35	2.9
	5	5	8	7	6	5	58	4.8
	—	—	—	—	—	—	23	1.9
	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	2	2	2	2	—	23	1.9
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	3	1	3	3	1	16	1.3
	2	2	1	1	2	1	9	0.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	27	25	28	25	23	344	28.7

#### 4) 認知症サポーター養成事業・認知症サポーターステップアップ事業

開催日	担 当	対 象	場 所	人数
5.5.8	成幸・戸越台	荏原第三地区民生委員	荏原第三地域センター	29
5.5.30	杜松	品川区民	品川区役所	55
5.6.12	小山	能力アップ元気教室参加者	荏原いきいき倶楽部	10
5.7.4	小山	荏原第二地区民生委員	荏原第二地域センター	17
5.7.10	戸越台	戸越台中学校7年生	戸越台中学校	104
5.8.22	荏原	品川区民	品川区役所	32
5.10.4	荏原・小山台	荏原第一地区民生委員	荏原第一地域センター	19
5.10.16	成幸・戸越台	荏原第三地区民生委員*	荏原第三地域センター	29
5.12.18	小山台	品川区民	品川区役所	29
6.2.16	成幸	品川区民	品川区役所	23
6.2.19	杜松	荏原第五地区民生委員*	荏原第五地域センター	19
6.3.13	戸越台	戸越台中学校9年生*	戸越台中学校	89

\*はステップアップ事業

## 4. 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）

### 1) 各事業参加状況

	項目	日にち・曜日	回数	内容	参加者数
物作り等講座	体操教室	月曜日 (第1・第4)	23	足腰の体操を中心とした体操	445
	らくらく健康体操	水曜日	66	栄養ポイントと体操	727
	クラフトバンド	土曜日 (月1回)	12	クラフトバンドを用いたかご編み等	171
	布ぞうり	水曜日 (第1)	12	布ぞうりの作成	99
	手芸	木曜日 (第1・第3)	24	編み物の作成	143
	親子リトミック	木曜日 (第3)	12	親子でリトミック	130
	いきいきリズム体操	土曜日 (第1)	12	リズムに合わせた体操、ストレッチ	131
	母の日似顔絵イベント	4月15日	1	大好きなお母さんの似顔絵を描こう	8
	父の日似顔絵イベント	5月14日	1	大好きなお父さんの似顔絵を描こう	12
	キッズクラフトバンド	7月29日 12月9日	2	小学生対象のかご編み講座	21
	敬老の日イラストイベント	8月12日	1	大好きな祖父母の似顔絵を描こう	6
	書道教室	12月24日	1	小学生対象の書道教室	7
	ミニ作品展	不定期	—	保育園児七夕飾り・絵画展・書道・スクラッチアート・ちぎり絵（アルツハイマー月間）・似顔絵展示等	—
高齢者介護等事業	ミニデイ卒業体操	水曜日 (第2・第4)	24	地域ミニデイ卒業者対象の体操	59
	つながりサロン	火曜日	49	住民主体の体操、脳トレ	480

その他	もりあげ隊	4月17日 10月16日 12月21日	4	平塚橋ゆうゆうプラザボランティアとの打合せ	26
	演劇公演	7月16日	1	演劇グループによる公演	82
	浴衣着付け教室	8月4日	1	着付け講師による浴衣着付け	8
	ボッチャ大会	8月20日	1	ボッチャで交流 (品川区出前体験教室)	20
	詐欺予防講座	9月12日	1	荏原警察署員による詐欺予防講座	7
	カラオケ大会	9月17日 9月18日	2	カラオケ登録団体によるカラオケ大会	138
	キットパス	4月～3月	4	キットパス(口に入れても安全なチョーク)を使用して窓ガラスに絵を描く	23
	窓ガラスにお絵かきしよう	9月30日	1	キットパスでみんなで自由に窓ガラスに絵を描く	18
	コーラス	10月11日	1	地域住民のコーラス	43
	ゆうゆうプラザまつり	11月12日	1	第一部 登録団体の発表 第二部 ボードゲーム・輪投げ等 パン販売	167
	介護者リフレッシュ教室	11月22日	1	在宅での介護者対象のリフレッシュ教室(介護者同士の交流)	5
	今年の漢字一文字	12月	1	「今年の漢字一文字」を予想し、応募してもらう	50
	ゆうゆうポイント交換	12月21日	1	ゆうゆうポイント(ボランティアのポイント)と景品等の交換	9
	クリスマスイベント	12月23日	1	第一部:コーラスコンサート 第二部:フラダンスショー 「漢字一文字」ピタリ賞発表	104
	人生彩りまショー・みんなで歌おうコンサート	1月24日	1	第一部:「お気に入り」や「思い出」の服や小物を身に着けたファッションショー	39
利用者アンケート	2月	1	施設サービス、コロナ対策等についてのアンケート実施	129	
作品展	2月14日～ 20日	1	登録団体、自主事業講座、特養利用者の作品発表 (作品見守りボランティア56名)	—	



その他	e スポーツ交流会	2月28日	1	東中延児童センターとのe スポーツ交流	16
	脳活（3種類）	月1回 (塗り絵は2回)	47	大人の塗り絵・川柳・音楽鑑賞	301

## 2) 地域ミニデイ実施状況

開催回数	延べ参加人数
47	352名

### 3) 利用者状況

		4月	5月	6月	7月	8月
目的内 利用者数 (高齢者)	男	436	391	487	464	429
	女	1,117	1,044	1,157	1,194	1,002
	計	1,553	1,435	1,644	1,658	1,431
	1日平均人数	71	72	82	83	72
新規登録者数	男	4	5	7	7	2
	女	6	9	11	10	7
	計	10	14	18	17	9
新規登録団体数		—	1	—	—	1
入浴者数 (火曜日・金曜日)	男	90	97	137	121	143
	女	94	114	156	136	158
	計	184	211	293	257	301
	1日平均人数	26	30	42	37	43
マッサージ (第1・3水曜日)	男	4	3	2	3	—
	女	27	28	26	24	—
	計	31	31	28	27	—
部屋別稼働率 午前 (%)	レクリエーション室	86.7	87.1	93.3	93.3	74.1
	コミュニティ室1	53.3	58.1	63.3	54.8	34.5
	コミュニティ室2	40.0	41.9	50.0	30.0	16.7
	コミュニティ室3	43.3	32.3	53.3	41.4	20.7
	スタジオ1	36.7	38.7	50.0	41.9	53.3
	スタジオ2	60.0	48.4	53.3	51.6	38.7
部屋別稼働率 午後 (%)	レクリエーション室	83.3	77.4	86.7	93.1	50.0
	コミュニティ室1	66.7	58.1	70.0	73.3	48.1
	コミュニティ室2	60.0	45.2	56.7	60.0	21.4
	コミュニティ室3	36.7	45.2	60.0	43.3	25.9
	スタジオ1	70.0	54.8	76.7	64.3	70.8
	スタジオ2	80.0	61.3	80.0	77.4	51.6
部屋別稼働率 夜間 (%)	レクリエーション室	41.7	33.3	30.8	14.3	34.6
	コミュニティ室1	4.2	—	11.5	—	—
	コミュニティ室2	4.2	4.2	3.8	4.2	11.5
	コミュニティ室3	—	—	—	—	—
	スタジオ1	16.7	25.0	15.4	26.1	24.0
	スタジオ2	—	—	—	—	—
部屋別稼働率 合計 (%)		45.8	41.9	49.2	45.1	36.3
自主事業 (ゆうゆうプラザ主催分)		283	272	290	351	285
品川区事業		434	491	519	423	256
目的外利用者数 (区事業・高齢者団体以外等)		349	307	508	355	312
総利用者数 (延人数)		2,646	2,529	2,986	2,811	2,303
言語・聴覚 相談件数	聞こえの障害 (第1・3木曜日)	1	1	1	—	—
	子ども (第2・4火・木曜日)	15	14	15	18	12
	言葉の障害 (第2・4火曜日)	5	4	4	4	5
	飲み込みの障害 (第1・3木曜日)	2	1	1	—	—
	高次脳機能障害 (第1～4土曜日)	4	4	4	2	2
	計	27	24	25	24	19

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	474	482	447	455	395	428	474	5,362	446.8
	1,090	1,192	1,072	1,132	1,059	1,175	1,197	13,431	1,119.3
	1,564	1,674	1,519	1,587	1,454	1,603	1,671	17,122	1,566.1
	78	84	76	79	73	80	84		77.7
	2	3	5	3	8	2	7	55	4.6
	4	7	13	7	8	3	6	91	7.6
	6	10	18	10	16	5	13	146	12.2
	-	-	-	-	-	-	-	2	0.2
	147	147	114	130	139	132	158	1,555	129.6
	170	185	144	195	199	154	209	1,914	159.5
	317	332	258	325	338	286	367	3,469	289.1
	45	47	37	46	48	41	52		41.3
	3	1	2	1	-	1	3	23	1.9
	25	29	30	31	-	30	29	279	23.3
	28	30	32	32	-	31	32	302	25.2
	93.3	96.7	76.7	100.0	89.3	85.2	90.3		88.8
	43.3	53.3	53.3	60.7	53.6	50.0	64.5		53.6
	40.0	33.3	53.3	39.3	39.3	31.0	38.7		37.8
	46.7	43.3	40.0	42.9	50.0	37.9	41.9		41.1
	46.7	50.0	43.3	46.4	42.9	51.9	41.9		45.3
	50.0	46.7	36.7	48.1	46.4	48.3	44.9		47.8
	90.0	80.0	70.0	92.9	72.0	85.7	90.3		81.0
	66.7	73.3	70.0	78.6	64.3	53.6	71.0		66.1
	53.3	60.0	53.3	71.4	59.3	52.0	48.4		53.4
	0.0	4.0	56.7	46.4	50.0	46.2	41.9		38.0
	12.5	76.7	53.3	67.9	64.0	60.9	64.5		61.4
	4.2	70.0	70.0	89.3	67.9	75.0	64.5		65.9
	25.0	32.0	58.3	29.2	55.0	26.7	60.0		36.7
	-	-	12.5	20.8	-	4.3	8.0		5.1
	8.3	16.0	16.7	29.2	-	-	4.0		10.2
	-8.3	4.0	16.7	16.7	-	-	12.0		8.2
	12.5	0.0	8.3	12.5	8.7	0.0	12.0		13.4
	4.2	4.0	4.2	0.0	4.3	4.5	4.0		2.1
	43.7	53.0	54.2	51.1	44.4	41.3	46.4		46.0
	474	332	419	385	267	299	214	3,871	322.6
	382	516	448	520	479	407	415	5,290	440.8
	372	493	560	632	621	536	750	5,795	482.9
	2,816	3,041	2,971	3,145	2,842	2,867	3,078	34,035	2,836.3
	-	-	-	-	-	-	-	3	0.3
	15	14	13	14	13	14	17	174	14.5
	5	6	5	5	3	3	6	55	4.6
	1	4	2	-	3	3	1	18	1.8
	3	2	5	2	2	2	4	36	3.0
	24	26	25	21	21	22	28	286	23.8

## 5. 防災

### 1) 防災委員会の開催

(成 幸)

開催日	検討内容
5.4.20	BCP策定に向け内容を精査する
5.5.18	町会合同の防災訓練について、個別支援計画について
5.6.15	荏原平塚地区の防災会議について
5.7.20	しながわ防災学校の研修について
5.8.17	BCP訓練（災害、感染症）について
5.9.21	しながわ防災学校の研修に参加した職員から情報を共有する
5.10.19	福祉避難所用の非常食の入れ替えについて
5.11.16	学校避難所防災訓練について
5.12.21	保存用の水の有効活用について
6.1.18	町会合同の防災訓練にむけた準備について
6.2.15	町会合同の防災訓練の最終確認について
6.3.21	東京都より配布されている冊子を活用して、防災訓練にて取り組む訓練内容を検討する

(戸越台)

開催日	検討内容
5.4.27	令和5年度防災訓練実施計画、災害時の業務継続計画について
5.5.25	館内の防災設備の確認と防災用品の点検
5.6.15	緊急連絡網の見直し、対応方法について
5.7.20	福祉避難所の開設や職員応援体制について
5.8.22	総合防災訓練内容の確認、戸越台中学校、町会との合同訓練について
5.9.26	法定電気点検の停電時の対応について
5.10.19	総合防災訓練実施後の館内防火用品・非常食の確認について
5.11.16	福祉避難所の非常食の確認と新規納品について
5.12.21	災害時のBCP計画の近隣職員の参集について
6.1.18	能登半島地震発生、大規模災害時の品川区防災課との連絡手段IP無線機使用について、非常食や備蓄品の確認
6.2.15	荏原消防署査察後の館内改善内容について
6.3.21	防火対象物点検報告について

## (荇原)

開催日	検討内容
5.4.20	防火管理者の管理者等の選任について
5.5.11	荇原複合施設緊急対応体制連絡網について
5.6.1	荇原複合施設消防計画の変更について。非常食の内容設置場所の確認。
5.7.6	防火対象物点検について。荇原地区BCPについて
5.8.17	防火対象物点検について。工事関係情報共有の場の確認。
5.9.7	総合防災訓練BCPによる業務継続訓練の計画。消火器の増設。
5.10.5	統括防火管理者の変更消防計画の変更の確認。
5.11.2	災害時のBCP、緊急時の職員の招集について
5.12.7	工事中の避難経路の確認
6.1.11	仮設エリア避難経路図の策定
6.2.1	(中止 改修工事に伴う移転)
6.3.7	福祉避難所運営マニュアルの改定。総合防災訓練の実施の予定

## (平塚橋)

開催日	検討内容
5.4.6	平塚橋ホームの消火設備について
5.5.11	館内の避難経路について
5.6.1	非常災害備蓄品について
5.7.6	防災についての計画書を後日回覧予定
5.8.3	BCPについての見直しについて 地震の発生も多くあるため各自で備えるよう喚起
5.9.7	BCPの見直しについて 町会との合同避難訓練、ゆうゆうプラザでの避難訓練の計画について 蓄電池設備について
5.10.5	防災トイレ設備について、マンホール部分の確認
5.11.2	電気点検における振り返り
5.12.7	火災予防・トラッキング火災について
6.1.4	1月1日石川県で地震が発生、緊急時には情報確認を行う等基本的な対応について
6.2.1	防災トイレについて
6.3.7	3月25日に合同防災訓練を実施予定。防災トイレについて

## 2) 防災訓練の実施

今年度も下表の防災訓練を実施した。

### ○防災訓練等の実施状況

(成 幸)

実施日	訓練内容
5.4.27	避難経路の確認・消火器、消火用散水栓の位置確認・初期消火時の行動確認（9名）
5.5.25	福祉避難所の備品確認、簡易ベッドの使い方（9名）
5.6.30	BCPに基づく緊急時の対応、発報機の操作方法（10名）
5.7.27	東京都災害福祉広域支援ネットワークへの報告訓練（13名）
5.8.31	現場職員による火災発生時の初期消火及び通報、避難ルートの確認（10名）
5.9.28	通常の入出口以外の避難経路の場所と使用方法の説明・周知（10名）
5.10.27	非常時用の蓄電池と受水槽の位置確認と使用法の周知（10名）
5.11.21	定期的を実施している防火設備点検の結果を踏まえて、指摘箇所の周知と改善指示を行う（12名）
5.12.28	消防庁からのお知らせを配布し、対応方法を共有する（10名）
6.1.29	非常時脱出用緩降機の位置と概要、使用方法の周知（11名）
6.3.6	町会と合同の防災訓練、デイを出火元と想定した避難訓練（19名）

(戸越台)

実施日	訓練内容
5.4.27	館内防災設備の説明（集中管理システム、機器等の説明）（10名）
5.5.22	館内防災設備の説明（集中管理システム、機器等の説明）（9名）
5.6.15	勤務時間外緊急連絡網の手順について（8名）
5.7.27	自衛消防訓練、避難・誘導・通報、館内防火設備の確認（10名）
5.8.29	心肺蘇生とAEDの使用による救命手順について（13名）
5.9.1	総合防災訓練、避難誘導訓練、自衛消防訓練、消火器・2号消火栓による放水訓練 ※戸越台中学校、戸越銀座町会合同訓練（330名）
5.10.26	7階地震から火災発生により自衛消防隊発動訓練（9名）
5.11.16	災害発生時の介護サービス継続計画と訓練の実施（12名）
5.12.11	各階のスプリンクラー制御室の確認、バブルの停止方法（9名）
6.1.25	荏原消防署の査察後の指導内容の現場確認（8名）
6.2.27	突然の心停止への迅速なAED使用についての実施訓練（9名）
6.3.28	大規模災害時の福祉避難所の備蓄品の確認について（8名）

## (荏原)

実施日	訓練内容
5.4.27	品川区防災地図による地震災害時の備え、避難警報発令判断訓練
5.5.25	被災時の非常食使用訓練
5.6.22	初期消火放水訓練（中止）
5.7.27	防火管理ポケットマニュアルの配布と学習
5.8.24	地震想定訓練および家具備品の安全性確認
5.9.28	改修工事に伴い消火器位置の変更確認
5.10.28	通報相談訓練/電気製品からの火災予防
5.11.30	ごみ処理に伴う火災発生リスク（机上訓練）
5.12.28	高齢者施設における防火安全対策のポイント
6.1.25	初期消火訓練 消火器の取り扱い
6.2.22	改修工事に伴う避難経路の変更確認訓練
6.3.27	総合防災訓練 協力町会・工事関係者合同避難訓練

## (平塚橋)

実施日	訓練内容
5.4.26	防災設備の説明、確認 館内の避難ルートの確認（3名）
5.5.31	1階避難経路の確認、設備使用再確認（4名）
5.6.29	防災設備確認・点検、1階駐車場の備蓄庫の説明、施設周りの設備の説明（5名）
5.7.31	通報機器の確認・備蓄品に関して情報共有（3名）
5.8.31	避難方法・避難経路の確認、消火設備の確認（東雲にある報知設備の受信機があり、夜間1階の玄関を開ける係になっているため説明）（5名）
5.9.28	備蓄品（主に1階部分）の状態、日付等確認（6名）
5.10.29	全館停電に伴い、日中の停電時の想定（物品確認、職員動き等）（31名）
5.11.27	夜間時の警備操作の解除等（3名）
6.1.31	新型コロナウイルス感染症のため中止
6.2.29	マンホールトイレの組み立て、使用方法（5名）
6.3.25	中途採用職員へ熱感知器、スプリンクラー、煙感知器、屋内消火栓等館内の設備の説明（6名）
6.3.28	合同防災訓練（ゆうゆうプラザ、特養施設の確認、避難についての考え方・注意点）（19名）

## 6. 委員会活動

### 1) 苦情解決・サービス向上委員会

(成 幸)

開催日	内 容
5.6.15	1. 令和4年度経営支援補助金の実績報告についての報告 2. 事故報告 3. 委員からの助言、意見など
5.9.21	1. 新型コロナウイルス感染症についての報告 2. 事故報告 3. 委員からの助言、意見など
5.12.21	1. デイサービス実地指導の報告 2. 事故報告 3. 中学生による職場体験について 4. 委員からの助言、意見など
6.3.21	新型コロナウイルス感染症により書面送付

(戸越台)

開催日	内 容
5.6.13	1. 令和5年度の新体制について 2. 事故報告 3. 新型コロナウイルス感染症関係について 4. 委員からの助言、意見など
5.9.12	1. 事故報告 2. 措置入所について 3. 介護サービスの情報公表について 4. 敬老式典、デイサービス夏まつりなどの行事について 5. 委員からの助言、意見など
5.12.12	1. 品川区実施指導についての報告 2. インフルエンザ発生報告 3. 委員からの助言、意見など
6.3.12	1. 新型コロナウイルス対策について 2. 事故報告 3. 介護報酬改定について 4. 委員からの助言、意見など



(荏原・小山)

開催日	内容
5.6.14	1. コロナ感染症5類以降にあたっての変更点 2. 荏原まつり開催にあたって概要の説明 3. 利用料の滞納の報告、要介護認定結果に対する苦情、ケアの内容に対する苦情の報告、委員との意見交換
5.9.13	1. 生活サービス室コロナ集団感染の報告 2. 荏原まつり開催の報告 3. 家族懇談会実施の報告
5.12.14	1. 在宅サービスセンター仮設への移転の準備の報告 2. 業者同士のトラブル、職員の業務時間内の自転車事故の報告 3. 独居の地域住民の対応について委員との意見交換
6.3.14	1. ショートステイ仮設移転、コロナ集団感染の報告 2. 生活サービス室フロア定員数の変更の報告 3. 退院後の在宅生活の継続に向けて委員との意見交換

(平塚橋)

開催日	内容
5.6.15	1. 家族懇談会実施について 2. 面会について 3. ゆうゆうプラザの入浴サービス再開について 4. 委員からの助言、意見など
5.9.21	1. 敬老お祝いの会について 2. 面会変更後の状況報告 3. ゆうゆうプラザイベントについて 4. 委員からの助言、意見など
5.1.18	1. コロナ感染報告 2. 年末年始の状況報告 3. 委員からの助言、意見など
6.3.21	1. 事故報告 2. 品川区人権調査について 3. ゆうゆうプラザイベントについて 4. 委員からの助言、意見など

## 2) 安全衛生委員会

(成 幸)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
5.4.18	職員体調確認、新年度の安全衛生管理計画について、新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチン接種について
5.5.16	職員体調確認、介護職員の健康診断について、コロナ「5類」移行について
5.6.20	職員体調確認、コロナ「5類」移行に伴う濃厚接触者の扱いについてについて
5.7.18	職員体調確認、介護職員の健康診断の結果について
5.8.15	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症発生報告について
5.9.19	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症発生報告、メンタルヘルス研修についてについて
5.10.17	職員体調確認、インフルエンザ予防接種について、労災（通勤途中でのケガ）について
5.11.21	職員体調確認、インフルエンザ発生報告、特養家族懇談会について
5.12.19	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ発生報告
6.1.16	職員体調確認、利用者、職員健康診断について、職員配置基準について
6.2.20	職員体調確認、健康診断の結果について
6.3.19	職員体調確認、疥癬について

(戸越台)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
4.4.18	職員体調確認、上気道炎発生の報告
5.5.16	職員体調確認、夜勤者対象健康診断、新型コロナウイルス感染症について
5.6.20	職員体調確認、新型コロナウイルスワクチン接種報告、面会方法緩和について
5.7.18	職員体調確認、夜勤者対象健康診断報告、について
5.8.15	職員体調確認、熱中症・食中毒予防対策、新型コロナウイルス感染症について
5.9.19	職員体調確認、新型コロナウイルスワクチン接種予定、歯科検診について
5.10.17	職員体調確認、感染症予防対策について
5.11.21	職員体調確認、食中毒、感染症予防について
5.12.19	職員体調確認、ストレスチェック、職員健診予定について
6.1.16	職員体調確認、ノロウイルス・インフルエンザについて
6.2.20	職員体調確認、利用者・職員健診の報告、感染症対策について
6.3.19	職員体調確認、感染症対策、職員PCR検査終了報告、について

(荏原)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員7人]

開催日	会議内容
5.4.18	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症の報告
5.5.16	職員体調確認、新型コロナワクチン予防接種の報告
5.6.20	職員体調確認、新型コロナワクチン予防接種後の副反応の報告
5.7.18	職員体調確認、大規模改修工事に関する労働環境の確認
5.8.15	職員体調確認、長時間労働に関して区役所からの調査予定の報告
5.9.19	職員体調確認、生活サービス室のコロナ集団感染の報告
5.10.17	職員体調確認、大規模改修工事による騒音やほこりの対応の検討
5.11.21	職員ストレスチェック集計の報告。職員PCR検査の延長
5.12.19	在宅サービスセンターの移転先の巡視依頼
6.1.16	職員体調確認。労働環境の安全性の確認
6.2.20	仮説移転対応職員は怪我のないように留意して業務にあたること
6.3.19	生活サービス室のコロナ集団感染の報告。職員のストレスや過労の懸念

(平塚橋)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
5.4.18	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症陽性報告・注意喚起
5.5.18	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症陽性報告・施設内の対応変更報告、職員労災事故報告、春の健康診断実施
5.6.20	職員体調確認、面会方法変更案内
5.7.18	職員体調確認、職員健康診断の報告、新型コロナウイルス感染症陽性報告、職員労災申請報告
5.8.15	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症陽性報告
5.9.19	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症陽性報告、職員健康診断について
5.10.17	職員体調確認、インフルエンザ予防接種について
5.11.21	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症陽性報告、ストレスチェックについて
5.12.19	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症陽性報告、職員労災申請報告
6.1.16	新型コロナウイルス感染症陽性、インフルエンザ、急性胃腸炎の報告・注意喚起
6.2.20	職員体調確認、職員体調確認、委託業者家族インフルエンザ感染報告、PCR検査3月末で終了
6.3.19	新型コロナウイルス感染症陽性・厨房職員ノロウイルス感染報告、高齢者の体調変化の注意喚起、職員健康診断の結果について

### 3) 給食委員会

新型コロナウイルス感染症のため利用者参加は規模を縮小または中止とした。

(成 幸)

開催日	活動内容
5.4.13	食札の変更、新しいトロミ剤の検討について
5.5.11	ペースト食の固さ、選択食の内容、今後の行事实施について
5.6.8	主食の盛り付け量、食札管理、厨房機器の修理予定について
5.7.13	食数管理、配膳用食器類の確認、お楽しみ食用食器類の検討について
5.8.17	感染症対応、厨房機器工事予定について
5.9.14	禁止食品対応、残菜調査、食事提供に関する事故について
5.10.12	全館停電の確認、配膳用食器類の再確認、献立内容の検討について
5.11.9	食材の固さ・大きさ、職場体験への協力について
5.12.14	クリスマス会のおやつ提供、鶏肉料理の切り方について
6.1.11	年末年始の評価、献立変更について
6.2.8	ペースト食の固さの再確認、残菜調査、来年度の予定について
6.3.14	食事（味・かたさ）について、異物混入について

(戸越台)

開催日	活動内容
5.4.6	利用者の意見、配食の器変更、肉の硬さ、新体制、年間予定について
5.5.12	利用者の意見、天ぷらの介助方法、食中毒予防、おやつについて
5.6.9	利用者の意見、朝食早見表、異食・禁食の対応、食中毒予防について
5.7.14	利用者の意見、ホーム喫茶、ピカタ、歳時食の取り組みについて
5.8.18	利用者の意見、電話連絡、お粥のかたさ、食事の味、感染予防について
5.9.8	利用者の意見、味付け、食事の温度、停電時の対応、検食について
5.10.10	利用者の意見、揚げ物、紅茶ゼリーの硬さ、配膳時の温度、おやつの日程
5.11.10	利用者の意見、醤油交換の確認、餅、行事食の検討、アンケート結果
5.12.8	利用者の意見、行事食、とろみ具合、年末年始の確認、感染症予防
6.1.16	利用者の意見、年末年始の評価、甘酒の味について
6.2.13	利用者の意見、行事食の提供方法、残菜調査、来年度の予定、感染対策
6.3.8	利用者の意見、選択食、職員食の確認、そばろの確認、おやつについて

## (荇原)

開催日	活動内容
5.4.13	コロナ5類移行後の職員食提供、鳥インフルエンザの影響について
5.5.11	ご利用者の声の反映について、停電に伴う食事提供について
5.6.8	食中毒予防について非常食の管理と非常食の期日内利用について
5.7.13	害虫駆除経過について、荇原まつり実施について
5.8.10	夏の行事(かき氷大会)、特養おやつ会の内容変更について
5.9.14	ショートへの配膳下膳の確認、おやつを選定について
5.10.12	根菜類の大きさや硬さ、改修に伴う12月配膳変更(デイ)について
5.11.9	新規メニューへのご利用者からの意見、個別対応の自助器について
5.12.14	12/25からの仮設デイ配送について、年末年始の行事食について
6.1.11	クリスマス料理・正月料理の感想、仮設デイ配送及び配膳について
6.2.8	3/1からのSS・特養配膳場所及び方法変更、検食当番の変更について
6.3.14	3~4月停電及び断水への対応(協力依頼)、次年度の資料配布について

## (平塚橋)

開催日	活動内容
5.4.13	配膳カートの取り扱いについて、食形態について
5.5.11	感染症対策、消毒について、水分補給について
5.6.9	食中毒について、水分補給について、冷蔵庫チェックについて
5.7.14	季節の変わり目による食品管理について
5.8.12	水分補給、ユニット冷蔵庫管理について
5.9.8	お米の保管方法について、水分補給について
5.10.13	配膳時間について、禁止食の見直しについて
5.11.10	残食調査について、食事変更の時間について
5.12.8	クリスマス、年末年始について、衛生管理について
6.1.12	配膳食品の保管について、衛生管理について
6.2.9	感染症予防について、残食調査について
6.3.9	体調管理について、食器の取り扱いについて

## 7. その他

### 1) 研修報告

令和5年度は集合型研修とリモートによる研修に参加した。

在宅介護支援センターの研修参加は下記のとおり各拠点に含む。

成 幸 : 成幸在宅介護支援センター

戸越台 : 戸越台在宅介護支援センター、杜松在宅介護支援センター

荏原・小山 : 荏原在宅介護支援センター、小山在宅介護支援センター、小山台在宅介護支援センター

※リモート研修は\*で表記

#### 施設外研修 (成 幸)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
5	4	27	品川区 新任職員向けシステム研修会	2
	5	17, 23, 24	東京都福祉保健財団 「養護者による高齢者虐待対応研修(基礎研修)」	1
		24	品川福祉カレッジ 第1回「ケアマネジメントの実践原理と基盤」*	2
	6	21	品川福祉カレッジ 第2回「適切なケアマネジメント手法(1)～基礎的理解と基本ケア～」*	2
		28	品川区 元ヤングケアラーが語る研修会	1
	7	6, 7	東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	1
		14	精神保健福祉研修 メリデン版訪問家族支援*	1
	8	4	精神保健福祉研修 パーソナリティ障害の理解と基本的な対応*	1
		4	I C Fと褥瘡予防の観点に基づいたポジショニング・シーティング	1
		7	精神保健福祉研修 非対面の相談支援*	1
	9	21	品川区 しながわ防災学校 基礎編*	7
		25	品川区 しながわ防災学校 応用編*	7
		27～29	国際福祉機器展、高齢者のリハ実践講座	1
	10	11～2/1	東京都福祉局 第1期東京都主任介護支援専門員更新研修*	1
		12	B C P策定講座 感染症編	1
		20	品川福祉カレッジ 第3回「適切なケアマネジメント手法(2)」*	2
		24, 2/14	品川区 適切なケアマネジメント手法「疾患別ケア」脳血管疾患*	2
		27	品川区 第2回ケアプランサポート研修「ケアマネジメントの質の向上研修会」	1
	11	10	精神保健福祉研修 ひきこもり支援研修(家族支援)*	1
		17	精神保健福祉研修 高齢者の精神疾患の理解と支援*	1

	17	精神保健福祉研修 アウトリーチ支援研修*	1
	21	精神保健福祉研修「精神障害者に配慮した災害時の支援について」*	1
	28 (11/1～11/28)	東京都福祉保健財団 高齢者虐待防止研修(施設居住系サービス向け) (リモート・集合型研修) *	1
	30	精神保健福祉研修 自殺対策研修1 (自殺を防ぐための支援について) *	1
	30	品川区 高齢者虐待における家族の読み解き	1
12	15	品川区 養介護施設従事者虐待防止研修「現場職員編」	2
6	1 17～2/2	東京都福祉保健財団「施設内リーダー職員研修(看護実務者研修)」*	1
	2 5	品川区 高齢者虐待予防研修「高齢者虐待における不自然な傷と記録の残し方」	1
		計	46

施設外研修

(戸越台)

年	月	日	研修会名	人数(人)
5	4	17	品川区 生活支援記録法「F-SOAIIP」初心者向け編*	2
		25	品川区 ケアプランサポート研修「新任ケアマネ研修」*	1
		27	品川区 新任職員向けシステム研修会	1
		27	FMI 人手不足解決お悩みセミナー「ブライトチラー研修」	1
	5	19	品川区 要介護度改善ケア奨励事業の実施および施設向け説明会	1
		24	品川福祉カレッジ 第1回「ケアマネジメントの実践原理と基盤」*	4
		30	品川区 福祉施設連絡会*	1
	6	16	品川区 高齢者虐待予防基礎研修	1
		21	品川福祉カレッジ第2回「適切なケアマネジメント手法(1)～基礎的理解と基本ケア～」*	3
		28	品川区 元ヤングケアラーが語る研修会	1
	8	4	I C F と褥瘡予防の観点に基づいたポジショニング・シーティング	1
		25(8/1～8/25)	東京都福祉保健財団 高齢者虐待防止研修(施設居住系サービス向け) (リモート・集合型研修) *	1
		18	東京都 引きこもりに係る関係機関向け専門研修「ひきこもり概論」*	1
	9	11	品川区 しながわ防災学校 応用編*	2
		12	インボイス&伝帳法取り組みが必要な「3つのポイント」*	1
		12	東京都高齢者福祉施設協議会 栄養研修員会	1
		13	品川福祉カレッジ 「心不全ケアのエッセンス～介護職のための実践的アプローチ～」*	1
		25	品川区 しながわ防災学校 応用編*	2
		26	高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京'23」	1
		28	品川区 ACP研修「担当のご利用者とACPって話せています?」	5

			*	
	10	4～12/4	東京都福祉局 第1期東京都主任介護支援専門員更新研修*	1
		20	品川福祉カレッジ 第3回「適切なケアマネジメント手法(2)」*	1
		24, 2/14	品川区 適切なケアマネジメント手法「疾患別ケア」脳血管疾患*	1
		26	品川区 第3回ケアプランサポート研修「ケアマネジメントの質の向上研修会」	1
		31, 11/2	東京都保健医療局 東京都入退院時連携強化研修 (リモート研修および集合型研修)*	1
		5～31	品川区 しながわ防災学校 応用編*	5
	11	30	品川区 高齢者虐待における家族の読み解き	1
	12	12	品川福祉カレッジ 「認知症のご本人とご家族を共に支えるための関わりを学ぼう」*	1
		15	品川区 生活支援記録法「F-SOAIIP」基本&ステップアップ*	1
		15～19 (4/1～3/31)	社会福祉施設長資格認定講習課程 (1年間の通信学習及び5日間の集合研修)*	1
6	1	16, 19	品川区 自立支援・重度化防止のために～あらためて「自立」を考える～	4
		23	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修員会 栄養研修委員会	1
		30	品川区 生活支援記録法「F-SOAIIP」基本&ステップアップ*	1
		30	品川・大田医療福祉栄養士の会 「栄養と嚥下」研修	1
	2	5	品川区 高齢者虐待予防研修「高齢者虐待における不自然な傷と記録の残し方」	1
	3	1～15	東京都高齢者福祉施設協議会「施設ケアマネジメントの本質について」*	1
		22	東京都社会福祉協議会 生活相談員研修委員会「介護報酬改定～」	1
			計	56

施設外研修

(荏原・小山)

年	月	日	研修会名	人数(人)
5	4	17	品川区 生活支援記録法「F-SOAIIP」初心者向け編*	2
		26	品川区 新任職員向けシステム研修会	2
		27	FMI 人手不足解決お悩みセミナー「ブライトチラー研修」	1
	5	12	東京都 第2期成年後見制度促進基本計画における意思決定支援とは	2
		19	品川区 要介護度改善ケア奨励事業の実施および施設向け説明会	1
		23	東京都社会福祉協議会 特養分科会 ショートステイ連絡会	1
		24	品川福祉カレッジ 第1回「ケアマネジメントの実践原理と基盤」*	6
		25	東京都福祉保健財団 生産性向上に向けた人材育成セミナー	2
6	1, 5, 28		東京都福祉保健財団 福祉用具サービス業務従事者講習会 (基礎)	1



		講習)	
	9	東京都福祉保健財団 介護支援専門員の為の福祉用具・住宅改修(基礎講習会)	1
	16	品川区 高齢者虐待予防基礎研修	2
	21	品川福祉カレッジ 第2回「適切なケアマネジメント手法(1)～基礎的理解と基本ケア～」*	1
	28	東京都福祉保健財団 権利擁護テーマ別実践研修(第1回)	1
	28	品川区 元ヤングケアラーが語る研修会	1
	28	東京都立中部総合精神保健福祉センター「精神保健福祉基礎研修2」*	1
	30～7/2	日本社会福祉士会 日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会 大分大会	1
7	4	荏原医師会 心を楽にするための認知行動療法*	1
	11	東京都福祉保健財団 施設職員向け福祉用具講習会(第1回集合型講習会)	1
	20	品川福祉カレッジ 認知症の基礎的理解～入口から出口戦略までの包括的理解を含めて～*	1
	25～9/12	東京都社会福祉協議会 介護職員スキルアップ研修「医学的知識編」*	3
	25～9/12	東京都社会福祉協議会 福祉職員定着・育成セミナー「ハラスメントのない職場づくり」*	4
	25～9/12	東京都社会福祉協議会 リスクマネジメント研修*	1
	25～9/12	東京都社会福祉協議会 第1回新任職員の定着・育成入門研修*	1
	26	東京都福祉保健財団 権利擁護テーマ別実践研修(第2回)	1
	28	ホームアレー 看取りに関わる理想と現実のギャップ *	1
	31, 8/1	東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)*	1
8	9, 30	東京都福祉局 自立支援・重度化防止等介護支援専門員 質の向上研修*	1
	10	品川区 身体拘束廃止研修	1
	17	品川区福祉カレッジ 発達に特製のある子どもの理解と対応について*	1
	25	東京都高齢者福祉施設協議会「ショートステイWEB交換会」*	1
	25	品川区 介護支援専門員連絡協議会 年金制度と所得保障	1
	25(8/1～8/25)	東京都福祉保健財団 高齢者虐待防止研修(施設居住系サービス向け) (リモート・集合型研修)*	1
9	2	社会福祉士 基礎研修I*	1
	5～1/24	東京都 東京都相談支援従事者初任者研修(リモート研修および集合型研修、7日間)*	1
	6～9/14, 15	東京都精神障害計画相談支援従事者等養成研修会(リモート研修および集合型研修)*	1
	7	品川区 しながわ防災学校 基礎編*	1
	11	品川区 しながわ防災学校 応用編*	11
	14～10/31	東京都社会福祉協議会 採用力・広報力強化研修 入門編*	1
	15	品川福祉カレッジ 機能向上・ケア講座 口腔リハビリの実際*	2

	21	品川区 しながわ防災学校 基礎編*	2
	25	品川区 しながわ防災学校 応用編*	4
	28	品川区 ACP研修「担当のご利用者とACPって話せています？」*	2
10	5～31	品川区 しながわ防災学校 基礎編*	1
	5～31	品川区 しながわ防災学校 応用編*	1
	13	品川区 保健予防課 結核と介護	2
	14	東京都発達障害者支援体制整備推進事業 第1回発達障害者相談支援研修「相談支援知識力向上研修」*	1
	16	品川福祉カレッジ 効率的な口腔ケアを行うためのポイント実習	2
	18	東京都公安委員会 安全運転管理者講習	1
	19	品川福祉カレッジ 「認知症によるつまづきをご本人の視点から考える その理解とコミュニケーション」*	1
	20	品川福祉カレッジ 第3回「適切なケアマネジメント手法(2)」*	1
	31, 11/2	東京都保健医療局 東京都入退院時連携強化研修（リモート研修および集合型研修）*	1
	6, 25, 11/13, 12/6	東京都福祉局 第1期東京都主任介護支援専門員更新研修*	1
11	17, 24	東京都盲ろう者福祉ワーカー研修会	1
	22	品川ケア協議会 BCP策定における事業所連携推進検討発表会	2
	28 (11/1～11/28)	東京都福祉保健財団 介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修(施設居住系サービス向け)」(リモート研修および集合型研修)*	1
	29～12/3、5～11	東京都相談支援従事者専門コース別研修*	1
	30	品川区 高齢者虐待予防応用研修 高齢者虐待における家族の読み解き	2
12	1	品川区 人権週間講演と映画のつどい	1
	1	福祉医療機構 社会福祉法人会計セミナー	1
	1, 12	東京都入退院時連携強化研修（リモート研修および集合型研修）*	1
	6	東京都社会福祉協議会 裁判例・事例から学ぶ、事故対策・クレーマー防衛策	1
	12	品川福祉カレッジ 「認知症のご本人とご家族を共に支えるための関わりを学ぼう」*	2
	14 (11/20～12/14)	東京都福祉保健財団 「虐待防止研修(居宅系サービス向け)第2回」(リモート研修および集合型研修)*	1
	15	品川区 養介護施設従事者虐待防止研修「現場職員編」	1
	15～2/29	介護サービス事業者支援研修「人生の最終段階の人への支援」*	1
	20	東京都心身障害者福祉センター 視覚障害者支援者懇談会	1
6	1	品川区 自立支援・重度化防止のために～あらためて「自立」を考える～	1
	17, 2/5, 25, 3/18	東京都福祉局 第2期東京都主任介護支援専門員更新研修*	1
	17, 27, 2/2	東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護推進事業「施設内リーダー	1

		職員研修」＊	
	18	品川福祉カレッジ 障害者版福祉カレッジ 実践力強化研修「意思決定支援研修」＊	1
	19	東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 特養分科会 ショートステイ連絡会	1
	19	品川区 自立支援・重度化防止のために～あらためて「自立」を考える～	2
	19～2/8、1/26、2/2	東京都精神障害者地域移行促進事業 地域移行関係職員に対する研修（リモート研修および集合型研修）＊	1
	24	東京都社会福祉協議会 第23回特別養護老人ホーム経営実態調査フォローアップ研修	1
	25～3/29	東京都社会福祉協議会 介護現場におけるハラスメント対策説明会＊	
	26	東京都福祉局 精神障害者地域移行促進事業 地域移行関係職員に対する研修	1
	30	品川・大田医療福祉栄養士の会 「栄養と嚥下」研修	2
	30	品川区 生活支援記録法「F-SOAIIP」基本&ステップアップ＊	1
2	5	品川区 高齢者虐待予防研修「高齢者虐待における不自然な傷と記録の残し方」	4
	6～2/29	東京都社会福祉協議会 栄養ケアマネジメント研修会～基礎と事例を学ぶ～＊	1
	9	東京都地域リハビリテーション支援事業 介護予防の現状と課題＊	1
	13	東京都福祉局 若年性認知症企業向け研修会＊	1
	22	区南部圏域高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実事業」＊	1
	27	ケアマネット 主任ケアマネ部会 医療保険制度のしくみと後期高齢者医療制度＊	5
	29	品川保健センター精神保健地域サポート講演会 引きこもり家族の理解と支援＊	1
3	1～15	東京都社会福祉協議会 施設ケアマネジメントの本質について＊	1
	5	品川区 重層的支援体制整備事業研修会	1
	8	東京都社会福祉協議会 利用者の暮らしを支える食事介助～食べる機能解剖と食事介助の基本～	1
	14	品川区 介護予防ケアマネジメント研修＊	3
	19	品川福祉カレッジ 認知症の人とともに:もっと楽で、楽しい日々を一緒につくろう～「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」を生かして～＊	1
	22	品川区支援専門員連絡協議会 介護支援専門員連絡協議会研修令和6年度 介護報酬改定及び制度改正について＊	7
		計	143

施設外研修

(平塚橋)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
5	5	12	品川区 環境法令研修	1
		19	東京都社会福祉協議会 第1回総会「新型コロナウイルス感染症5類移行と高齢者施設での対応や今後の感染対策について」	1
	8	4	東京都高齢者福祉施設協議会 ICFと褥瘡予防の観点に基づいたポジショニング・シーティング	1
		25(8/1~8/25)	東京都福祉保健財団 「虐待防止研修(居宅系サービス向け)第1回」(リモート研修および集合型研修)*	1
	9	14~10/31	東京都社会福祉協議会 財務マネジメント初級研修*	2
		21	品川区 しながわ防災学校 基礎編*	1
		25	品川区 しながわ防災学校 応用編*	1
		27, 29	国際福祉機器展「高齢者のリハ実践講座」	1
	10	13	東京都社会福祉協議会 第2回総会「令和6年度介護報酬改定の動向について」	1
	11	16, 17	日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修*	1
		28(11/1~11/28)	東京都福祉保健財団 「高齢者虐待防止研修(施設居住系サービス向け)」(リモート研修および集合型研修)*	1
	12	6	東京都社会福祉協議会 第2回特養部会「令和6年度介護保険制度改正・介護報酬改定について」	1
		15	品川区 養介護施設従事者虐待防止研修「現場職員編」	3
		15~19(4/1~3/31)	社会福祉施設長資格認定講習課程(1年間の通信学習及び5日間の集合研修)*	1
		19~22	日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修(実地研修)	1
6	1	25	第2回品川区施設サービス向上研究会	1
	2	9	東京都社会福祉協議会 第3回総会「防災気象情報の利活用及びBCPの策定」	1
		8, 9	日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修*	1
			計	21

法人勉強会（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
5	8	17, 31	グーグルフォーム研修会	グーグルフォームの作成、活用方法（品川総合福祉センターとの合同研修）	平塚橋 富岡施設長
	9	7, 14	介護支援専門員受験講座	介護支援専門員受験講座	福祉塾 関根一春講師
	11	15	健康づくりオンライン講座	メンタルヘルスセミナー～ストレス対処法～	協会けんぽ
		19	介護技術勉強会	ポジショニングとシーティング	株式会社大起エンゼルヘルプ 田中義行講師

施設内研修（成 幸）

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師	
5	4	1～5/31	オンライン動画研修	褥瘡になりやすい部位、事故予防とは。情報共有の仕方の基本、記録の大切さについて	ジョブメドレーアカデミー	
		27	サービス研究会	令和5年度のサービス研究会計画	施設長	
5	25		サービス研究会	腰痛予防体操について	医務訓練室	
6	22		サービス研究会	感染症・食中毒の予防とまん延防止について	栄養室	
		1～7/31	オンライン動画研修	虐待とは何か、身体拘束とは何か	ジョブメドレーアカデミー	
7	27		サービス研究会	介護施設における虐待について	課長	
8	1～9/30		オンライン動画研修	看取り時のケア・医療	ジョブメドレーアカデミー	
		24	サービス研究会	アンガーマネジメントについて	課長	
9	28		サービス研究会	感染症対策	医務訓練室	
10	30		サービス研究会	高齢者の権利擁護と虐待対応	成幸支援センター	
		1～10/31	オンライン動画研修	事故の分析について	ジョブメドレーアカデミー	
11	21		サービス研究会	令和6年度介護報酬改定について	施設長	
		1～11/30	オンライン動画研修	高齢者虐待や身体拘束をなくすための課題解決、スピーチロックについて	ジョブメドレーアカデミー	
12	1～1/31		オンライン動画研修	主な感染症①、主な感染症②、看取り支援の考え方1 平穏死、グリーフケアについて	ジョブメドレーアカデミー	
		28	サービス研究会	看取り介護について	生活サービス室	
6	1	25	サービス研究会	定年後再雇用制度について	事務室	
		2	1～3/31	オンライン動画研修	認知症ケア 6つの方法、個人情報保護について認知症ケア～	ジョブメドレーアカデミー
		22	サービス研究会	品川介護福祉専門学校1年生22名を対象としたレクリエーション授業について	機能訓練指導員、デイサービス	

## 施設内研修

(戸越台)

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
5	4	1～ 5/31	オンライン動画 研修	褥瘡になりやすい部位、事故予防とは。情報共有の仕方の基本、記録の大切さについて	ジョブメドレー アカデミー
		20	サービス研究会	令和5年度のサービス研究会計画	施設長
5	18		サービス研究会	認知症サポーター養成講座とは	戸越台支援センター
6		1～ 7/31	オンライン動画 研修	虐待とは何か、身体拘束とは何か	ジョブメドレー アカデミー
		29	サービス研究会	採血検査結果の見方について	医務訓練室
7	19		サービス研究会	音楽を使ったレクリエーションについて	デイサービス
8		1～ 9/30	オンライン動画 研修	看取り時のケア・医療	ジョブメドレー アカデミー
		17	サービス研究会	食中毒について	栄養室
9	21		サービス研究会	腰痛の予防と対策	医 務 訓 練 室 戸越台支援センター
10		1～ 10/31	オンライン動画 研修	事故の分析について	ジョブメドレー アカデミー
		19	サービス研究会	意思決定支援について	杜松支援センター
11		1～ 11/30	オンライン動画 研修	高齢者虐待や身体拘束を無くすための課題解決、スピーチロックについて	ジョブメドレー アカデミー
		16	サービス研究会	介護現場における接遇	生活サービス室
		25, 28, 29	施設勉強会	感染症について（吐物の処理方法）	医務訓練室
12		1～ 1/31	オンライン動画 研修	主な感染症①、主な感染症②、看取り支援の考え方1 平穏死、グリーフケアについて	ジョブメドレー アカデミー
		20	施設勉強会	感染症について（吐物の処理方法）	医務訓練室
		21	サービス研究会	感染症の基礎知識	医務訓練室
6	2	15	サービス研究会	令和5年度夏季福祉現場における助成金付インターンシップ事業についての報告	デイサービス
		1～ 3/31	オンライン動画 研修	認知症ケア 6つの方法、個人情報保護について認知症ケア	ジョブメドレー アカデミー
	3	21	サービス研究会	認知症ケアについて	生活サービス室

施設内研修

(荏原)

年	月	日	研修会名	内容	担当・講師
5	4	4/1～ 5/31	オンライン動画 研修	褥瘡になりやすい部位、事故予防とは。 情報共有の仕方の基本、記録の大切さ について	ジョブメドレー アカデミー
		27	サービス研究会	高齢者施設等における感染対策等につ いて	施設長
5	25	サービス研究会	食中毒の原因とその予防	栄養室	
6	6/1～ 7/31	オンライン動画 研修	虐待とは何か、身体拘束とは何か	ジョブメドレー アカデミー	
		22	サービス研究会	褥瘡とは	医務室
7	27	サービス研究会	ぎっくり腰予防と対応	訓練室	
8	8/1～ 9/30	オンライン動画 研修	看取り時のケア・医療	ジョブメドレー アカデミー	
		24	サービス研究会	虐待の芽チェックリストの活用	ショートステイ
9	28	サービス研究会	品川介護福祉専門学校にて三徳会在宅 サービス室が担当した講義について	在宅サービスセ ンター	
10	10/1～ 10/31	オンライン動画 研修	事故の分析について	ジョブメドレー アカデミー	
		26	サービス研究会	福祉避難所を中心とした地域連携で対 応するBCPの取り組みについて	荏原在宅介護 支援センター
11	11/1～ 11/30	オンライン動画 研修	高齢者虐待や身体拘束を無くすための 課題解決、スピーチロックについて	ジョブメドレー アカデミー	
		30	サービス研究会	勤怠管理について	事務室
12	12/1～ 1/31	オンライン動画 研修	主な感染症①、主な感染症②、 看取り支援の考え方1 平穏死、グリー フケアについて	ジョブメドレー アカデミー	
		1 25	サービス研究会	①「認知症の人や家族等とのコミュニ ケーション」 ②現場で活躍している生活支援記録法 (F-SOAIIP) クイックスタートマニユ アルをもとに	小山の家 小山在宅介護 支援センター
6	2	2/1～ 3/31	オンライン動画 研修	認知症ケア 6つの方法、個人情報保護 について認知症ケア	ジョブメドレー アカデミー
		22	サービス研究会	サービス等利用計画までのプロセス	小山台在宅介 護支援センター
	3 28	サービス研究会	令和6年度介護報酬改定について	施設サービス課 長	

## 施設内研修

(平塚橋)

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
5	4	4/1～ 5/31	オンライン動画 研修	褥瘡になりやすい部位、事故予防とは。 情報共有の仕方の基本、記録の大切さ について	ジョブメドレー アカデミー
		20	サービス研究会	令和5年度のサービス研究会計画	施設長
	5	18	サービス研究会	人権・虐待	施設長
	6	6/1～ 7/31	オンライン動画 研修	虐待とは何か、身体拘束とは何か	ジョブメドレー アカデミー
		7	13	サービス研究会	食中毒
	7	20	サービス研究会	看取り	医務訓練室
		8	8/1～ 9/30	オンライン動画 研修	看取り時のケア・医療
	17		サービス研究会	今後の介護機器導入について	施設長
	9	21	サービス研究会	ストレスマネジメント	生活サービス室
	10	10/1～ 31	オンライン動画 研修	事故の分析について	ジョブメドレー アカデミー
		19	サービス研究会	感染症	医務訓練室
	11	16	サービス研究会	褥瘡	生活サービス室
		11/1～ 30	オンライン動画 研修	高齢者虐待や身体拘束を無くすための 課題解決、スピーチロックについて	ジョブメドレー アカデミー
	12	12/1～ 1/31	オンライン動画 研修	主な感染症①、主な感染症②、 看取り支援の考え方1 平穏死、グリー フケアについて	ジョブメドレー アカデミー
21		サービス研究会	腰痛	医務訓練室	
6	1	18	サービス研究会	身体拘束	副施設長
	2	2/1～ 3/31	オンライン動画 研修	認知症ケア 6つの方法、個人情報保 護について認知症ケア	ジョブメドレー アカデミー
		15	サービス研究会	事故予防	副施設長
	3	21	サービス研究会	介護報酬改定について	施設長
		29	交流研修	グループフォームについて(久我山園 との合同研修)	施設長

※上記勉強会資料を各ユニットで回覧、休憩室に資料を設置。



## 2) 実習生受入れ

(単位：人)

区分	延べ人数	福祉系大学 専門学校等		その他	
		人数	延人数	人数	延人数
成 幸	79	5	79	0	0
戸 越 台	191	7	74	51	117
荏 原	110	2	10	17	110
小山の家	18	8	16	2	2
平 塚 橋	55	2	39	8	16

区分	主な実習依頼先
成 幸	品川介護福祉専門学校、東京医療保健大学、東京医科大学、 昭和大学医学部附属看護専門学校
戸越台	品川介護福祉専門学校、品川区社会福祉協議会、淑徳短期大学、 東京医療保健大学、女子栄養大学、実践女子大学、昭和大学歯学部、 昭和大学医学部附属看護専門学校、東京医科大学
荏 原	品川区社会福祉協議会、品川介護福祉専門学校、日本福祉教育専門学校、 女子栄養大学、東京家政大学短期大学部、 東京医療保健大学、十文字学園女子大学、貞静学園短期大学
小山の家	昭和大学医学部附属看護専門学校、東京女子体育大学、日本体育大学
平塚橋	品川介護福祉専門学校、東京医療保健大学、赤羽北桜高校

## 3) 見学

入所検討の見学は新型コロナウイルス感染症予防のため、状況によりビデオやパンフレットで案内した。小山の家については、デイサービスの雰囲気や環境をみていただくため見学案内を実施した。

【年間の見学】

(単位：人)

区分	入所(居)検討 サービス利用前検討	就職検討 職場見学	団体・企業
成 幸	15	24	—
戸越台	18	17	—
荏 原	5	25	—
小山の家	7	—	—
平塚橋	47	6	—

## 4) 近隣との交流

新型コロナウイルス感染が5類に移行したことに伴い、近隣・地域活動も徐々に開始した。

(地域事業)

9月16日 みんな集まれ「ふくしまつり」に参加

### 【実施した事業】

(成幸ホーム)

令和5年9月9～10日 町会祭禮(神輿、盆踊り)  
9月19日 こころしながわえぼら保育園(30名)  
11月1～2日 品川区立荏原第六中学校 職場体験  
12月12日 中延一丁目・西中延一丁目町会合同防災訓練

(戸越台ホーム)

令和5年7月7日 第21回戸越台中学校との七夕交流会  
7月10日 戸越台中学校「認知症サポーター養成講座」  
11月29～30日 戸越台中学校 職場体験  
令和6年3月13日 戸越台中学校「認知症サポーターステップアップ講座」

(荏原ホーム)

令和5年7月29日 荏原まつり  
10月31日、11月1～2日 荏原第六中学校 職場体験  
令和6年2月16日 荏原第六中学校 進路学習「六中寺子屋」

(小山の家)

令和5年9月14～15日 荏原平塚学園 職場体験  
10月31日、11月1～2日 荏原第六中学校 職場体験

(平塚橋)

令和5年7月 平塚すこやか園 荏原西第二保育園 「七夕飾り」  
9月14～15日 荏原第五中学校 職場体験  
令和6年2月14日～20日 合同作品展  
2月28日 東中延児童センター 「eスポーツ交流会」

## 5) ボランティア事業報告

### 【ボランティア活動実績】

#### (成幸)

- ・配膳、下膳、お話し相手 1人 週1回
- ・配膳、下膳、お話し相手 1人 月2回
- ・ピアノ演奏 1人 月2回
- ・車いす清掃 年間3回

#### (戸越台)

- ・洗濯たたみ 4人 週1回
- ・洗濯たたみ 1人 週2回
- ・車いす清掃 年間3回

#### (荏原)

- ・車いす清掃 年間4回

#### (小山の家)

- ・活動人数 1人
- ・昼食、おやつ、食事の片付けの手伝い  
散歩介助 など 週2回

#### (平塚橋)

- ・車いす清掃 年間5回
- ・ゆうゆうプラザもりあげ隊 10人 随時

別表 ボランティア登録状況（定期）

施設名	活動内容	登録人数	活動回数
成 幸	リハビリ	3	週1～2回
	洗濯たたみ	2	週1～3回
	ホーム喫茶・バイキング（民生委員）	11	計11回
	ピアノとアコーディオン	4	月1回
	話し相手	1	週1回
	クラブ手伝い	1	月2回
	ピアノ演奏	1	週1回
戸 越 台	リハビリ	9	週1～2回
	ドライヤー	1	週1～2回
	夕食手伝い	1	週1回
	生花	1	月1回
	車いす清掃	12	月1回
	シーツ交換	4	月1回
	エレクトーン演奏	1	月1回
	三味線演奏・紙芝居・歌	6	月1回
	ホーム喫茶（民生委員）	12	月1回
	昼食手伝い	3	週1回
	フロア清掃	4	週2回
	洗濯たたみ	6	週1～2回
	ホーム喫茶	5	月1回
荏 原	デイサービスお茶出し	2	週1回
	ショートステイ話し相手	1	週1回
	デイサービスカラオケ補助	1	週1回
	デイサービス下膳	6	週1回
	ピアノ演奏	3	週1～2回
	縫いもの	1	不定期
	紙芝居	1	週2回
	リハビリ手伝い	3	週1回
小山の家	昼食手伝い	3	なし
	おやつ手伝い	2	週2回
	食後の片づけ手伝い	1	週2回
	散歩介助	2	なし
平塚橋	ゆうゆうプラザもりあげ隊	10	随時

※ボランティア登録者を掲載（活動実績と異なる）

## 6) 令和5年度行事表

(成 幸)

月	日	行 事	場 所
5	3～5	菖蒲湯	浴室
8	13～16	お盆	館内
9	17	敬老式典	1階
	20～26	お彼岸	館内
12	24	クリスマス会	2・3・4階
	18～23	デイサービス クリスマス週間	デイサービスセンター
	21～23	ゆず湯	浴室
2	3	節分	2・3・4階
3	18～24	お彼岸	館内

(戸越台)

月	日	行 事	場 所
4	30～5/6	菖蒲湯	浴室
6	14	ランチ会	9階
7	7	七夕交流会 (戸越台中学校来園)	7階
8	7	すいか割り	5階
	12	夏まつり	デイサービスセンター
	10	かき氷大会	5・6・7階
9	4	総合防災訓練	屋上
	17	敬老式典	8階
11	28	ランチ会	9階
12	9	クリスマス会	デイサービスセンター
	17	クリスマス会 (特養)	8階
	18～24	ゆず湯	浴室
1	1・3	初詣	8階
	4～10	新年週間	デイサービスセンター
2	3	節分 (特養)	5・6・7階、 デイサービスセンター

## (荏原・小山)

月	日	行 事	場 所
5	3～5	菖蒲湯	浴室
7	7	七夕	館内
	29	荏原まつり	館内
8	14～19	かき氷大会	3階・4階
10	10	秋の選べるおやつ会	3階・4階
12	14	クリスマス会	3階・4階
	18-23	クリスマス週間	デイサービスセンター
1	21～23	ゆず湯	浴室
	1～3	初詣	3階・4階
2	3, 4	節分	3階・4階

## (平塚橋)

月	日	行 事	場 所
5	4～6	菖蒲湯	浴室
9	13	敬老式典	1階ゆうゆうプラザ館内
12	21～23	ゆず湯	浴室
3	25	合同防災訓練（非常用通路確認・ホーム	1階ゆうゆうプラザ館内

社会福祉法人 三 徳 会  
令和 5 年度事業報告書

発行者 小濱 哲二

令和 6 年 6 月 25 日発行

〒142-0053 東京都品川区中延1-8-7

TEL. 03 (3787) 3616 (代表)

